

取扱説明書

保証書別添

カシオ電子レジスター
TE-340/NL-300

このたびは、カシオ電子レジスターをご採用いただき、まことにありがとうございます。ご使用になる前に、取扱説明書をよくお読みのうえ正しくお使いください。また、ご使用中もお手元に置いてご活用ください。



最新サポート情報 (Q&A、
取扱説明書など) はこちら

<http://casio.jp/support/ecr/>

初めてレジスターをお使いになるときは、**設置手順** (14 ページ) と

初めてレジをお使いになる方へ (16~19 ページ) をお読みください。

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは

特長

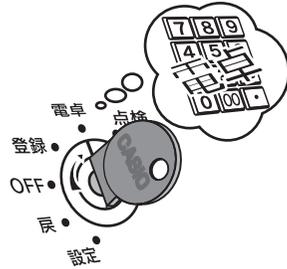
- 税率は変更することができます。予約機能を使用すると、指定した年月日から自動で税率が更新されます。

8% → %

消費税率を自動更新可能

設定が必要です。「税率改定の予約機能を設定する」(74 ページ) を参照してください。

- 「消費税改定によって税込価格がいくらになるか」を簡単なキー操作で求めたり、レジ打ちの最中に割り勘の金額を計算したり、お店の業務をサポートします。



- 抗菌処理されたキーボードで清潔に保つことが可能です。



SIAA マークは ISO22196 法により評価された結果に基づき、抗菌製品技術協議会ガイドラインで品質管理・情報公開された製品に表示されています。

- 別売の電子店名スタンプを作成していただくと、レシート上の店名ロゴスタンプだけでなく、領収書上の社名ロゴや住所などがワンタッチで印字できます。



同梱の「電子店名スタンプ注文書」をご覧ください。

- 消費税の計算は、「内税方式」「外税方式」「非課税方式」に対応しています。内税、外税、非課税が混在した運用も可能です。また、消費税額の円未満の端数処理（四捨五入、切り上げ、切り捨て）を設定することができます。さらに請求額の端数を切り捨てて請求（5 円丸め、10 円丸め）するといった、さまざまな設定が可能です。



もくじ

ご使用前に

安全上のご注意	6
各部の名称と働き	9
各部の名称	9
モードスイッチとモード鍵	10
本体表示窓／客用表示窓	11
付属品	11
キーボード	12
お使いになる前に	14
設置手順	14
消費税率について	15
課税方式について	15
レシートとジャーナルの説明	15
初めてレジをお使いになる方へ	16
電卓の操作と何が違うの？	16
よく使うキーは何？	18
精算と点検について	19
一日の仕事の流れ	20

使い方

基本的な操作	21
商品1つを売上登録する	21
商品2品以上を売上登録する	22
同じ商品を複数売上登録する（乗算登録）	22
同じ商品を複数売上登録する（リピート登録）	23
両替などでドロアーを開ける	24
レシート・ジャーナルの見方	25
キー操作をまちがえたとき	26
部門・取引キーを押す前の訂正 （置数訂正  ）	26
部門キーを押した直後の訂正 （直前訂正  ）	27
取引の途中ですべてを取り消す （取引中止  ）	28
取引中に何行か前のまちがいを訂正する （返品処理  ）	28
返品処理をする	29
「戻」モードを使った返品処理	29
閉店後の操作～精算	30
1日の売上を打ち出す	30

便利な使い方

部門の便利な使い方	32
部門について	32
単価設定した部門キーを用いて商品を登録する	33
部門6～部門10キーに商品を登録する	33
部門キーに単価×数量の順で登録する	34

PLUの便利な使い方	35
PLU（Price Look Up）について	35
PLUを使って登録する	36
品番PLU機能とは？	37
品番PLUを使って登録する	37
割引きをする	38
商品ごとに割引きをする	38
合計金額から割引きをする	38
値引きをする	39
 キーで値引きをする	39
合計の10円未満の端数を自動値引きする	39
万円キーを使う／日時の表示	40
万円キーの使い方	40
日付と時刻を表示する	40
入金処理と出金処理	41
売上とは関係ない現金をドロアーに入れる	41
売上とは関係ない現金をドロアーから出す	41
番号を印字する／レシートの発行と停止	42
伝票番号や商品コードを印字する	42
レシートの発行／停止と後レシート発行	42
商品券／クレジットの売上	43
商品券で売り上げる	43
クレジットカードで売り上げる	43
一部を商品券・残りを現金で売り上げる	44
領収書を発行する	45
取引直後に領収書を発行する	45
金額指定の領収書発行	46
クーポン券を発行する	47
予約券を発行する	48
担当者機能を使う	49
レジ担当者機能とは	49
レジ担当者を使う場合の登録手順	49
売上の点検と精算	50
レポート名称とその内容	50
レポートとキー操作	51
日計明細／期間集計の点検・精算	52
売上／在高の点検	52
部門個別の点検	53
グループ別集計の点検	53
PLUの点検・精算	54
PLU個別の点検	54
時間帯別集計の点検・精算	55
月間日別集計の点検・精算	56
電子ジャーナルの点検・精算	57
電子ジャーナルの区間点検	57
電子ジャーナルの消去	57
電卓機能の使い方	58

もくじ

税抜き金額・税額を計算する.....	58	商品名やメッセージの設定.....	78
[%] キーを使って計算する.....	59	設定できる項目と入力方法.....	78
消費税改定による新単価を計算する.....	59	「商品名リスト」から商品名を選択して部門キーに設定する.....	79
呼び出し機能を使って計算する.....	60	商品名を商品名リストから選択してPLUを設定する.....	79
設定の仕方		「メッセージリスト」からメッセージを選択してレシートに印字する.....	82
日付/時刻の設定.....	61	1文字ずつ入力して漢字変換する.....	84
日付をセットする.....	61	文字入力の方法.....	84
時刻をセットする.....	61	半角文字、全角文字、倍文字、 縦倍文字について.....	85
ジャーナル印字/客用表示/操作音の設定.....	62	商品名や分類名を部門キーに設定する.....	86
プリンターをジャーナル印字に設定する.....	62	入力途中で文字を訂正する.....	87
客用表示とキー操作音の有無を設定する.....	62	商品名や分類名をPLUに設定する.....	88
部門キーに商品単価を設定する.....	63	レシートメッセージを設定する.....	89
部門キーの機能を設定する.....	64	レジ担当者の名前を設定する.....	91
部門に「負単価部門」を設定する(個別設定).....	64	取引キーの印字文字を設定する.....	92
部門をグループにリンクする(個別設定).....	64	レシートの時刻印字・背景印字を設定する.....	93
部門に「入力桁制限」を設定する(個別設定).....	65	領収書の印字内容を設定する.....	94
部門に「単品売り」を設定する(個別設定).....	65	文字設定できるその他の項目.....	95
まとめて部門の設定をする(一括設定).....	66	各キーの設定.....	97
PLUに商品単価を設定する.....	67	現/預 券 信 キー.....	97
PLUの機能を設定する.....	68	入金 出金(引) キー.....	98
PLUに「負単価PLU」を設定する(個別設定).....	68	万円 キー.....	98
PLUを部門にリンクする(個別設定).....	68	#/替 キー.....	98
品番PLUに「入力桁制限」を設定する(個別設定).....	69	- % キー.....	99
PLUに「単品売り」と「品番PLU」を設定する(個別設定).....	69	その他の設定.....	100
まとめてPLUの設定をする(一括設定).....	70	内容変更できる主な印字項目.....	100
課税方式(内税/外税/非課税)を設定する.....	71	レシート/ジャーナルの印字項目を設定する.....	101
課税方式の設定.....	71	強制機能や演算方式を設定する.....	102
すべての商品を外税扱いにする.....	72	点検/精算レポートの内容を設定する.....	103
すべての商品を非課税扱いにする(非課税レジスター).....	72	電卓モードの機能を設定する.....	104
消費税率を変更する.....	73	領収書の内容を設定する.....	104
現在の税率を確認する.....	73	レシートメッセージの内容を設定する.....	105
すぐに税率を変更する.....	73	サーマルポップと背景印字を設定する.....	105
税率改定の予約機能を設定する.....	74	本体表示窓と客用表示窓の機能を設定する.....	106
税率改定の予約機能を無効にする.....	74	マシン番号を設定する.....	106
複数税率への対応.....	74	クーポン券のポイント率を設定する.....	107
税額の1円未満の端数処理を設定する.....	75	担当者番号にパスワードを設定する.....	107
消費税の設定.....	76	レジの設定内容を確認する.....	108
課税対象額・税率・税シンボルの印字/非印字を設定する.....	76	設定内容を確認する.....	108
レート/まるめの設定.....	77	部門の単価・%レート・簡易設定項目の設定点検.....	108
引き率・値引き金額をそれぞれのキーに設定する.....	77	PLUの単価・設定項目の設定点検.....	108
10円丸め・5円丸めを設定する.....	77	商品名・メッセージ項目の設定点検.....	109
		キー機能・レジスター機能項目の設定点検.....	110

もくじ

こんなときは

故障かなと思ったら	111
こんなときは	111
正しく動作しないとき	111
ドロアーが開かなくなったとき	111
ロールペーパーのセットと交換	112
ロールペーパーをセットする (レシート)	112
ロールペーパーをセットする (ジャーナル) ..	113
ロールペーパーを交換する (ジャーナル)	114
電子店名スタンプの取り付け・	
キーに商品名を記入する	115
電子店名スタンプを取り付ける	115
部門キーのキャップの中に	
商品名を書いた紙を入れる	115
レジスターとドロアーを分離して設置する	116
電池のセットと交換	117
電池をセットする	117
電池を交換する	117
仕様	118
用語集 (索引)	119

安全上のご注意

- ご使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。
- 製品を安全に正しくお使いいただき、人々への危害や機器の損傷を未然に防ぐため、以下の記号を使って注意を喚起しています。

-  **警告** この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う恐れがある内容を示しています。
-  **注意** この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害が発生する恐れがある内容を示しています。

- 本書中の「絵表示」の意味は以下のとおりです。

	記号は「気をつけるべきこと = 注意」を意味しています。 左の例は「手挟み注意」です。
	記号は「してはいけないこと = 禁止」を意味しています。 左の例は「分解禁止」です。
	記号は「しなければならないこと = 指示」を意味しています。 左の例は「電源プラグをコンセントから抜くこと」です。なお、「絵に表わしにくい指示」は  で表わします。

警告

電源コードや電源プラグについて

-  電源コードは、ねじったり、引っばったり、加熱したり、加工したり、上に重い物を載せないでください。電源コードが破損して、火災や感電の原因になります。また、本製品の下を通る配線はしないでください。
-  電源コードが傷んだら（芯線の露出／断線など）、ご購入の販売店またはカシオレジスターお客様相談センターにご連絡ください。そのまま使用すると、火災や感電の原因となります。
- ぬれた手で電源プラグに触れないでください。感電のおそれがあります。

分解・改造しないでください

-  本製品を分解・改造しないでください。内部には電圧の高い部分や鋭くとがった部分があります。触って感電したり、ケガをする恐れがあります。また、故障や火災の原因となります。

内部に異物や水などを入れないでください

-  本製品の開口部から内部に、金属類や燃えやすい物などの異物を差し込んだり、落とさないでください。また、花瓶の水やコーヒー・ジュースなどの液体を本製品の内部にこぼさないでください。火災や感電の原因となります。
-  異物や水などが本製品の内部に入ったときは、電源プラグをコンセントから抜いて、ご購入の販売店またはカシオレジスターお客様相談センターにご連絡ください。そのまま使用すると、火災や感電の原因となります。

異常状態で使用しないでください

-  発熱、煙が出ている、変な臭いがするなどの異常状態のまま使用すると、火災や感電の原因となります。すぐに電源プラグをコンセントから抜き、ご購入の販売店またはカシオレジスターお客様相談センターにご連絡ください。

電源・電圧について

-  表示された電源電圧（交流 100V）以外の電圧で使用しないでください。また、タコ足配線をしないでください。火災や感電の原因となります。
- 電源プラグは根元まで確実に差し込んでください。

安全上のご注意

⚠ 警告

本製品を落したり、破損したときは



本製品を落したり、キャビネットを破損した場合は、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店またはカシオレジスターお客様相談センターにご連絡ください。そのまま使用すると、火災や感電の原因となることがあります。

⚠ 注意

設置場所について



- ・ぐらついた台の上や傾いたところなど不安定な場所に置かないでください。落下してケガの原因となります。
- ・湿気やホコリの多い場所に置かないでください。火災や感電の原因となります。
- ・調理台や加湿器のそばなど、油煙や湯気が当たる場所に置かないでください。火災や感電の原因となります。
- ・ストーブやヒーターなどの発熱器具の近くや、温風が直接当たる場所には置かないでください。火災の原因となります。
- ・電源コンセントは、本機の電源コードが簡単に届き、また差し込みプラグの抜き差しが容易である場所を選んでください。

移動する場合は



本製品の移動前に、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。電源コードを引っぱると、コードが傷つき、火災や感電の原因となります。電源プラグを抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。

本製品の上には物を置かないでください



- ・花瓶や植木鉢、コップや液体の入った容器、金属の物などを置かないでください。
- ・タバコなど高温の物を置かないでください。
- ・重い物を置かないでください。

電源プラグはいつもきれいに



電源プラグは年一回以上コンセントから抜いてプラグの刃と刃の周辺部分を乾いた布で掃除してください。ホコリがたまると、火災の原因となります。電源プラグの清掃には、洗剤を使用しないでください。

長期間使用しないときは



連休などで長期間本製品を使用しないときは、安全のために電源プラグをコンセントから抜いてください。

ドロアー（引き出し）の注意



- ・ドロアー（引き出し）を開くときは、お子様の顔などに当たらないよう注意してください。
- ・ドロアー（引き出し）が開いているときに、ドロアーに寄りかからないでください。落下してケガの原因となります。

お手入れについて



お手入れの際は、安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは

安全上のご注意

⚠ 注意

液晶表示について



- ・液晶表示を強く押ししたり、強い衝撃を与えないでください。液晶表示のガラスが割れてケガの原因となることがあります。
- ・液晶表示が割れたときは、表示内部の液体には絶対に触れないでください。皮膚の炎症の原因となることがあります。
- ・口に入った場合は、すぐにうがいをして医師に相談してください。
- ・目に入ったたり、皮膚に付着した場合は、清浄な流水で最低 15 分以上洗浄した後、医師に相談してください。

消耗品交換時の注意



- ・記録紙の交換時に、プリンターのギアに髪の毛やスカーフなどが巻き込まれないよう注意してください。
- ・プリンターのヘッド部分には触れないでください。ケガ、やけどの原因となります。

お願い（必ず守ってください）

- 温度が高くなる所や、水がかかる所には置かないでください。
- ぬれた手で操作するお店では、防水カバーをお買い求めください。
- 揮発性の液体でレジスターを拭かないでください。
- 1 日の終わりには、精算をしてドロアー（引き出し）内をカラにし、開けたままでお帰りください。ドロアーは金庫ではありません。

あらかじめご承知いただきたいこと

- ・本書の内容は、製品の改良や仕様変更などにより予告なく変更することがあります。
- ・本製品の使用、故障・修理などによりデータが消えたり、変化に起因して生じた損害、遺失利益、第三者からのいかなる請求につきましても、弊社は責任を負いかねますのでご了承ください。
- ・本書の著作権、および本書に記載のソフトウェアに関するすべての権利は、カシオ計算機株式会社が所有しています。弊社の書面による同意なしに本書およびソフトウェアの一部または全部を無断転載することを禁止します。
- ・本書の内容は万全を期して作成致しましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなど、お気づきの点がありましたらご連絡ください。
- ・本書に記載の画面、レシート、ジャーナル、領収書や本体のイラストは、実際の製品とは異なることがあります。キー、アイコンは簡略化して記載しています。
- ・ウエルドラインについて
外観にスジのように見える箇所がありますが、これは樹脂成形上の“ウエルドライン”と呼ばれるもので、ヒビやキズではありません。ご使用にはまったく支障ありません。

電波障害自主規制

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、ラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱い方をしてください。

高周波電流規格

この装置は、「高周波電流規格 JIS C 61000-3-2 適合品」です。

各部の名称と働き

各部の名称



- | | |
|--|--|
| 1 ジャーナル巻き取りホルダー
印字された用紙を「営業記録」としてお店に保管しておくときに使用します。 | 6 ジャーナル印字確認窓
印字内容の確認と用紙への書き込みができます。 |
| 2 ロールペーパー
金額や操作内容を印字する用紙です。 | 7 客用表示窓 |
| 3 紙押さえ
確実にロックされるまで、きちんと閉じてください。完全に閉じていないとレジスターが動きません。 | 8 本体表示窓 |
| 4 プリンターオープンキー
ロールペーパーの交換時など、プリンターを開けるときに使用します | 9 モードスイッチ |
| 5 ジャーナルカバー
ジャーナル巻き取りホルダーを覆うカバーです。 | 10 キーボード |
| | 11 電源プラグ |
| | 12 電源コード |
| | 13 紙幣入れ (3 箇所) |
| | 14 硬貨入れ (6 箇所) |
| | 15 ドアアー (引き出し) |
| | 16 ドアアーロックキー |

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

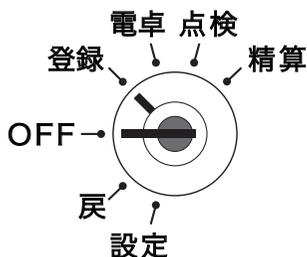
こんなときは

各部の名称と働き

モードスイッチとモード鍵

本製品は、それぞれ働きのちがう7つのモードがあります。モード鍵を使ってモードスイッチ位置を切り替えます。オーナー鍵とオペレーター鍵では「できること」の範囲がちがいます。

モードスイッチ

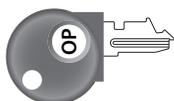


- 精 算…………… 売上の精算をする
- 点 検…………… 売上の点検をする
- 電 卓…………… 電卓計算をする
- 登 録…………… 売上の登録をする
- OFF …………… レジを使用しない
- 戻 …………… 返品（戻し）をする
- 設 定…………… お店に合わせたいろいろな設定をする

モード鍵

モード鍵は2種類あります。

①オペレータ鍵（OPと刻印）



モード鍵の回せる範囲

	設定	戻	OFF	登録	電卓	点検	精算
①オペレータ用鍵	×	×	○	○	○	×	×
②オーナー用鍵	○	○	○	○	○	○	○

レジスターにモード鍵を差し込むとき・外すときは、モードスイッチの位置を「OFF」または「登録」にします。

②オーナー鍵（PGMと刻印）



本書での記載例

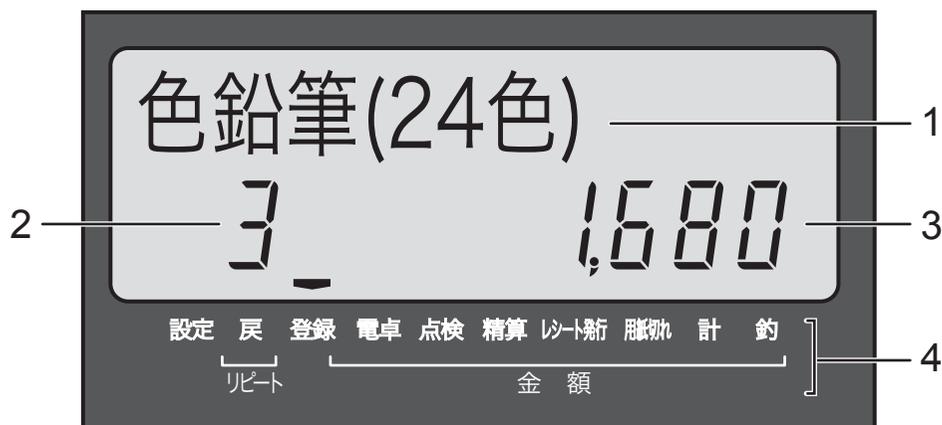


・本書では、各操作手順のモードスイッチの位置を、絵表示で掲載しています。
 ・上の例は、モードスイッチの位置を、左から「登録」、「設定」、「点検」、「精算」、「電卓」にしてから操作する必要があることを意味しています。

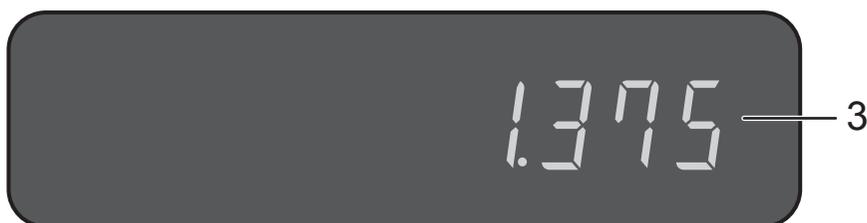
各部の名称と働き

本体表示窓／客用表示窓

本体表示窓



客用表示窓



- 1 キャラクター（文字）表示
半角文字で最大16文字・全角文字で最大8文字を表示します。
- 2 リピート回数表示
リピート登録時に、リピート回数の下1桁を表示します。
- 3 数値・金額表示
金額や数量などを表示します。電卓機能の時は計算数値を表示します。
- 4 モードスイッチ位置・合計／お釣り・操作状態表示
モードスイッチの位置および、合計やお釣りをそれぞれのシンボル（—）で表示します。
「レシート発行」が点灯しているときは、レシートを発行します。
印字用紙がなくなると、「用紙切れ」が点灯します。用紙を交換してください。

付属品

梱包箱の内ふたをご覧ください。

ご使用前に

使い方

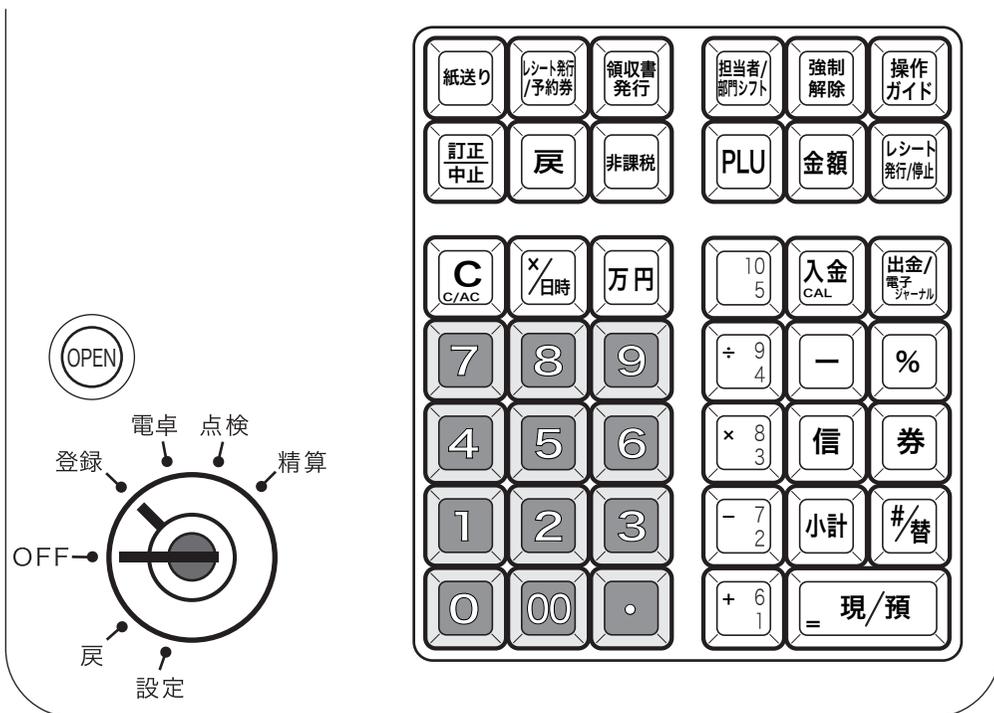
便利な使い方

設定の仕方

こんなときは

各部の名称と働き

キーボード



- | | | |
|--|--------------|---|
| | 紙送りキー | 印字用紙を送ります。 |
| | レシート／予約券発行キー | 後レシート、または予約券を発行します。 |
| | 領収書発行キー | 領収書を発行します。 |
| | 訂正／中止キー | 直前訂正、または取引中止のときに使います。 |
| | 戻しキー | 返品時に使います。 |
| | 非課税キー | 非課税商品を登録するときに使います。 |
| | クリアキー | 入力をまちがったときに使います。電卓機能時は、2回続けて押すと「オールクリア」（ゴハサン）します。 |
| | 乗算／日時キー | 乗算登録、または時刻・日付を表示するときに使います。 |
| | 万円キー | 万円札を預かったときに使います。 |
| | 置数キー | 数値を入力します。 |
| | 担当者／部門シフトキー | 担当者の指定、または部門をシフトするときに使います。 |
| | 強制解除キー | 2回続けて押すとエラーを強制的に解除します。 |
| | 操作ガイドキー | キーを直接押すと、操作ガイドのメニュー項目を印字します。知りたいメニュー番号を入力して、もう一度押します。 |
| | PLU キー | PLU 機能使用時に使います。 |

各部の名称と働き

 金額キー	品番 PLU 機能使用時に、単価を入力してから使います。
 レシート発行/停止キー	プリンターをレシート設定で使用時、  キーを2回続けて押すと、レシートを発行する/停止するを切り替えることができます。現在の設定は、本体表示窓のレシート発行シンボル (■) のあり/なしで確認できます。(シンボルありでレシート発行)
   ～   部門キー	商品登録時に使います。   ～   の部門キーは、電卓機能時「+」「-」「×」「÷」の計算命令キーです。
 入金キー	入金時に使います。電卓機能-レジ機能間の「答」などのやり取りにも使います。
 出金/電子ジャーナルキー	出金時に使います。電子ジャーナルレポート発行時にも使います。
 - マイナスキー	値引き時に使います。
 % パーセントキー	割引き時に使います。
 信 信用売りキー	クレジットカードの売上時に使います。
 券 券売りキー	商品券での売上時に使います。
 小計 小計キー	登録金額の合計 (中間合計) を見るときに使います。
 #/替 番号印字 / 両替キー	番号印字、または両替時に使います。
 現/預 現金売り / 預かり金キー	登録の完了 (現金での売上) および預かり金のときに使います。電卓機能時「=」は計算命令キーです。
 OPEN プリンターオープンキー	用紙交換などプリンターを開けるときに使います。

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは

お使いになる前に

設置手順

本製品を初めてお使いになる場合は、以下の手順に従ってセットしてください。

1 梱包箱から本体と付属品を取り出し、保護テープをはがします。

2 袋の中から付属品を取り出し、全部そろっているか確認します。
参照  (梱包箱の内ふたに「付属品」の内容が記載されています)

3 レジスターを水平な設置場所に置きます。

4 ロールペーパー（印字用ロール紙）を取り付けます。
参照  112 ページ

ご購入時は以下の設定になっています。

プリンターの印字： **レシート印字**

 **ポイント** ジャーナルとしてご使用のときは、「レシートとジャーナルの説明」（15 ページ）を参照してください。

5 電源プラグを家庭用 100V コンセントに確実に差し込みます。
初期化が実行され、レシートが印刷されます。

御計算書

2000-00-00 00:00
000001
(C) 2013 by CASIO

6 単 3 型アルカリ乾電池 3 本（別途ご購入ください）を取り付けます。
参照  117 ページ

7 日付と時刻をセットします。
参照  61 ページ

ご購入時は以下の設定になっています。

必要に応じて、消費税の設定をします。

参照  次ページ

消費税率： **8%**

課税方式： **内税**

税額の円未満の処理： **四捨五入**

8 これでレジスターをお使いいただけます。

お使いになる前に

💡ポイント ご購入時の設定

消費税率： **8%**

税額の円未満の処理： **四捨五入**

課税方式： **内税**

プリンターの印字： **レシート印字**

消費税率について

ご購入時、税率は、「8%」に、税額の円未満の処理は「四捨五入」に設定されています。税率の設定については、「消費税率を変更する」(73 ページ)を、税額の円未満の処理については、「税額の1円未満の端数処理を設定する」(75 ページ)を参照してください。

課税方式について

消費税の課税方式には3つの方式があります。ご購入時は「内税方式」に設定されています。

内税方式 (ご購入時)

商品金額に消費税8%が含まれているものを販売する方式

例：価格 1,000 円

本体価格	926 円
(消費税額)	74 円
合計	1,000 円 受取

外税方式

商品金額に消費税8%が含まれていないものを販売する方式

例：価格 1,000 円

本体価格	1,000 円
(消費税額)	80 円
合計	1,080 円 受取

非課税方式

消費税を計算しない(消費税を課税しない)で販売する方式

例：価格 1,000 円

本体価格	1,000 円
(消費税額)	0 円
合計	1,000 円 受取

内税方式でご使用のときは、このままご使用いただけます。

内税方式以外でご使用のときは、「すべての商品を外税扱いにする」(72 ページ)、「すべての商品を非課税扱いにする(非課税レジスター)」(72 ページ)、「課税方式の設定」(71 ページ)を参照して課税方式の設定を変更してください。

レシートとジャーナルの説明

ご購入時のプリンター設定は「レシート印字用」です。レシート印字とジャーナル印字ではロールペーパーのセット方法が異なります。ご使用に合わせてセットしてください。

レシート： お客様に渡す売上明細です。

取付け方  [112 ページ](#)

ジャーナル： お店の営業記録として保存します。
ロールペーパーはレジ内に巻き取られます。

取付け方  [113 ページ](#)

※ ジャーナル印字用として使用するときには、印字設定の変更が必要です。
「プリンターをジャーナル印字用に設定する」(62 ページ)を参照してください。

💡ポイント レシート/ジャーナルの印字項目

印字項目には、印字する/印字しないの設定や、印字内容を文字入力できるものがあります。店名ロゴ部分は、店名や住所などを文字入力することが可能です。以下を参照してください。

「内容変更できる主な印字項目」(100 ページ)、「商品名やメッセージの設定」(78 ページ)、「レシート・ジャーナルの見方」(25 ページ)

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは

初めてレジをお使いになる方へ

電卓の操作と何が違うの？

操作例

120円と350円の商品を売り上げ、お客様から1,000円をお預かりした場合

■電卓で計算するときのキー操作は

操作

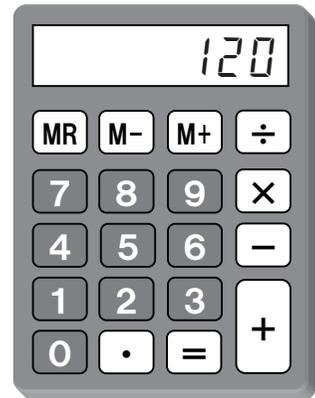
1 2 0 +
3 5 0
=

表示例

470

- 1 0 0 0
=

-530



※ お釣は530円です。

■レジでは、以下のように操作します

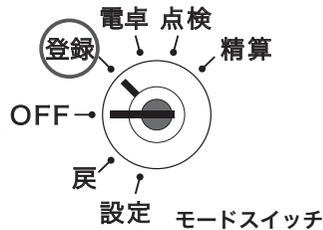
手順

操作

表示例

- 1 モード鍵をモードスイッチに差し込み、モードスイッチの位置を「登録」にします。

※「登録」とは、取引の内容をレジに記憶させることです。



Point 1

- 2 商品の単価を入力し、「部門1」に登録します。

1 2 0 + 6
3 5 0 + 6
1 1

Point 2

- 3 登録した商品の合算を求めます。

小計

470

Point 3

- 4 お客様からお預かりした金額を入力し、それが「現金」であることを登録します。

1 0 0 0 現/預

530

初めてレジをお使いになる方へ

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは

Point 1

- 「部門」とは商品を分類するものです。
- 部門 1 ~ 10 まで選べます。
- 事前に、商品をどの部門に割り振るか決めておきます。

10 個の部門を上手に使い分けて、
 ・商品の種類別に売上を集計する
 ・課税方式によって登録する部門を使い分ける
 などができます。お店に合わせてお役立てください。
 部門の詳細は、「部門の便利な使い方」(32 ページ)を参照してください。

部門キーは、 $\boxed{+}$ $\boxed{6}$ $\boxed{1}$ ~ $\boxed{10}$ $\boxed{5}$ です。 $\boxed{\text{担当者/部門ソフト}}$ を併用して「部門 6 ~ 10」まで登録できます。

100 円の商品を「部門 6」に登録するときは、 $\boxed{\text{担当者/部門ソフト}}$ $\boxed{1}$ $\boxed{0}$ $\boxed{0}$ $\boxed{+}$ $\boxed{6}$ $\boxed{1}$
 右図の順にキーを押します。

Point 2

$\boxed{\text{小計}}$ キーは、「部門 1 ~ 10」に登録したすべての商品の合算を表示します。

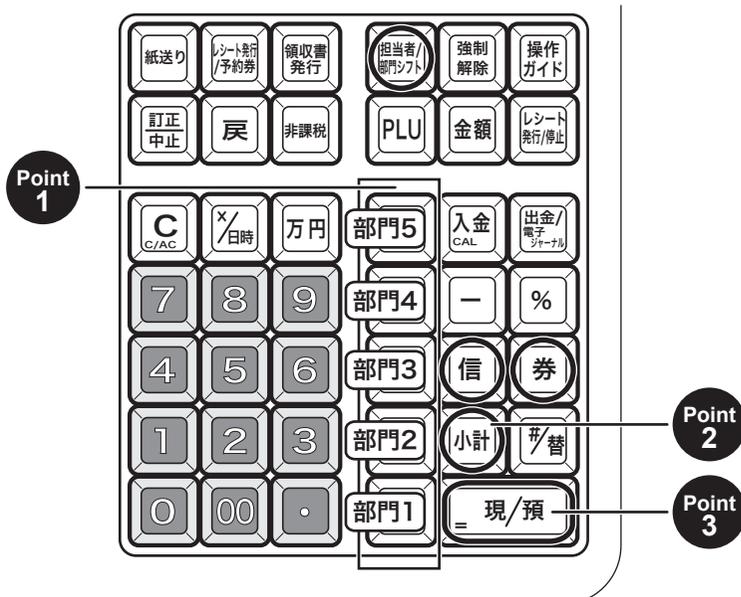
Point 3

$\boxed{\text{現/預}}$ キーを押すと、レジは「現金で千円の入金」があり、「お釣りと
 して 530 円の出金」があったことを記録します。

現金以外のお支払いの場合は、

- $\boxed{\text{現/預}}$ の代わりに
- ・クレジットカード $\boxed{\text{信}}$ キー
 - ・商品券 $\boxed{\text{券}}$ キー
- を押します。

レジは、取引による入出金の履歴を、現金/クレジット/商品券にわけて正しく記録します。



初めてレジをお使いになる方へ

よく使うキーは何？

よく使うキーの概要を説明します。（詳細、ほかのキーは本書を順次お読みください。）

取引中に使うキー



商品の売上登録をしたすぐあとに、

5 [%]

を入力すると、商品の単価に対して5%引き（割引き）します。**小計**を押したあとであれば、登録した商品の合算に対して割引きをします。同様に、**[-]**は〇〇円引き（値引き）します。



「掛け算」キーです。「100円の商品を8個売り上げ」のときは

8 [x/日時] **100** [+ **6** /] と入力します。



「30,050円」は、

3 [万円] **50**

と入力ができます。手間を省いて誤入力を減らす便利なキーです。



キー入力をまちがったときは、このキーで訂正します。入力中、どの時点でまちがいに気づいたかで、訂正の方法／訂正に使用するキーが異なります。

取引以外で使うキー

入金／出金の記録を残します。



・開店前に釣り銭をレジに入れて入金登録する。

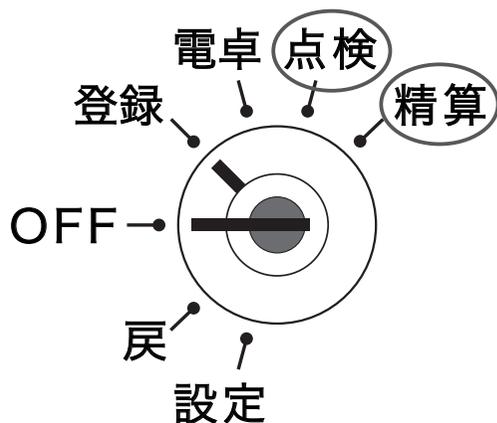


・集金業者に、レジから現金を出して支払う。
・店の備品購入のため、レジから現金を出す。

「取引」に関わる金銭の出入りは、**現/預** **信** **券** キーで記録し、取引以外は **入金** **出金** キーで記録します。このようにして、すべての金銭の出入りがレジに記憶され、レジの中にあるべき金銭（在高と呼びます）を把握できます。閉店後はレジにある金銭を数えて、在高と合致するか確認してください。

初めてレジをお使いになる方へ

精算と点検について



モードスイッチ

精算とは

モードスイッチの位置を「精算」にして、**現/預** キーを押します。

閉店後、「精算」するとレジは今日一日のデータを集計して、レポートに印字します。

オーナーは、レポートを見てその日の売上（金額、数量）、取引内容、現金や商品券の在 high、レジの操作履歴などを確認できます。

レポートの印字が終了すると、自動で今日のデータをすべてクリア（ゴハサン）し、明日の営業に備えます。

▲注意 「精算」をしてデータをクリアしないと、今日のデータと翌日のデータが混ざってしまいます。毎日、閉店後に必ず「精算」をしてください。

点検とは

モードスイッチの位置を「点検」にして、**現/預** キーを押します。

「点検」とは、「精算」と同様のものですが、その日の途中経過を知りたいときに使います。

営業中に「点検」すると、データをクリア（ゴハサン）せずに残したまま、その時点での途中経過を集計してレポートに印字します。

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは

一日の仕事の流れ

開店前

- ☑ 電源プラグがコンセントに確実に差し込まれているか確認します。
- ☑ ロールペーパーが充分にあるか確認します。
参照  112、114 ページ
- ☑ モードスイッチの位置を「登録」にして、日付と時刻を確認します。
参照  40 ページ
- ☑ 釣銭用の小銭をドロアーに用意します。
参照  41 ページ

営業中

- ☑ 商品の売上を登録します。
参照  21 ページ～
- ☑ 必要に応じて売上の確認をします。
参照  51 ページ～

閉店後

- ☑ ロールペーパーが充分にあるか確認します。
参照  112、114 ページ
- ☑ ドロアー内のお金を回収します。
- ☑ モードスイッチの位置を「OFF」にします。

今日も一日お疲れ様でした。

ドロアーが閉まっていると、現金が入っていると思ってレジごと持ち去る盗難が発生しています。レジがないと翌日の営業にも影響します。閉店後、現金を取り出したらドロアーを開けたままにしておくことをお勧めします。

基本的な操作



本書内の説明は、「税率8%の内税方式」の消費税計算（円未満は「四捨五入」）での操作方法、およびレシートの印字例を記載しています。

税率が変更された場合、外税・非課税が混在する場合に、操作方法は変わりませんが印字内容は異なります。ご注意ください。

商品1つを売上登録する

商品1つを現金でお買い上げになったときの例です。

操作例

単価	数量	部門キー	預かり金
¥1,200	1	部門1 $\left[\begin{smallmatrix} 6 \\ 1 \end{smallmatrix} \right]$	¥2,000



手順

操作

表示例

1 商品の単価を入力して、部門キーを押します。

1 2 0 0 $\left[\begin{smallmatrix} 6 \\ 1 \end{smallmatrix} \right]$



1: 登録部門名
2: 登録金額

2 $\left[\text{小計} \right]$ キーを押します。

小計



1: 合計金額

3 預かり金額を入力して $\left[\text{現/預} \right]$ キーを押します。

2 0 0 0 $\left[\text{現/預} \right]$



1: お釣り金額

印字例

御計算書	
2014-07-31 09:20	
000013	
部門01	¥1,200
内税対象計	¥1,200
内税	8.0% ¥89
合計	¥1,200
お預り	¥2,000
お釣	¥800

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは

基本的な操作

商品 2 品以上を売上登録する

操作例

単価	数量	部門キー	預かり金
¥200	1	部門 1 $\left[\begin{smallmatrix} 6 \\ + \\ 1 \end{smallmatrix} \right]$	¥2,500
¥800	1	部門 2 $\left[\begin{smallmatrix} 7 \\ - \\ 2 \end{smallmatrix} \right]$	
¥1,100	1	部門 3 $\left[\begin{smallmatrix} 8 \\ \times \\ 3 \end{smallmatrix} \right]$	



手順

操作

印字例

1 商品の単価を入力して、部門キーを押します。商品の数量分繰り返します。

2 0 0 $\left[\begin{smallmatrix} 6 \\ + \\ 1 \end{smallmatrix} \right]$
 8 0 0 $\left[\begin{smallmatrix} 7 \\ - \\ 2 \end{smallmatrix} \right]$
 1 1 0 0 $\left[\begin{smallmatrix} 8 \\ \times \\ 3 \end{smallmatrix} \right]$

2 **小計** キーを押します。

小計

3 預かり金額を入力して **現/預** キーを押します。

2 5 0 0 **現/預**

2014-07-31 09:35	
000014	
部門 01	¥200
部門 02	¥800
部門 03	¥1,100
内税対象計	¥2,100
内税 8.0%	¥156
合計	¥2,100
お預り	¥2,500
お釣	¥400

同じ商品を複数売上登録する (乗算登録)

操作例

単価	数量	部門キー	預かり金
¥200	12	部門 1 $\left[\begin{smallmatrix} 6 \\ + \\ 1 \end{smallmatrix} \right]$	¥10,000
¥340	4.6	部門 2 $\left[\begin{smallmatrix} 7 \\ - \\ 2 \end{smallmatrix} \right]$	



手順

操作

印字例

1 商品の数量、 $\left[\begin{smallmatrix} \times \\ / \\ \text{日時} \end{smallmatrix} \right]$ 、単価、部門キーの順に押します。

1 2 $\left[\begin{smallmatrix} \times \\ / \\ \text{日時} \end{smallmatrix} \right]$

2 商品の数量、 $\left[\begin{smallmatrix} \times \\ / \\ \text{日時} \end{smallmatrix} \right]$ 、単価、部門キーの順に押します。
 数量は、小数の入力もできます。

2 0 0 $\left[\begin{smallmatrix} 6 \\ + \\ 1 \end{smallmatrix} \right]$
 4 . 6 $\left[\begin{smallmatrix} \times \\ / \\ \text{日時} \end{smallmatrix} \right]$
 3 4 0 $\left[\begin{smallmatrix} 7 \\ - \\ 2 \end{smallmatrix} \right]$

3 **小計** キーを押します。

小計

4 預かり金額 (万円券キー) を入力して **現/預** キーを押します。

万円 **現/預**

2014-07-31 09:41	
000017	
12 点	@200
部門 01	¥2,400
4.6 点	@340
部門 02	¥1,564
内税対象計	¥3,964
内税 8.0%	¥294
合計	¥3,964
お預り	¥10,000
お釣	¥6,036



- ・乗算登録の「数量」の範囲は、「0.01～9999.99」です。
- ・ご購入時の設定は「数量×単価」の順です。「単価×数量」に変更することもできます。設定方法は、「部門キーに単価×数量の順で登録する」(34ページ)を参照してください。

基本的な操作

同じ商品を複数売上登録する（リピート登録）

操作例

単価	数量	部門キー	預かり金
¥300	3	部門 2 $\left[\begin{smallmatrix} 7 \\ - \\ 2 \end{smallmatrix} \right]$	¥2,000
¥500	2	部門 1 $\left[\begin{smallmatrix} 6 \\ + \\ 1 \end{smallmatrix} \right]$	



手順

操作

表示例

1 商品の単価を入力して、商品の数量分、部門キーを押します。

3 0 0 $\left[\begin{smallmatrix} 7 \\ - \\ 2 \end{smallmatrix} \right]$

$\left[\begin{smallmatrix} 7 \\ - \\ 2 \end{smallmatrix} \right]$

$\left[\begin{smallmatrix} 7 \\ - \\ 2 \end{smallmatrix} \right]$

300

2 300

3 300

リピート回数

500

2 500

2 商品の単価を入力して、商品の数量分、部門キーを押します。

5 0 0 $\left[\begin{smallmatrix} 6 \\ + \\ 1 \end{smallmatrix} \right]$

$\left[\begin{smallmatrix} 6 \\ + \\ 1 \end{smallmatrix} \right]$

1,900

3 $\left[\text{小計} \right]$ キーを押します。

$\left[\text{小計} \right]$

100

4 預かり金額を入力して $\left[\text{現/預} \right]$ キーを押します。

2 0 0 0 $\left[\text{現/預} \right]$

⚠注意 10 回以上のリピート回数は、下 1 桁のみ表示されます。

印字例

2014-07-31 09:50	
000017	
部門 02	¥300
部門 02	¥300
部門 02	¥300
部門 01	¥500
部門 01	¥500
内税対象計	¥1,900
内税 8.0%	¥141
合 計	¥1,900
お預り	¥2,000
お 釣	¥100

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは

基本的な操作

両替などでドロアーを開ける

両替など「取引」以外で、ドロアーを開けるときの操作です。



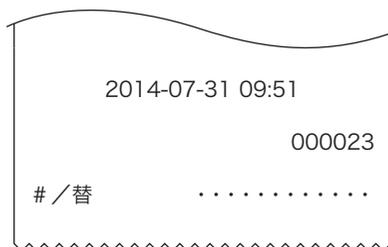
手順

- 1  を押します。
ドロアーが開きます。

操作



印字例



 **ポイント** 登録中は操作できません。(誤操作エラー)

レシート・ジャーナルの見方

レシート（ジャーナル）には、レジの操作内容が印字されます。ここでは、レシート（ジャーナル）の見方について説明します。

レシート

店名や住所の設定は、「内容変更できる主な印字項目」（100 ページ）を参照してください。

カシオ商店		1
渋谷区本町 1-6-2		
電話 1234-5678		
2014-07-31 09:23		2
担当 -01	0001-000008	3
部門 02	¥5,780	4
部門 01	¥360	
部門 01	¥360	
部門 01	¥360	
10 点	@128	5
部門 04	¥1,280	6
PLU0027	¥880	7
-	-100	8
部門 03	¥2,600	
部門 04	非 ¥3,000	9
小計	¥14,520	10
5%		
%	-726	11
内税対象計	¥10,944	12
内税	8.0% ¥811	
非課税合計	¥2,850	13
合計	¥13,794	14
お預り	¥15,000	15
お釣	¥1,206	16
17 点		17
またのご来店を お待ちしております		18

ジャーナル：圧縮印字例

圧縮印字の設定は、「レシート／ジャーナルの印字項目を設定する」（101 ページ）を参照してください。

2014-07-31 09:23	
担当 -01	0001-000008
部門 02	¥5,780
部門 01	¥360
部門 01	¥360

ジャーナル：通常印字例

部門 01	¥360
10 点	@128
部門 04	¥1,280
PLU0027	¥880
-	-100
部門 03	¥2,600
部門 04	非 ¥3,000
小計	¥14,520
5%	
%	-726
内税対象計	¥10,944
内税	8.0% ¥811
非課税合計	¥2,850
合計	¥13,794
お預り	¥15,000
お釣	¥1,206
17 点	
2014-07-31 09:23	
担当 -01	0001-000009

- | | | |
|-------------------|-----------|-------------|
| 1 店名ロゴ部分 | 7 PLU 登録 | 13 非課税額 |
| 2 日付／時刻 | 8 値引き | 14 合計額 |
| 3 レジ担当者／レジ番号／一連番号 | 9 非課税シンボル | 15 預かり額 |
| 4 部門登録 | 10 小計／割引 | 16 釣り銭額 |
| 5 個数／単価 | 11 内税対象額 | 17 買上点数 |
| 6 乗算登録 | 12 内税額 | 18 ボトムメッセージ |



- ・ご購入時の設定では、レジ担当者を使用できません。担当者の設定方法は、「担当者機能を使う」（49 ページ）を参照してください。
- ・ジャーナルの印字は、上記例のように店名ロゴ部分の余白がなく、日付／時刻、レジ担当者／レジ番号／一連番号の後ろと合計の前に、それぞれ 1 行分空きを詰めて印字します。
- ・ジャーナル（営業記録）は、ジャーナル巻き取りホルダーに巻き取ったあとと保管してください。
- ・印字内容の変更は、「内容変更できる主な印字項目」（100 ページ）を参照してください。

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは

キー操作をまちがえたとき

訂正の方法を説明する前に、「取引」と「登録」について説明します。

登録：1つの商品の単価・個数を入力した後、**部門#** キーを押してレジに記憶させます。この一連の操作を、商品ひとつひとつの「登録」と呼びます。

取引：一人のお客様に対し、すべての商品を「登録」後、お客様からお預かりした金額を入力して**現/預** キーを押すまでを、ひとつの「取引」と呼びます。

取引中に操作をまちがえた際の訂正方法は、操作の状況に応じて下記4つの方法があります。

AC C キーによる置数訂正 「登録」の途中で置数入力のまちがいに気がついた場合、部門キーを押す前であれば、**AC C** キーを押して入力した単価や個数を取り消します。

訂正中止 キーによる直前訂正 1つの商品を「登録」した直後（部門キーを押した直後）にまちがいに気がついた場合、**訂正中止** キーを押して直前に「登録」した商品のみを取り消します。

小計 訂正中止 キーによる取引中止 いくつかの商品を「登録」した後、まちがいに気がついて初めからやり直す場合、**小計** キーを押したあと **訂正中止** キーを押して、今おこなっている「取引」を中止します。

戻 キーによる返品処理 いくつかの商品を「登録」した後まちがいに気がつき、まちがえた商品にさかのぼって訂正する場合、**戻** キーを押してまちがえた商品をいったん返品処理した後、改めて登録し直します。

部門・取引キーを押す前の訂正（置数訂正 **AC C**）

部門キーを押す前は、すべて **AC C** キーで訂正できます。

操作例

	単価	数量	部門キー	預かり金
①	¥120	1	部門1 $\begin{matrix} + \\ 6 \\ 1 \end{matrix}$	③ ¥3,000
②	¥105	8	部門2 $\begin{matrix} - \\ 7 \\ 2 \end{matrix}$	

上記の登録途中操作をまちがえた



① ¥120 の単価を、¥1,200 に押しまちがえて入力してしまった

手順

- まちがえた単価を押します。
- AC C** キーを押します。
- 正しい単価を入力して部門キーを押します。

操作



②乗算登録時に、¥105の単価を¥150に押しまちがえて入力してしまった

手順

- AC C** キーを押します。
- 個数と正しい単価を入力して部門キーを押します。

操作



③ ¥3,000 の預かり金を、¥5,000 に押しまちがえて入力してしまった

手順

- AC C** キーを押します。
- 正しい預かり金を入力して**現/預** キーを押します。

操作



キー操作をまちがえたとき



- ・プリンターに印字される前であれば置数を訂正できますが、印字された後での訂正はできません。(ただし、「レシート印字停止」に設定時は何も印字されないため、印字前/印字後の判断はできません。)
- ・ここでは「部門キーを押す前の訂正」と「現/預 キーを押す前の訂正」を例に説明しましたが、**PLU**、**金額**、**%**、**一**、**信**、**券**、**入金**、**出金** キーも同様に、キーを押す前であれば **C** キーを押して置数を訂正できます。

部門キーを押した直後の訂正 (直前訂正)

操作例

	単価	数量	部門キー	預かり金
①	¥505	1	部門 1 	¥2,000
②	¥230	3	部門 3 	



上記の登録途中操作をまちがえた

- ① ¥505 の単価を ¥550 に押しまちがえて入力し、部門キーを押してしまった

手順

操作

- 1  キーを押します。



- 2 正しい単価を入力して部門キーを押します。



- ② 乗算登録時に、¥230 の単価を ¥220 に押しまちがえて入力し、部門キーを押してしまった

手順

操作

- 1  キーを押します。



- 2 個数と正しい単価を入力して部門キーを押します。



- 3  キーを押し、預かり金を入力して  キーを押します。



- 部門キーと同様に、**PLU**、**金額**、**%**、**一** キーを押した直後であれば、商品登録や割引き、値引きの取り消しができます。

印字例

2014-07-31 10:35	
	000037
部門 01	¥550
訂正	-550
部門 01	¥505
3 点	@220
部門 03	¥660
訂正	-660
3 点	@230
部門 03	¥690
内税対象計	¥1,195
内税	8.0% ¥89
合計	¥1,195
お預り	¥2,000
お釣	¥805

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは

キー操作をまちがえたとき

取引の途中ですべてを取り消す（取引中止 小計 訂正中止）

取引の途中で初めからやり直す場合は、小計 訂正中止 キーで一括取り消しします。

操作例

単価	数量	部門キー
¥350	12	部門 4 <small>÷</small> <small>9</small> / <small>4</small>
¥1,280	1	部門 2 <small>-</small> <small>7</small> / <small>2</small>

上記の登録途中操作をまちがえた



手順

1 登録をします。

1 2 ×/日時
3 5 0 ÷ 9/4
1 2 8 0 - 7/2

2 小計 キーを押してから、訂正中止 キーを押します。

小計 訂正中止

印字例

```

2014-07-31 10:41
000040

12 点 @350
部門 04 ¥4,200
部門 02 ¥1,280
取引中止 .....
    
```



- ・ 小計 キーは必ず押してください。押し忘れると最終行だけが訂正されます。（=直前訂正）
- ・ 異なる商品を 50 以上登録すると、この操作はできなくなります。

取引中に何行か前のまちがいを訂正する（返品処理 戻）

取引中、登録済みの商品のまちがいに気がついたり、お客様から取消しや変更を求められた場合は、戻 キーを使って返品処理をします。

操作例

単価	数量	部門キー	預かり金
¥960	1	部門 4 <small>÷</small> <small>9</small> / <small>4</small>	¥4,000
¥2,800	1	部門 4 <small>÷</small> <small>9</small> / <small>4</small>	



¥960 の単価を ¥990 に押しまちがえて部門キーを押し、続けて登録をしてしまった

手順

1 最初に登録した商品の単価のまちがいを、返品で処理します。

9 9 0 ÷ 9/4

2 戻 キーを押し、まちがえたおりに同じ内容を入力します。

2 8 0 0 ÷ 9/4
戻 9 9 0 ÷ 9/4

3 正しい単価を入力して部門キーを押します。

9 6 0 ÷ 9/4

4 小計 キーを押し、預かり金を入力して 現/預 キーを押します。

小計 4 0 0 0 現/預

印字例

```

2014-07-31 12:45
000202

部門 04 ¥990
部門 04 ¥2,800
戻 ..... ] 1
部門 04 -990
部門 04 ¥960
内税対象計 ¥3,760
内税 8.0% ¥279
合計 ¥3,760
お預り ¥4,000
お釣 ¥240
    
```

1: 訂正後の印字

返品処理をする

レシート発行後に商品の返品があったときは、下記いずれかの方法で返品処理します。

戻 キーを使った返品処理 前ページを参照してください。



「戻」モードを使った返品処理 オーナー鍵でモードスイッチの位置を「戻」にして、通常の取引と同じ操作で返品処理をします。



「戻」モードを使った返品処理

操作例

単価	数量	部門キー	預かり金
¥780	2	部門 1 $\begin{matrix} + \\ 6 \\ 1 \end{matrix}$	現金
¥1,280	1	部門 3 $\begin{matrix} \times \\ 8 \\ 3 \end{matrix}$	



手順

操作

印字例

- 1 モードスイッチの位置を、「戻」にします。
- 2 登録をします。
- 3 モードスイッチの位置を、「登録」にします。



戻	2014-07-31 10:50	
		000045
部門 01		¥780
部門 01		¥780
部門 03		¥1,280
内税対象計		¥2,840
内税	8.0%	¥210
現金		¥2,840



注意 戻モードの処理が終わったら、モードスイッチの位置を「登録」に戻してください。オーナー鍵は精算操作など各種設定ができます。取り付けたままにしないよう注意してください。

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは

閉店後の操作～精算

「精算」とは、その日の取引データを集計してレポートを印字した後、元になった取引データをすべてクリア（ゴハサン）する処理です。「精算」をすると、レジはレポート印字とデータクリアを続けて処理します。

オーナーはレポートを見て、その日の売上（金額、数量）、取引内容、現金や商品券の在 high、レジの操作履歴などを確認できます。（レポートは必要に応じて保管してください。）

精算については、「売上の点検と精算」（50 ページ）を参照してください。



注意 「精算」をしてデータをクリアしないと、今日のデータと翌日のデータが混ざってしまいます。毎日、閉店後に必ず「精算」をしてください。

1 日の売上を打ち出す

手順

日計明細の精算は、オーナー鍵でモードスイッチの位置を「精算」にして、現/預 キーを押します。



印字例

精算	2014-07-31 10:53	1	
	0001-000048	2	
0000	日計明細	Z 0002	3
部門 01	505 点		4
44.04%	¥231,167		4
部門 02	411 点		5
39.75%	¥208,689		5
部門 03	32 点		6
2.72%	¥14,297		6
ノンリンク	13 点		7
1%	¥5,283		7

総売	1060 点		8
	¥524,966		8
純売	158 件		9
	¥498,747		9
現金在 high	¥405,361		10
券在 high	¥2,890		11
信在 high	¥37,405		12
内税対象計	¥330,584		13
内税 8.0%	¥24,488		13
非課税合計	¥153,051		14
万円	17 枚		15
サービス	¥376		16
取引中止	2 件		17
	¥297		17
戻モード	1 件		18
	¥6,372		18
電卓	18 件		19
領収書 印紙	1 件		20
	¥36,372		20
領収書	2 件		21
	¥23,563		21

- 1 日付/時刻
- 2 マシン番号/一連番号
- 3 コード/レポートタイトル/精算シンボル/精算回数
- 4 部門 + 9 : 売上個数、売上構成比 (◎)・売上金額
- 5 部門 - 2
- 6 部門 x 8
- 7 部門リンクのない PLU の合計
- 8 総売上: 個数/金額 (* 1)
- 9 純売上: 件数/金額 (* 2)
- 10 現金在 high (* 3)
- 11 商品券在 high
- 12 信用売り in high
- 13 内税: 対象額 (税込み) / 消費税額
- 14 非課税額合計
- 15 万円券枚数
- 16 5 円 / 10 円丸め合計
- 17 取引中止: 件数/金額
- 18 「戻」モード: 件数/金額
- 19 電卓モードの計算回数
- 20 印紙付き領収書: 件数/金額
- 21 印紙無し領収書: 件数/金額

閉店後の操作～精算

「日計明細」の精算（または点検）をはじめ、本機の点検／精算（50 ページ以降）で印字される各項目間には、以下の関係式が成り立ちます。

- * 1 総売上＝部門会計＋部門リンクしていない PLU 合計：個数、金額とも
（部門リンクについては、35 ページを参照してください。）
- * 2 純売上＝現金売上額＋商品券売上＋信用（クレジット）売上
＝総売上一値引き－割引－5 円／10 円丸め合計＋外税額
（＝お客様の支払い額の総合計）
- * 3 現金在高＝現金売上＋入金合計－出金合計（券売りでおつりがない場合）
総売上一値引き－割引＝内税対象額＋外税対象額＋非課税額合計

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは

現金	48 件	1
	¥405,381	
商品券	1 件	2
	¥2,890	
クレジット	3 件	3
	¥37,405	
入金	1 件	4
	¥10,000	
出金	2 件	5
	¥10,000	
-	6 件	6
	¥32,097	
%	1 件	7
	¥9,234	
戻	3 件	8
	¥10,873	
訂正	6 件	9
	¥4,905	
レシート	19 件	10
# / 替	3 件	11
強制解除	2 件	12
	¥320	

- 1 現金売上：件数／金額
- 2 商品券売上：件数／金額
- 3 信用売上：件数／金額
- 4 入金：件数／金額
- 5 出金：件数／金額
- 6 値引き：件数／金額
- 7 割引：件数／金額
- 8 キー：回数／金額
- 9 直前訂正：回数／金額
- 10 レシート発行件数
- 11 両替回数
- 12 強制解除：件数／金額

◎印の項目は、ご購入時の標準状態では印字されません。

※ お買い上げ後は、集計数値が“0”の部門および取引は、その部門および取引の項目が印字されません。

部門の便利な使い方

部門について

「部門」とは、商品进行分类するもので「部門 1～10」まで選択できます。

例えば、

- ・扱う商品进行分类して「部門 1～10」に割り振り、部門ごとに売上を集計する
- ・税計算を正しくおこなうため、「部門 4」：非課税、「部門 7」：外税、それ以外は内税と設定し、レジ打ちの際は商品の課税方式に応じて該当の「部門」に登録する
- ・「部門 1」は ¥100、「部門 2」は ¥200 と設定して、レジ打ちの際の単価入力の手間を省く

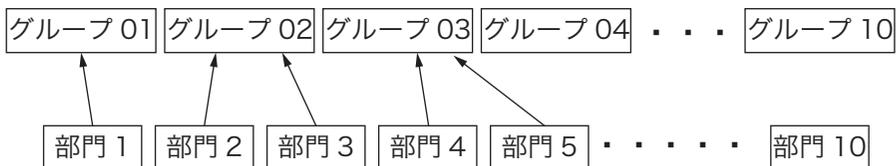
など、お店にあった使い方を決めてご活用ください。

部門キーには以下の機能があります。必要に応じて設定してください。

参照ページ

商品単価	部門キーを押すだけで、設定した単価が登録されます。	63 ページ
消費税	設定した税の種類（内税、外税、非課税）に応じて、税計算をします。	71 ページ
部門名	設定した名称は、レジ打ちの際に本体表示窓とレシート（ジャーナル）に表示されます。	78 ページ
負単価部門	この部門に登録する商品は、マイナスとして処理されます。値引きやクーポン券などの登録に使うと便利です。	64 ページ
グループリンク	部門の上位にグループ（大分類）を想定し、部門をグループにひも付けます（リンク）。点検の際、グループ別（=いくつかの部門を合算）に集計ができます。	64 ページ

リンク図式



入力桁制限	誤登録を防ぐため、桁数制限を設けて制限を越える価格は登録できないようにします。	65 ページ
単品売り	レジ打ちの際にこの部門に登録すると、そのまま取引が完了して「お客様からお預かりした金額を入力して 現/預 キーを押す」操作を省くことができます。現金による単品売りのような単純な取引の場合、手早く処理できます。 （「単品売りの商品」を登録する前、既に「単品売りではない商品」を登録している場合は、通常の手順で取引を締める必要があります。）	65 ページ

部門の便利な使い方

単価設定した部門キーを用いて商品を登録する

よく使う単価を部門キーに設定できます。単価を部門キーに設定するときは、「部門キーに商品単価を設定する」(63 ページ) を参照してください。

操作例

単価	数量	部門キー	預かり金
¥800 (キーに設定済み)	1	部門 2	¥10,000
¥1,200	1	部門 2	
¥800 (キーに設定済み)	4	部門 2	



手順

操作

印字例

1 部門キーを押すと、設定された単価で登録されます。



2 設定されている単価と異なる単価で登録する場合は、新しい単価を入力して、部門キーを押します。



3 乗算登録も同様です。



4 **小計** キーを押し、お預かり金を入力して **現/預** キーを押します。



2014-07-31 11:12	
	000062
部門 02	¥800
部門 02	¥1,200
4 点	@800
部門 02	¥3,200
内税対象計	¥5,200
内税 8.0%	¥385
合計	¥5,200
お預り	¥10,000
お釣	¥4,800



手順 2 は、単価設定をしていない場合も同じ操作です。「基本的な操作」(21 ページ) を参照してください。この操作によって、部門キーに設定されている単価が変わることはありません。

部門 6 ~ 部門 10 キーに商品を登録する

操作例

単価	数量	部門キー
¥100	1	部門 6
¥800 (キーに設定済み)	2	部門 9



手順

操作

印字例

1 単価入力の前に、**担当者/部門シフト** キーを押します。



2 設定単価を使用する場合は、**担当者/部門シフト** キーを押して、部門キーを押します。



部門 06	¥100
2 点	@800
部門 09	¥1,600



部門 6 ~ 10 キーを登録する場合は、最初に **担当者/部門シフト** キーを押します。

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは

部門の便利な使い方

部門キーに単価 × 数量の順で登録する

ご購入時、乗算登録は「数量 × 単価」の順で入力します。「単価 × 数量」の入力順に設定するときは、「強制機能や演算方式を設定する」(102 ページ)を参照してください。

操作例

単価	数量	部門キー	預かり金
¥380	8	部門1 $\left[\begin{smallmatrix} + \\ 1 \end{smallmatrix} \right]$	¥10,000
¥160	5	部門2 $\left[\begin{smallmatrix} - \\ 2 \end{smallmatrix} \right]$	
¥500 (キーに設定済み)	10	部門3 $\left[\begin{smallmatrix} \times \\ 3 \end{smallmatrix} \right]$	



手順

操作

印字例

1 商品の単価、 $\left[\begin{smallmatrix} \times \\ \text{日時} \end{smallmatrix} \right]$ 、数量、部門キーの順に押します。

3 8 0 $\left[\begin{smallmatrix} \times \\ \text{日時} \end{smallmatrix} \right]$ 8 $\left[\begin{smallmatrix} + \\ 1 \end{smallmatrix} \right]$

2 設定単価を使用する場合は、 $\left[\begin{smallmatrix} \times \\ \text{日時} \end{smallmatrix} \right]$ キーを押す前の単価入力は不要です。

1 6 0 $\left[\begin{smallmatrix} \times \\ \text{日時} \end{smallmatrix} \right]$ 5 $\left[\begin{smallmatrix} - \\ 2 \end{smallmatrix} \right]$

$\left[\begin{smallmatrix} \times \\ \text{日時} \end{smallmatrix} \right]$ 1 0 $\left[\begin{smallmatrix} \times \\ 3 \end{smallmatrix} \right]$

3 $\left[\text{小計} \right]$ キーを押し、お預かり金を入力して $\left[\text{現/預} \right]$ キーを押します。

$\left[\text{小計} \right]$ $\left[\text{万円} \right]$ $\left[\text{現/預} \right]$

2014-07-31 11:15	
000065	
8 点	@380
部門 01	¥3,040
5 点	@160
部門 02	¥800
10 点	@500
部門 03	¥5,000
内税対象計	¥8,840
内税	8.0% ¥655
合 計	¥8,840
お預り	¥10,000
お 釣	¥1,160



注意 ・「単価 × 数量」の順で乗算登録できるのは、部門キーだけです。
 ・この機能を使用すると、「PLU の乗算登録」「時刻・日付の表示」はできません。

PLU の便利な使い方

PLU (Price Look Up) について

前項では、「部門に単価を設定しておく方法」を説明しました。部門は「部門1～10」までの10個しかなく、たくさんの商品を扱うお店ではとても足りず、登録する都度単価を入力するのは非効率です。

これを解消するため「PLU」機能を使います。「PLU」とは、1つの商品に関する単価や商品名などの情報を設定しておくものです。本機にはご購入時600本のPLUがあり、最大600種の商品を設定できます。登録の際は、PLU番号を入力して **PLU** キーを押すと、設定されている商品が登録されます。

点検／精算時にはPLUごとに集計ができ、商品単品の売上状況を確認できます。



ポイント たくさんのPLUを使用するお店では、PLU番号と商品名をまとめた一覧表を作成し、クリアシートなどに入れて見えるところに置いておくとよいでしょう。

PLUには以下の機能があります。必要に応じて設定してください。

		参照ページ
商品単価	設定した単価が登録されます。	67ページ
消費税	設定した税の種類（内税、外税、非課税）に応じて、税計算をします。	71ページ
商品名	設定した名称は、レジ打ちの際に本体表示窓とレシート（ジャーナル）に表示されます。	78ページ
負単価PLU	このPLUは、マイナスとして処理されます。値引きやクーポン券などの登録に使うと便利です。	68ページ
部門リンク	PLUを任意の部門にひも付けます（リンク）。点検／精算時に、各PLUの売上をその部門に合算し、部門トータルとして集計できます。	68ページ
品番PLU	「事前に設定しておいた単価」と異なる単価を入力できます。	69ページ
入力桁制限	品番PLUとして使用する場合に、桁数制限を設けて制限を越える価格は登録できないようにします。	69ページ
単品売り	レジ打ちの際にこのPLUを登録すると、そのまま取引が完了します。（「単品売りの商品」を登録する前、既に「単品売りではない商品」を登録している場合は、通常の手順で取引を締める必要があります。）	69ページ

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは

PLU の便利な使い方

PLU を使って登録する

操作例

単価	数量	PLU 番号	預かり金
¥2,000	1	1	¥10,000
¥150	12	200	
¥1,200	2	2	



手順

操作

表示例

1 PLU 番号を入力して **PLU** キーを押すと、設定された単価で登録されます。

1 **PLU**

2,000

2 乗算登録は最初に個数を入力します。

1 **2** **X/日時**

1,800

2 **00** **PLU**

3 リピート登録は個数分 **PLU** キーを押します。

2 **PLU** **PLU**

2 1,200

リピート回数

4 **小計** キーを押し、お預かり金を入力して **現/預** キーを押します。

小計 **万円** **現/預**

3,800

印字例

2014-07-31 11:25	
000067	
PLU0001	¥2,000
12 点	@150
PLU0200	¥1,800
PLU0002	¥1,200
PLU0002	¥1,200
内税対象計	¥6,200
内税	8.0% ¥459
合計	¥6,200
お預り	¥10,000
お釣	¥3,800

PLU の便利な使い方

品番 PLU 機能とは？

「品番 PLU」は、1つの商品を「異なる単価」で登録する場合に使います。任意の PLU を「品番 PLU」として設定できます。

レジ打ちの際は、該当する PLU 番号を入力して **PLU** キーを押したあと、単価を入力して **金額** キーを押します。(単価を入力せずにそのまま **金額** キーを押すと、PLU に設定されている単価が登録されます。)

品番 PLU の設定は、「PLU に「単品売り」と「品番 PLU」を設定する」(69 ページ)を参照してください。

品番 PLU を使って登録する

操作例

単価	数量	PLU 番号	預かり金
¥850	2	303 (品番 PLU 設定済み)	¥4,000
¥98	9	28 (品番 PLU 設定済み)	
¥480 (単価設定済み)	1	111 (品番 PLU 設定済み)	



手順

操作

表示例

1 品番、**PLU** キー、単価、**金額** キーの順に押します。

3 0 3 **PLU**
8 5 0 **金額**

850

2 リピート登録は、個数分 **金額** キーを押します。

金額

2 850

リピート回数

3 乗算登録は、最初に個数を入力します。

9 **×/日時** **2 8** **PLU**
9 8 **金額**

882

4 設定単価を使う場合は、単価を入力せずに **金額** キーを押します。

1 1 1 **PLU** **金額**

480

5 **小計** キーを押し、お預かり金を入力して **現/預** キーを押します。

小計 **4 0 0 0** **現/預**

938

印字例

2014-07-31 11:27	
	000069
PLU0303	¥850
PLU0303	¥850
9 点	@98
PLU0028	¥882
PLU0111	¥480
内税対象計	¥3,062
内税 8.0%	¥227
合計	¥3,062
お預り	¥4,000
お釣	¥938

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは

割引きをする

商品ごとに割引きをする

売り上げる商品を登録したあと、その商品の割引きができます。

操作例

単価	数量	部門キー	割引き率	預かり金
¥1,000	1	部門1 $\begin{matrix} 6 \\ + \\ 1 \end{matrix}$	5%	¥5,000
¥2,500	1	部門3 $\begin{matrix} 8 \\ \times \\ 3 \end{matrix}$	7.5%	



手順

操作

印字例

- 商品を登録します。
 $1\ 0\ 0\ 0\ +\ \begin{matrix} 6 \\ 1 \end{matrix}$
- 割引き率を入力して、 $\%$ キーを押します。
直前に登録した商品の割引き計算をします。
 $5\ \%$
- 同様に、次の商品を登録して割引きをします。
 $2\ 5\ 0\ 0\ \times\ \begin{matrix} 8 \\ 3 \end{matrix}$
 $7\ .\ 5\ \%$
- 小計 キーを押し、お預かり金を入力して 現/預 キーを押します。
 $\text{小計}\ 5\ 0\ 0\ 0\ 0\ \text{現/預}$

部門 01	¥1,000
5%	
%	-50
部門 03	¥2,500
7.5%	
%	-188
内税対象計	¥3,262
内税 8.0%	¥242
合計	¥3,262
お預り	¥5,000
お釣	¥1,738

合計金額から割引きをする

小計 キーを押したあとに割引きをすると、売り上げた商品の合計に対する割引きをします。

操作例

単価	数量	部門キー	割引き率	預かり金
¥1,000	1	部門1 $\begin{matrix} 6 \\ + \\ 1 \end{matrix}$	10%	¥5,000
¥2,500	1	部門3 $\begin{matrix} 8 \\ \times \\ 3 \end{matrix}$		



手順

操作

印字例

- 商品を登録します。
 $1\ 0\ 0\ 0\ +\ \begin{matrix} 6 \\ 1 \end{matrix}$
 $2\ 5\ 0\ 0\ \times\ \begin{matrix} 8 \\ 3 \end{matrix}$
- 小計 キーを押し、割引き率を入力して $\%$ キーを押します。
 $\text{小計}\ 1\ 0\ \%$
- 小計 キーを押し、お預かり金を入力して 現/預 キーを押します。
 $\text{小計}\ 5\ 0\ 0\ 0\ 0\ \text{現/預}$

部門 01	¥1,000
部門 03	¥2,500
小計	¥3,500
10%	
%	-350
内税対象計	¥3,150
内税 8.0%	¥233
合計	¥3,150
お預り	¥5,000
お釣	¥1,850



- $\%$ キーに、あらかじめ「割引き率」を設定できます。事前に「割引き率5%」を設定しておくと、 5 を入力せずに $\%$ キーを押すだけで5%を割引きます。
- 1円未満の端数は「四捨五入」ですが、「切り上げ」「切り捨て」の設定もできます。
- 割引き率の設定は、「割引き率、値引き金額をそれぞれのキーに設定する」(77ページ)を参照してください。
- 端数の設定は、「 $\%$ キー」(99ページ)を参照してください。
- $\%$ キーを割増しとして使用する設定は、「 $\%$ キー」(99ページ)を参照してください。

値引きをする

[-] キーで値引きをする

値引きをするときは [-] キーで登録します。

操作例

単価	数量	部門キー	値引き額	預かり金
¥1,000	1	部門1 $\div 1$	¥500	¥5,000
¥2,500	1	部門3 $\times 3$		



手順

操作

印字例

1 商品を登録します。

1 0 0 0 $\div 1$

2 値引き額を入力して、[-] キーを押します。

2 5 0 0 $\times 3$

5 0 0 [-]

3 小計 キーを押し、お預かり金を入力して [現/預] キーを押します。

小計 5 0 0 0 0 [現/預]

部門 01	¥1,000
部門 03	¥2,500
-	-500
内税対象計	¥3,000
内税 8.0%	¥222
合計	¥3,000
お預り	¥5,000
お釣	¥2,000

- ポイント**
- [-] キーに、あらかじめ「値引き金額」を設定できます。事前に値引き金額を設定しておくで、手順2で [-] キーを押すだけで設定金額を値引きします。
 - [-] キーの設定は、「割引率、値引き金額をそれぞれのキーに設定する」(77 ページ) を参照してください。

合計の10円未満の端数を自動値引きする

合計金額を、「5円単位」または「10円単位」に丸めて自動値引きできます。

操作例

10円未満の端数値引きで、商品を売ります。

単価	数量	部門キー	預かり金
¥1,281	1	部門4 $\div 4$	¥10,500
¥1,502	1	部門1 $\div 1$	
¥2,380	1	部門2 $\div 2$	



手順

操作

印字例

1 商品を登録します。

1 2 8 1 $\div 4$

1 5 0 2 $\div 1$

2 3 8 0 $\div 2$

2 端数を丸めて合計処理します。

小計

3 お預かり金を入力して、[現/預] キーを押します。

万円 5 0 0 [現/預]

部門 04	¥1,281
部門 01	¥1,502
部門 02	¥2,380
内税対象計	¥5,163
内税 8.0%	¥382
小計	¥5,163
サービス	-3
合計	¥5,160
お預り	¥10,500
お釣	¥5,340

- 丸め前の金額
- 丸め値引き金額
- 丸め後の金額

- ポイント**
- 「10円丸め」は「1~9円→0円」に、「5円丸め」は「1~4円→0円/5~9円→5円」に丸めます。丸めた差額が自動値引きされ、レシートに「サービス金額」として印字されます。差額がないときは、「サービス金額」の印字をスキップします。
 - 丸めの設定は、「10円丸め・5円丸めを設定する」(77 ページ) を参照してください。

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは

万円キーを使う／日時の表示

万円キーの使い方

1万円以上の金額を入力するときは **万円** キーを使うと便利です。

操作例

単価	数量	部門キー	預かり金
¥10,000	1	部門3 $\times \frac{8}{3}$	¥40,000
¥20,550	1	部門4 $\div \frac{9}{4}$	



手順

操作

印字例

1 商品を登録します。

万円 $\times \frac{8}{3}$

2 預かり金を登録します。

2 万円 **550** $\div \frac{9}{4}$
 小計 **4** 万円 現/預

部門 03	¥10,000
部門 04	¥20,550
内税対象計	¥30,550
内税 8.0%	¥2,263
合計	¥30,550
お預り	¥40,000
お釣	¥9,450



預かり金処理で **万円** キーを使うと、点検／精算レポートに「一万円札」の枚数が印字されます。(商品登録時の使用はカウントされません。)

日付と時刻を表示する

モードスイッチの位置を「登録」または「戻」にして $\frac{\times}{\div}$ 日時 キーを押すと、日付と時刻を表示します。AC C キーを押すと元に戻ります。

日付と時刻のセットは、「日付をセットする」、「時刻をセットする」(61ページ) を参照してください。



- ・登録途中、日付と時刻は表示できません。
- ・日付、時刻の表示中に、他の操作はできません。



手順

操作

表示例

1 日付・時刻を確認します。

$\frac{\times}{\div}$ 日時



- 1: 年/月/日
- 2: 時 (24 / 12 時間制) / 分
- 3: 1 秒ごとの点滅 (秒表示も可能)

2 日付・時刻表示を解除します。

AC C

入金処理と出金処理

売上とは関係ない現金をドロアーに入れる

掛け売り代金の受け取りや釣銭用小銭の補充など、売上とは関係ない現金をドロアーに入れる（＝入金）ときは、**入金** キーで登録して記録を残します。

この操作で、点検／精算時にドロアー内の現金在高を正確に把握できます。

操作例

釣り銭準備として 8,000 円をドロアーに入れます。

手順

1 入金額を入力して、**入金** キーを押します。

操作

8 0 0 0 **入金**

印字例



売上とは関係ない現金をドロアーから出す

集金や、ドロアーがいっぱいになったときなど、売上とは関係ない現金をドロアーから出す（＝出金）ときは、**出金** キーで登録して記録を残します。

この操作で、点検／精算時にドロアー内の現金在高を正確に把握できます。

操作例

1 万円札を 15 枚ドロアーから金庫に移します。

手順

1 出金額を入力して、**出金** キーを押します。

操作

1 5 **万円** **出金**

印字例



ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは

番号を印字する／レシートの発行と停止

伝票番号や商品コードを印字する

レシートに売上金額ではない数値（伝票番号、商品コード、お客様番号、電話番号など）を印字できます（番号印字）。印字できる数値は最大 14 桁です。

操作例

お客様番号 <1001> に下記の商品进行

単価	数量	部門キー	預かり金
¥1,230	1	部門1 <input type="button" value="6"/> <input type="button" value="1"/>	¥20,000
¥3,500	1	部門3 <input type="button" value="8"/> <input type="button" value="3"/>	
¥8,800 (商品コード 53344830)	1	部門2 <input type="button" value="7"/> <input type="button" value="2"/>	



手順

操作

印字例

- お客様番号を入力して、 キーを押します。
- 商品を登録します。
- 商品コードを入力して、 キーを押します。
- 商品を登録します。
- キーを押し、お預かり金を入力して キーを押します。

1 0 0 1

1 2 3 0

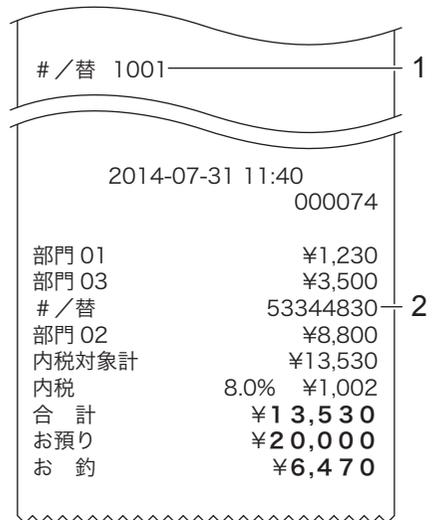
3 5 0 0

5 3 3 4

4 8 3 0

8 8 0 0

2 万円



- 1: お客様番号
2: 商品コード

レシートの発行／停止と後レシート発行

キーを使った発行と停止の切り替え プリンターをレシート発行用として使用中に、 キーを2回続けて押し、レシートを発行する／しない（停止）の切り替えができます。

現在の設定は、本体表示窓のレシート発行シンボル（■）のあり／なしで確認できます。（シンボルありでレシートを発行します。）

キーを使った後レシート発行

レシート発行しない（停止）設定にすると、レシートは発行されません。取引後にお客様からレシートの発行を求められた場合は、 キーを押して直前取引のレシートを発行できます。

注意 プリンターをジャーナル発行用として使用中の後レシート発行はできません。

商品券／クレジットの売上

商品券で売り上げる

商品券（券売り）での売上は、**券** キーで登録します。

操作例

単価	数量	部門キー	預かり金
¥2,380	2	部門 2 - 7 2	¥5000 の商品券



手順

操作

印字例

1 商品を登録します。

2 3 8 0

- 7 2 - 7 2 小計

2 商品券の預かり金額を入力して、**券** キーを押します。

5 0 0 0 **券**

2014-07-31 13:37	
	000208
部門 02	¥2,380
部門 02	¥2,380
内税対象計	¥4,760
内税 8.0%	¥353
合計	¥4,760
商品券	¥5,000
お釣	¥240

1: 券売りの預かり額

クレジットカードで売り上げる

クレジットカードでの売上は、**信** キーで登録します。

操作例

単価	数量	部門キー	預かり金
¥35,000	1	部門 1 + 6 1	なし (クレジット)



手順

操作

印字例

1 商品を登録します。

3 万円

5 0 0 0 0 **+ 6 1** 小計

2 **信** キーを押します。

信

2014-07-31 13:40	
	000210
部門 01	¥35,000
内税対象計	¥35,000
内税 8.0%	¥2,593
クレジット	¥35,000

1: 信用売り

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは

混在する支払い方法の売上

一部を商品券・残りを現金で売り上げる

登録終了時（締め）に使う **現/預**、**券**、**信** キーは、1 つに限定する必要はありません。商品券と現金、商品券とクレジットカードなどの、組み合わせた売上を処理します。

操作例

単価	数量	部門キー	預かり金
¥2,350	1	部門 2 - 7 2	商品券 ¥5,000
¥3,820	1	部門 1 + 6 1	現金 ¥1,500



手順

操作

印字例

1 商品を登録します。

2 3 5 0 **- 7**

3 8 2 0 **+ 6**

小計

2 商品券の預かり金額を入力して、**券** キーを押します。

5 0 0 0 **券**

3 現金の預かり金額を入力して、**現/預** キーを押します。

1 5 0 0 **現/預**

2014-07-31 13:43	
	000212
部門 02	¥2,350
部門 01	¥3,820
内税対象計	¥6,170
内税 8.0%	¥457
合計	¥6,170
商品券	¥5,000
お預り	¥1,500
お釣	¥330

1: 商品券分

2: 現金預かり分

3: おつり



ポイント 一部入金を「不可」に設定すると、小計額よりも少ない預かり金を入力した場合に警告音（エラーブザー）を鳴らすことができます。設定は、「**現/預** **券** **信** キー」（97 ページ）を参照してください。

領収書を発行する

取引直後に領収書を発行する

領収書を発行するときは、売上レシートを発行した後に  キーを押します。レシートが「停止」状態であっても発行できます。

操作例

単価	数量	部門キー	預かり金
¥60,000	1	部門 1  	¥60,000



手順

1 商品を登録します。



2 預かり金額を入力して、 キーを押します。



3  キーを押します。



印字例

カシオ商店

渋谷区本町 1-6-2
電話 1234-5678

2014-07-31 10:02
000025 — 1

部門 01	¥60,000
内税対象計	¥60,000
内税	8.0% ¥4,444
合計	¥60,000
お預り	¥60,000
お釣	¥0

1: レシート一連番号



注意 領収書の「6 店名ロゴ部分」に店名ロゴ・住所などを印字するには、「電子店名スタンプ」のご購入が必要です。同梱の「電子店名スタンプ注文書」をご覧ください。本機には、領収書の店名ロゴ部分に店名や住所を文字入力する設定はありません。

領収書印字例

2014年07月31日 一連 No000025 — 1
領収 No000004 — 2

領 収 書

様 3

¥60,000 — 4

(但し) 5

として
正に領収いたしました) 6

7 収入印紙

税抜金額 ¥55,556
消費税等 ¥4,444

印

カシオ商店 6

渋谷区本町 1-6-2
電話 1234-5678

印刷面を内側に折って保管願います

- | | | |
|---------------|---------------------------|-----------|
| 1 レシート一連番号 | 4 領収書中の税額 | 7 収入印紙貼付欄 |
| 2 領収書一連番号 | 5 但し書き (ご購入時の設定は「印字無し」です) | |
| 3 お客様名を書き込みます | 6 店名ロゴ部分 | |



- ご購入時の設定では、税抜金額 ¥50,000 以上の場合、収入印紙貼付欄が印字されます。¥50,000 未満の場合は印字されません。
- 印字内容の変更は、「内容変更できる主な印字項目」(100 ページ) を参照してください。

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは

領収書を発行する

金額指定の領収書発行

金額を入力して、領収書の発行ができます。



手順

操作

1 領収書の額面金額を入力して、 キーを押します。 **5 0 0 0** 

領収書印字例

2014年07月31日	領 収 書	一連 No000027 領収 No000006
	様	
	¥5,000-	
(但し	として	印
正に領収いたしました)		
カシオ商店	渋谷区本町 1-6-2	
	電話 1234-5678	
	印刷面を内側に折って保管願います	



- ・取引中にこの操作はできません。取引が完了してから発行処理をしてください。
- ・税額は印字されません。
- ・ご購入時の設定では、税抜金額 ¥50,000 以上の場合、収入印紙貼付欄が印字されます。¥50,000 未満の場合は印字されません。
- ・印字内容の変更は、「印字内容を変更できる主な項目 レシート／領収書」(100 ページ) を参照してください。

領収書発行時のレシート用紙のご注意

- 領収書には、高保存タイプのロールペーパーの使用をお勧めします。
- 感熱記録紙（サーマル用紙）は、通常紙に比べて吸湿性が劣る傾向があります。収入印紙貼付後や捺印後は、すぐに擦ったりしないでください。
- 感熱記録紙（サーマル用紙）は、強い光に当てると印字が見えにくくなります。保管・保存には注意してください。
- お客様にお渡しするときは、「汚れ防止」と「光から遮断」のため、印字面を内側に2つ折りにしてお渡しください。

クーポン券を発行する

「売上の合計金額」×「ポイント率」で「ポイント」を計算し、レシートの末尾にクーポン券として印字します。「クーポン券のポイント率設定」(107 ページ)でポイント率を設定すると、自動でクーポン券を発行する設定になります。

操作例

ポイント率を1%に設定

単価	数量	部門キー	預かり金
¥2,380	2	部門2 <input type="text" value="- 7"/>	¥5,000



手順 操作 印字例

1 商品を登録します。

2 3 8 0

小計

2 預かり金を入力して、
 キーを押します。

5 0 0 0



1: クーポン券メッセージ



クーポンの半券に印字するメッセージを設定する場合は、「商品名やメッセージの設定」(78 ページ)を参照してください。

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは

予約券を発行する

予約日付／時刻を印字した予約券を発行できます。

操作例

12月24日17時30分の予約券を発行します。



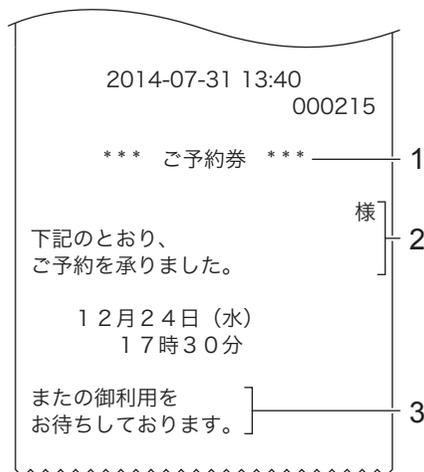
手順

1 予約日付／時刻を8桁で入力します。

操作



印字例



- 1: 予約券タイトル
- 2: 予約券メッセージ1
- 3: 予約券メッセージ2
(お買い上げ時は印字しません)



- ・予約券のタイトルとメッセージに印字するメッセージを設定する場合は、「商品名やメッセージの設定」(78ページ)を参照してください。
- ・ご購入時の設定では印字しません。

担当者機能を使う

レジ担当者機能とは

担当者機能を「使用する」に設定すると、レジ操作時は最初に担当者番号を入力して  キーを押す必要があります。この手順を省くとレジを使用できません。

- ・ スタッフごとに担当者番号を決めておくと誰がレジを操作したかを明確にでき、担当者名をレシートに印字したり、担当者別に売上を集計できます。
- ・ ご購入時、担当者番号は01～10に設定されています。任意の4桁の数字に変更してパスワード(暗証番号)としてご使用いただければ、セキュリティの向上を図れます。

 **ポイント** ご購入時の設定では、担当者機能は「使用しない」に設定されています。設定を変更する場合は、「強制機能や演算方式を設定する」(102ページ)を参照してください。

レジ担当者を使う場合の登録手順

レジスターに担当者が指定されている状態を「サインオン」状態、指定されていない状態を「サインオフ」状態と呼びます。

操作例

担当者-01をサインオンします。



手順

操作

- 1** 担当者番号を入力して、  キーを押します。
これでレジが使える状態になります。



 **ポイント** パスワードとして使用する場合は、担当者番号を入力する前に  キーを押すと、表示窓に担当者番号を表示しません。

操作例

担当者-01をサインオフします。

手順

操作

- 1** ゼロを入力して、  キーを押します。
レジは使えなくなります。



 **ポイント**

- ・ レシートに印字する担当者の名前を変更する場合は、「レジ担当者の名前を設定する」(91ページ)を参照してください。
- ・ 担当者がサインオン時の番号(ご購入時は担当者番号と同じ)を、任意の4桁の数字(0001～9999)に変更できます。設定は「担当者番号にパスワードを設定する」(107ページ)を参照してください。
- ・ 印字例は、「レシート・ジャーナルの見方」(25ページ)を参照してください。

ご使用前に

使い方

便利な使い方

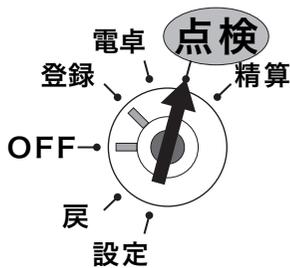
設定の仕方

こんなときは

売上の点検と精算

点検とは、営業中にその日の途中経過を確認する操作です。

点検時のモードスイッチ位置



モードスイッチ位置を「点検」にすると、本体表示窓の「点検」の位置にシンボル (■) が表示されます。点検をしても、それまでのデータはクリア (ゴハサン) されません。

レポート名称とその内容

●日計明細

1日の最後に必ず精算してください。

売上総額、ドローア内の現金在高、税額総計等、取引別の内容 (現金、商品券、クレジット等や割引、値引き、入出金)、部門別の売上状況、レジ担当者別の扱い金額などを集計します。

●期間集計 1

週単位や月単位など、一定期間の売上を累積できます。「期間」は、レジに何かの値を設定するのではなく、期間集計 1 を精算して以降の売上を、自動で累積し続けます。週単位であれば「週末の閉店後」、月単位であれば「月末の閉店後」などの運用ルールを決め、定期的に期間集計 1 を精算してください。

●期間集計 2

期間集計 1 とは別に、もう 1 つ期間集計できます。例えば、キャンペーン期間中や半年分など、期間集計 1 とは異なる期間の集計にご使用ください。操作方法は期間集計 1 と同じです。

●PLU

個々の商品別の売上金額と売上数量を集計します。

●時間帯別

一日の売上を、時間帯別に集計できます。

●月間日別

1ヶ月の売上を、日付別に集計できます。

●グループ

数個の部門をグループにまとめて、合計を集計します。

●売上/在高

売上と在高 (ドローア内の現金などの合計) をワンタッチで知ることができます。

●個別 (部門/PLU)

知りたい部門や PLU を指定して見ることができます。

●電子ジャーナル

電子的に記録された営業記録 (ジャーナル) を印字します。開始日付や開始一連番号の指定ができます。ご購入時の設定では、電子ジャーナルの記録は「日計明細の精算」により消去されます。

消去せずに残したい場合は、「日計明細の精算で電子ジャーナルをクリアしない設定」(103 ページ) にしてください。このとき、電子ジャーナルが一杯になると以降は記録されません。

電子ジャーナルの空き容量が少なくなると通知されます。できるだけ早く精算してください。(精算すると、記録は自動的にクリアされます。)



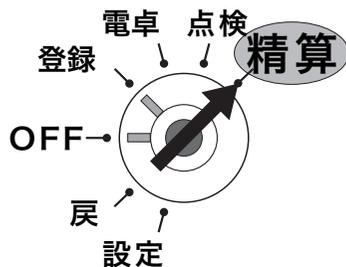
・グループ集計は、「部門」にあらかじめグループ番号を設定する必要があります。(64 ページ)

・「売上構成比の印字」を「印字する」に設定します。(103 ページ)

売上の点検と精算

精算とは、閉店後に売上データを集計してレポート印字したあと、元になったデータをクリア（ゴハン）にする操作です。

精算時のモードスイッチ位置



モードスイッチ位置を「精算」にすると、本体表示窓の「精算」の位置にシンボル (■) が表示されます。

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは

レポートとキー操作

点検または精算は、モードスイッチ位置を「点検」または「精算」にして以下のキーで操作します。点検・精算によって、メモリの中に集計された内容が印字出力されます。これを「レポート」と呼びます。

レポート名称	キー操作	点検	精算	取引データをクリアする操作	参照ページ
日計明細	<input type="text" value="現/預"/>	○	○	日計明細の精算	52
売上/在高	<input type="text" value="日時"/>	○	×		52,53
部門個別	部門キー、・・・、最後に <input type="text" value="小計"/>	○	×		
グループ別	<input type="text" value="6 現/預"/>	○	×		
期間集計 1 明細	<input type="text" value="1 0 0 現/預"/>	○	○	←の精算	52
期間集計 2 明細	<input type="text" value="2 0 0 現/預"/>	○	○	←の精算	
PLU	<input type="text" value="1 現/預"/>	○	○	←の精算	54
PLU 個別	PLU 番号 <input type="text" value="PLU"/> 、 ・・・最後に <input type="text" value="小計"/>	○	×		
時間帯別	<input type="text" value="2 現/預"/>	○	○	←の精算	55,56
月間日別	<input type="text" value="3 現/預"/>	○	○	←の精算	
電子ジャーナル					
(すべて)	<input type="text" value="出金/電子ジャーナル"/>	○	○	・←の精算 ・「日計明細」の精算 (※2) ・電子ジャーナル消去 (※3)	57
(区間指定)	<input type="text" value="5 8 現/預"/> 開始日付 <input type="text" value="現/預"/> (※1) 開始一連番号 <input type="text" value="現/預"/> (※1)	○	×		

※1 開始日付と開始一連番号は、一方、または両方の入力を省くことができます。両方省く場合は、 と入力してください。電子ジャーナルに記録されているすべてのデータが印字されます。

※2 ご購入時の設定では、「日計明細の精算」によってクリアされます。クリアしない設定は、「電子ジャーナル」(103 ページ) を参照してください。

※3 印字せずに消去します。モードスイッチ位置を「精算」にして、 と入力してください。

※ レポートには、集計された内容のほか「種別コード」・「レポートタイトル」などが印字されます。点検時は、印字シンボル「X」、精算時には印字シンボル「Z」が印字されます。精算レポートによっては、累積発行数（精算回数と呼びます）を印字します。

※ 長いレポートを途中で止めたい場合は…

モードスイッチ位置を「OFF」にします。(止まるまで数秒かかるときもあります。)

売上の点検と精算

日計明細／期間集計の点検・精算



手順と操作

1 モードスイッチの位置を、「点検」または「精算」にします。

2 次の操作をします。

日計は

期間集計 1 は

期間集計 2 は

印字例

精算	2014-07-31 10:53	
担当 -01	0001-000048	
0000 日計明細	Z 0002	1
部門 01	505 点	2
44.04%	¥231,167	3
部門 02	411 点	
39.75%	¥208,689	
部門 03	32 点	
0.72%	¥14,297	
担当 -01	138 件	4
	¥309,873	5
担当 -02	20 件	
	¥188,874	

- 1: レポートタイトル、コード／精算シンボル／精算回数
- 2: 部門名／売上個数
- 3: 売上構成比・売上金額
- 4: 担当者 -01 純売上件数
- 5: 担当者 -01 純売上金額

印字例は日計明細の精算です。

※ 期間集計 1 および期間集計 2 の印字は、精算（点検）シンボルが、「XX」または「ZZ」になります。（以外の印字は変わりません。）

売上／在 high の点検



手順と操作

1 モードスイッチの位置を、「点検」にします。

2 キーを押します。

印字例

点検	2014-07-31 19:30	
担当 -01	0001-000370	
在売点検	X	1
総売上	1059 個	2
	¥524,966	3
純売上	158 件	4
	¥498,747	5
現金在高	¥405,361	6
券在高	¥2,890	7
信在高	¥37,405	8

- 1: レポートタイトル／点検シンボル
- 2: 総売上個数
- 3: 総売上金額
- 4: 純売上件数（客数）
- 5: 純売上金額
- 6: 現金在高
- 7: 商品券在高
- 8: 信用売在高

売上の点検と精算

部門個別の点検

操作例

部門 1 、3 、7 の売上金額を確認します。



手順と操作

- 1 モードスイッチの位置を、「点検」にします。
- 2 点検する部門キーを押します。

 キーを押します。

印字例

点検	2014-07-31 19:23	
担当	-01	0001-000369
	X	1
部門 01	38 点	2
	¥25,753	3
部門 03	23.6 点	4
	¥22,957	4
部門 07	50 点	5
	¥23,523	5
合計	111.6 点	6
	¥72,233	7

- 1: 点検シンボル
- 2: 部門 01 名称/個数
- 3: 部門 01 金額
- 4: 部門 03
- 5: 部門 07
- 6: 点検分の合計個数
- 7: 合計金額

グループ別集計の点検

手順と操作

- 1 モードスイッチの位置を、「点検」にします。
- 2 次の操作をします。

印字例

点検	2014-07-31 13:56	
担当	-01	0001-000156
0006 グループ	X	1
01	47 点	2
4.89%	¥14,582	2
02	38 点	3
5.24%	¥15,624	3
03	54 点	4
5.39%	¥16,062	4
05	89 点	5
14.61%	¥43,528	5
06	7 点	6
	¥3,527	6
08	11 点	7
2.03%	¥6,073	7
09	9 点	8
1.61%	¥4,813	8
10	7 点	9
1.32%	¥3,955	9
合計	576 点	10
99.87%	¥297,836	11

- 1: 機種コード/レポートタイトル/点検シンボル
- 2: グループ 01 / 個数/構成比/金額
- 3: グループ 02
- 4: グループ 03
- 5: グループ 05
- 6: グループ 06
- 7: グループ 08
- 8: グループ 09
- 9: グループ 10
- 10: 点検分の合計個数
- 11: 点検分の合計金額

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは

売上の点検と精算

PLU の点検・精算



手順と操作

- 1 モードスイッチの位置を、「点検」または「精算」にします。
- 2 次の操作をします。

1 現/預

印字例

精算 2014-07-31 21:15		
担当 -01		0001-09543
0001 P L U		Z 0001 — 1
PLU0001	126 点	— 2
1.23%	¥38,430	— 2
PLU0003	94 点	— 3
0.95%	¥29,892	— 3
PLU0007	162 点	— 4
1.13%	¥35,324	— 4
PLU0016	141 点	— 4
1.02%	¥57,246	— 4

合計	4,163 点	— 5
10.23%	¥1,872,484	— 6

- 1: 種別コード/レポートタイトル/精算シンボル/精算回数
 - 2: PLU001 名称/個数/構成比/金額
 - 3: PLU003
 - 4: PLU007
 - 5: 全 PLU の合計個数
 - 6: 構成比/合計金額
- ※ 構成比は、総売上に対する個々の比率です。
- ※ 集計数値のない PLU は印字をスキップします。

PLU 個別の点検

操作例

PLU 番号 111、112、200 の売上金額を確認します。



手順と操作

- 1 モードスイッチの位置を、「点検」にします。
 - 2 PLU 番号を入力して、**PLU** キーを押します。次の PLU を点検するときは、番号を入力せずに **PLU** キーを押します。
- 1 1 1** **PLU** **PLU**
- 2 0 0** **PLU**
- 3 **小計** キーを押します。
- 小計**

印字例

点検 2014-07-31 19:30		
担当 -01		0001-000380
		X — 1
PLU0111	10 点	— 2
	¥1,200	— 3
PLU0112	4 点	— 4
	¥520	— 4
PLU0200	17 点	— 5
	¥1,700	— 5

合計	88 点	— 6
	¥12,562	— 7

- 1: 点検シンボル
- 2: PLU111 名称/個数
- 3: PLU111 金額
- 4: PLU112
- 5: PLU200
- 6: 点検分の合計個数
- 7: 合計金額

売上の点検と精算

時間帯別集計の点検・精算

点検 精算

手順と操作

- 1 モードスイッチの位置を、「点検」または「精算」にします。
- 2 次の操作をします。

2 現/預

印字例

精算 2014-07-31 21:26	
担当 -01 0001-017251	
0002 時間帯	Z 0004
07:00 - 8:00	13 件
	¥30,230
08:00 - 9:00	35 件
	¥107,380
09:00 - 10:00	123 件
	¥339,940
10:00 - 11:00	307 件
	¥918,350
11:00 - 12:00	346 件
	¥998,030
20:00 - 21:00	186 件
	¥532,040
21:00 - 22:00	24 件
	¥73,340
22:00 - 23:00	2 件
	¥5,340
合計	5,773 件
	¥17,058,650

- 1: 種別コード/レポートタイトル / 精算シンボル/精算回数
 - 2: 時間帯 07:00 ~ 08:00
 - 3: 時間帯 08:00 ~ 09:00
 - 4: 時間帯 09:00 ~ 10:00
 - 5: 時間帯 10:00 ~ 11:00
 - 6: 時間帯 11:00 ~ 12:00
 - 7: 時間帯 20:00 ~ 21:00
 - 8: 時間帯 21:00 ~ 22:00
 - 9: 時間帯 22:00 ~ 23:00
 - 10: 時間帯総合計/純売上金額合計
- ※ 集計数値のない日付は印字をスキップします。

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは

売上の点検と精算

月間日別集計の点検・精算



手順と操作

1 モードスイッチの位置を、「点検」または「精算」にします。

2 次の操作をします。

3 現/預

印字例

精算	2014-07-31	20:46
担当	-01	0001-023652
0003	月間日別	Z 0003
1	191 件
		¥564,360
2	179 件
		¥532,250
3	236 件
		¥712,560
4	261 件
29	305 件
		¥903,260
30	215 件
		¥641,070
合計		5,773 件
		¥17,058,650

1: 種別コード/レポートタイトル/
精算シンボル/精算回数

2: 1日/売上任数/純売上金額

3: 2日

4: 3日

5: 29日

6: 30日

7: 月間日別件数合計

8: 純売上合計

※ 集計数値のない日付は印字をスキップします。

売上の点検と精算

電子ジャーナルの点検・精算

すべての電子ジャーナルを印字します。



手順と操作

- 1 モードスイッチの位置を、「点検」または「精算」にします。
- 2 次の操作をします。

出金/
電子ジャーナル

印字例

点検	2014-07-31 13:56	
担当	-01	0001-000156
0058	電子ジャーナル	X
部門 01		¥360
10点	@128	
部門 04		¥1,280
PLU0027		¥360
-		-100
部門 03		¥2,600
部門 04	非	¥3,000

- 1: 種別コード/レポートタイトル/
点検シンボル
- 2: ジャーナルの内容

電子ジャーナルの区間点検

ある決まった日付や一連番号からのジャーナルを印字します。



手順

操作

- 1 モードスイッチの位置を、「点検」にします。
- 2 次の操作をします。

開始日付の指定 (例: 2014/6/1 以降)

5 8 現/預

開始一連番号の指定 (例: 100 番以降)

1 4 0 6 0 1 現/預

1 0 0 現/預

- ※ 開始日付、開始一連番号の指定を省く場合は、数値を入力せずにそのまま  キーを押します。
- ※ 開始一連番号は、最大6桁です。

電子ジャーナルの消去

電子ジャーナルを印字せずに消去します。



手順

操作

- 1 モードスイッチの位置を、「精算」にします。
- 2 次の操作をします。

4 0 5 8 現/預

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは

電卓機能の使い方

モードスイッチの位置を「電卓」にすると、下図のキーで電卓と同様に計算できます。そのほかにも便利な機能があります。ご活用ください。



注意 10桁（負数のときは9桁）を超えるとエラーになります。

- ・計算命令キーは、上記のほか キーが減算に、 キーが乗算に使用できます。
- ・電卓モード中は、 キーを押すとドロアーが開きます。

税抜き金額・税額を計算する

信

1,500円の税抜き金額と内税額は？
 （「税1」が税率8%、内税、端数四捨五入の場合）



操作

AC C 1 5 0 0 信

（続けて）

信

表示例

1389

税抜き金額

111

内税額

- 注意** ・税計算は、「税1」に設定されている税率、計算方式、端数処理方法が使用されます。設定内容によって、求められる答は異なります。
- ・端数処理の設定については、「税額の1円未満の端数処理を設定する」（75ページ）を参照してください。

電卓機能の使い方

% キーを使って計算する

%

% キーを使うと下表の計算が簡単にできます。



	演算内容	キー操作	数式
割合計算	a円のb%を求める	a \times b %	$a \cdot b / 100$
割増計算	a円のb%増しを求める	a \times b % +	$a + (a \cdot b / 100)$
割引計算	a円のb%引きを求める	a \times b % -	$a - (a \cdot b / 100)$
比率計算	a円はb円の何%かを求める	a \div b %	$a / b \cdot 100$
増減比率計算	b円からa円に変化したときのb円に対する変化率を求める	a - b %	$(a - b) / b \cdot 100$
売価設定計算	原価a円の商品を利益率b%で販売するときの売価を求める	a + b %	$a / (1 - b / 100)$

消費税改定による新単価を計算する

消費税が改定される際は、事前に商品の単価を見直す必要があります。
「税込み商品（内税）の単価が、税率改定によっていくらになるか？」
今まで説明したキー操作を組み合わせることで簡単に求めることができます。

操作例

現在、税込1万円（内税8%）の商品が、税率10%になるといくらになるか。



操作

1 0 0 0 0

信

\times $\frac{8}{3}$ 1 0 %

$+$ $\frac{6}{1}$

表示例

10000

9259

「10000」の税抜き価格(税率8%)

9259

「9259」の10%分

101849

税率(10%)での税込価格

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは

電卓機能の使い方

呼び出し機能を使って計算する

入金
CAL

操作例

以下の商品の売上合計を4人で割り勘にします。

- ・部門1キーに登録されている単価930円の商品を4個お買い上げ
- ・部門2キーに登録されている単価1,240円の商品を1個お買い上げ



手順	操作	表示例
1 モードスイッチの位置を、「登録」にします。 商品を登録します。	4 $\times/\text{日時}$ 9 3 0 $+$ $\frac{6}{1}$ 1 2 4 0 $-$ $\frac{7}{2}$	
2 小計 キーを押します。	小計	 合計金額
3 モードスイッチの位置を、「電卓」にします。 入金 キーを押します。	入金 CAL	 呼び出された合計金額
4 割り勘の計算をします。	\div $\frac{9}{4}$ 4 $=$ 現/預	 1人当たり割り勘額
5 モードスイッチの位置を、「登録」にします。 小計 キーを押すと、元の状態（手順2）に戻ります。	小計	 合計金額



- ・電卓時に呼び出せる数値は、最終登録時の合計金額（**小計** キーを押したときに表示される数値）です。また、登録中に呼び出せる数値は、電卓時の最終の答（「イコール」で求められた数値）です。
- ・小数点以下がある「電卓」時の答を「登録」中に持ってきたときは、小数点以下が切り捨てられます。また、マイナスや“0”の答を持ってきた場合は、エラーになります。

日付／時刻の設定

日付をセットする

操作例

2014年7月31日にセットします。

手順

1 モードスイッチの位置を、「設定」にします。

2 年は「西暦年」の下2桁、日付を入力して、キーを押します。

3 キーを押します。

操作



表示例



設定



注意 年/月/日は、必ず各2桁・合わせて6桁の数字を入力してください。



サマータイムが始まって時刻を1時間進める場合は、登録モードで時刻を表示している間に  キーを押して  キーを押します。サマータイムが終わって時刻を1時間戻す場合は、時刻を表示している間に  キーを押して  キーを押します。

時刻をセットする

操作例

午後1時05分にセットします。

手順

1 モードスイッチの位置を、「設定」にします。

2 時刻を「24時間制」で入力して、キーを押します。

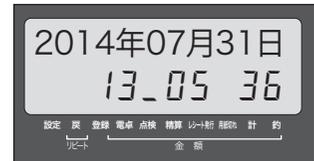
3 キーを押します。

操作



表示例



設定



注意 時/分は、必ず各2桁・合わせて4桁の数字を入力してください。

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは

ジャーナル印字／客用表示／操作音の設定

プリンターをジャーナル印字に設定する

操作例

プリンターをジャーナル印字用に設定します。



手順

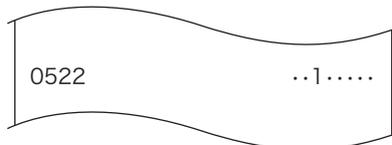
操作

印字例

1 モードスイッチの位置を、「設定」にします。

2 **1** と **信** キーを押します。

1 信



プリンターをレシート印字用として使用	0 信
プリンターをジャーナル印字用として使用	1 信

が、ご購入時の設定です。



レシート印字とジャーナル印字はロールペーパーのセット方法が異なります。設定を変更するときは、ロールペーパーもセットし直してください。(112 ページ)

客用表示とキー操作音の有無を設定する

操作例

客用表示を「使用する」、キー操作音を「なし」に設定します。



手順

印字例

1 モードスイッチの位置を「設定」にして、下記を設定します。

1 0 4 0 0 小計 **0** **1** 現/預 小計

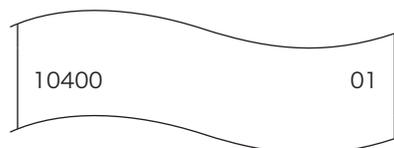
A 客用表示の設定

客用表示を使用する	0
客用表示を使用しない	1

B キー操作音の設定

操作音あり	0
操作音なし	1

が、ご購入時の設定です。



部門キーに商品単価を設定する

操作例

部門キーに下記の単価をそれぞれ設定します。

部門	単価
部門 2 $\left[\begin{array}{c} - \\ 2 \end{array} \right]$	¥800
部門 3 $\left[\begin{array}{c} \times \\ 3 \end{array} \right]$	¥500
部門 6 $\left[\begin{array}{c} \text{担当者/} \\ \text{部門シフト} \end{array} \right] \left[\begin{array}{c} + \\ 6 \\ 1 \end{array} \right]$	¥100
部門 9 $\left[\begin{array}{c} \text{担当者/} \\ \text{部門シフト} \end{array} \right] \left[\begin{array}{c} \pm \\ 9 \\ 4 \end{array} \right]$	¥800



手順

操作

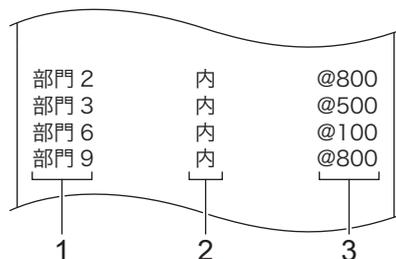
印字例

1 モードスイッチの位置を、「設定」にします。

2 設定する単価を入力して、部門キーを押します。



3 **小計** キーを押して、設定を完了します。



- 1: 部門番号 ※1
- 2: 課税ステータス (消費税内税のシンボル)
- 3: 設定単価

※1 部門に商品名を設定する (78 ページ) と、商品名が印字されます。

 **ポイント** 単価は最大 6 桁 (999,999 円) まで設定できます。単価設定した場合の登録の操作例は、「単価設定した部門キーを用いて商品登録する」(33 ページ) を参照してください。

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは

部門キーの機能を設定する

本機には便利な機能が豊富に備えられています。必要に応じて設定してください。

部門に「負単価部門」を設定する（個別設定）

この部門に登録する商品は、マイナスとして処理されます。値引きやクーポン券などの登録に使うと便利です。



手順と操作

1 モードスイッチの位置を「設定」にして、下記を設定します。

3 小計 0 1 6 6 小計 ※1 0 該当する部門キー 小計

■負単価部門

通常部門	0
負単価部門	2

※1 部門 6～10 を設定する場合は、キーを押します。

が、ご購入時の設定です。

複数の部門キーを設定する場合は、連続して入力することができます。

操作例：部門 1、部門 4、部門 7 に、続けて「負単価部門」を設定します。

3 小計 0 1 6 6 小計 2 $\frac{6}{1}$ …部門 1 に「負単価部門」を設定
2 $\frac{9}{4}$ …部門 4 に「負単価部門」を設定
担当者/部門シフト 2 $\frac{7}{2}$ …部門 7 に「負単価部門」を設定
小計 …小計 を押して設定を完了します。

※「部門キーの機能を設定する」（64 ページ～66 ページ）際、複数の部門キーを続けて設定する場合は、同様に操作してください。

部門をグループにリンクする（個別設定）

部門の上位にグループ（大分類）を想定し、部門をグループに関連付けます。点検／精算時、グループ別に集計（=いくつかの部門を合算）できます。ここでは、部門を 01～10 のグループに設定します。



手順と操作

1 モードスイッチの位置を「設定」にして、下記を設定します。

3 小計 1 1 6 6 小計 ※1 0 0 該当する部門キー 小計

■リンクするグループ

リンクするグループ番号	0 0	～	1 0	0 0
0 0 はリンクするグループなしです。				0 0

※1 部門 6～10 を設定する場合は、キーを押します。

が、ご購入時の設定です。

部門キーの機能を設定する

部門に「入力桁制限」を設定する（個別設定）

誤登録を防ぐため、桁数制限を設けて制限を越える価格は登録できないようにします。



手順と操作

1 モードスイッチの位置を「設定」にして、下記を設定します。



■入力桁数制限

桁数制限をしない	0	または	7
登録可能な桁数を示す	1	～	6
置数入力を禁止する	8	または	9

※1 部門6～10を設定する場合は、キーを押します。

が、ご購入時の設定です。

部門に「単品売り」を設定する（個別設定）

入力時にこの部門に登録すると、そのまま取引が完了して「お客様からお預かりした金額を入力して キーを押す」操作を省くことができます。現金による単品売りのような単純な取引の場合、手早く処理できます。（「単品売りの商品」を登録する前に、既に「単品売りではない商品」を登録している場合は、通常の手順で取引を締める必要があります。）



手順と操作

1 モードスイッチの位置を「設定」にして、下記を設定します。



■単品売り

通常部門	0
単品売り部門	1

※1 部門6～10を設定する場合は、キーを押します。

が、ご購入時の設定です。

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは

部門キーの機能を設定する

まとめて部門の設定をする（一括設定）

部門に関する設定を、まとめて設定できます。



手順と操作

1 モードスイッチの位置を「設定」にして、下記を設定します。

	3	小計	※1	A	B	C	D	E	該当する 部門キー	小計	
				0	0	0	0	0 0 0 0	0 0 0		
				"000" 固定							

A 負単価部門の設定

通常部門	0
負単価部門	2

B 単品売りの設定

通常部門	0
単品売り	1

C 入力桁数制限の設定

桁数制限をしない	0	または	7
登録可能な桁数を選択	1	~	6
置数入力を禁止する	8	または	9

D 課税方式の設定

税 1 内税	0
税 1 外税	1
税 2 内税	2
税 2 外税	3
非課税	6

E リンクグループの設定

リンクするグループ番号	00	~	10		00
00 はリンクするグループなしです。					

※1 部門 6 ~ 10 を設定する場合は、 キーを押します。

が、ご購入時の設定です。

将来の複数税率に対応するため、「税 1」と「税 2」の 2 種類の税率が設定可能です。通常設定では「税 1」のみを使用します。複数税率については、「複数税率への対応」(74 ページ)を参照してください。

PLU に商品単価を設定する

操作例

PLU に下記の単価をそれぞれ設定します。

PLU	単価
PLU 番号 1	¥2,000
PLU 番号 2	¥1,200
PLU 番号 111	¥480
PLU 番号 112	¥880
PLU 番号 200	¥150



手順

操作

印字例

1 モードスイッチの位置を、「設定」にします。

2 設定する PLU コードを指定して、設定する単価を入力します。

1 [PLU]

2 0 0 0 [現/預]

1 2 0 0 [現/預]

1 1 1 [PLU]

4 8 0 [現/預]

8 8 0 [現/預]

2 0 0 [PLU]

1 5 0 [現/預]

3 [小計] キーを押して、設定を完了します。

[小計]

PLU0001	内	0001 @2000
PLU0002	内	0002 @1200
PLU0111	内	0111 @480
PLU0112	内	0112 @880
PLU0200	内	0200 @150

1: PLU 番号 ※1
2: 課税ステータス (消費税・内税のシンボル)
3: 設定単価

※1 PLU に商品名を設定する (78 ページ) と、商品名が印字されます。



連番の PLU を続けて設定するときは、PLU 番号を指定した後「単価」 [現/預]、「単価」 [現/預]、…と続け、最後に [小計] を押してください。 [PLU] キーを使用した登録の操作例は、「PLU を使って登録する」 (36 ページ) を参照してください。

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは

PLU の機能を設定する

PLU に「負単価 PLU」を設定する（個別設定）

この PLU は、マイナスとして処理されます。値引きやクーポン券などの登録に使うと便利です。



手順と操作

1 モードスイッチの位置を「設定」にして、下記を設定します。

3 小計 0 1 6 6 小計 1~600 の PLU 番号 0 現/預 小計

■負単価 PLU

通常 PLU	0
負単価 PLU	2

が、ご購入時の設定です。

複数の PLU を設定する場合は、連続して入力することができます。

操作例：PLU1、PLU2、PLU7 に、続けて「負単価 PLU」を設定します。

3 小計 0 1 6 6 小計 1 PLU 2 現/預 …PLU 1 に「負単価部門」を設定
2 現/預 …PLU 2 に「負単価部門」を設定
7 PLU 2 現/預 …PLU 7 に「負単価部門」を設定
小計 …小計 を押して設定を完了します。

※「PLU の機能を設定する」(68 ページ～ 70 ページ) 際、複数の PLU を続けて設定する場合は、同様に操作してください。

PLU を部門にリンクする（個別設定）

PLU を任意の部門に関連付けます。点検／精算時に、各 PLU の売上を関連付けた部門に合算し、部門トータルとして集計できます。ここでは、PLU を部門 1～10 に設定します。



手順と操作

1 モードスイッチの位置を「設定」にして、下記を設定します。

3 小計 1 1 6 6 小計 1~600 の PLU 番号 00 00 現/預 小計
"00" 固定

■リンクする部門

リンクする部門番号	00 ~ 10
00 はリンクする部門なしです。	00

が、ご購入時の設定です。

PLU の機能を設定する

品番 PLU に「入力桁制限」を設定する（個別設定）

品番 PLU として使用する場合、桁数制限を設けて制限を越える価格は登録できないようにします。



手順と操作

1 モードスイッチの位置を「設定」にして、下記を設定します。

3 小計 1 5 6 6 小計 1~600の PLU 番号 PLU 0 現/預 小計

■入力桁数制限

桁数制限をしない	0	または	7
登録可能な桁数を示す	1	~	6
置数入力を禁止する	8	または	9

が、ご購入時の設定です。

PLU に「単品売り」と「品番 PLU」を設定する（個別設定）

単品売り：入力時にこの PLU を登録すると、そのまま取引が完了して「お客様からお預かりした金額を入力して [現/預] キーを押す」操作を省くことができます。現金による単品売りのような単純な取引の場合、手早く処理できます。（「単品売りの商品」を登録する前に、既に「単品売りではない商品」を登録している場合は、通常の手順で取引を締める必要があります。）

品番 PLU：登録の際、「事前に設定しておいた単価」とは異なる単価を入力できます。



手順と操作

1 モードスイッチの位置を「設定」にして、下記を設定します。

3 小計 1 8 6 6 小計 1~600の PLU 番号 PLU 0 現/預 小計

■品番 PLU

通常	通常	0
	単品売り	1
品番 PLU	通常	4
	単品売り	5

■単品売り

が、ご購入時の設定です。

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは

PLU の機能を設定する

まとめて PLU の設定をする（一括設定）

PLU に関する設定を、まとめて設定できます。



手順と操作

1 モードスイッチの位置を「設定」にして、下記を設定します。

3 小計 1~600の PLU 番号 PLU

A B C D E

0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 現/預 小計

"0" 固定 "00" 固定

A 負単価 PLU の設定

通常 PLU	0
負単価 PLU	2

B 品番 PLU / 単品売りの設定

品番 PLU	単品売り	
通常	通常	0
	単品売り	1
品番 PLU	通常	4
	単品売り	5

C 入力桁数制限の設定

桁数制限をしない	0 または 7
登録可能な桁数を選択	1 ~ 6
置数入力を禁止する	8 または 9

D 課税方式の設定

税 1 内税	0
税 1 外税	1
税 2 内税	2
税 2 外税	3
非課税	6

E 部門リンクの設定

リンクする部門番号 00 ~ 10

00 はリンクする部門なしです。

00

が、ご購入時の設定です。

将来の複数税率に対応するため、「税 1」と「税 2」の 2 種類の税率が設定可能です。通常設定では「税 1」のみを使用します。複数税率については、「複数税率への対応」（74 ページ）を参照してください。

課税方式（内税／外税／非課税）を設定する

ここでは、各キーと PLU を内税、外税、非課税に設定する方法を説明します。
 (内税商品だけを扱うお店は、ご購入時の設定のままお使いいただけます。)

課税方式の設定

モードスイッチの位置を「設定」にすると、**非課税** キーは「非課税指定」、**出金/電子チャージ** キーは「外税指定」、**入金** キーは「内税指定」として機能します。**非課税**、**出金/電子チャージ**、**入金** キーを押して税の種類を指定した後に、該当する部門、キー、PLU を指定して、各キーの課税方式を設定します。課税方式の設定ができるのは、部門 1～部門 10、**%**、**—** キー、PLU001～600 です。

操作例

非課税の設定	部門 4 $\div \frac{9}{4}$ 、部門 10 $\frac{10}{5}$ 、 — キー、PLU50～59
外税の設定	部門 7 $\frac{担当者}{部門ソフト} - \frac{7}{2}$ 、部門 8 $\frac{担当者}{部門ソフト} \times \frac{8}{3}$ 、PLU60～69
内税の設定	部門 1 $\frac{+}{6} \frac{1}{4}$ 、2 $- \frac{7}{2}$ 、3 $\times \frac{8}{3}$ 、5 $\frac{10}{5}$ 、6 $\frac{担当者}{部門ソフト} + \frac{6}{1}$ 、9 $\frac{担当者}{部門ソフト} \div \frac{9}{4}$ キー、 % キー、50～69 以外の PLU



手順

操作

1 モードスイッチの位置を、「設定」にします。

2 **1**、**小計** キーを押します。

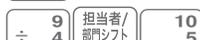


非課税の設定

3 **非課税** キーを押します。



4 非課税にする部門、キー、PLU を設定します。



PLU キーを 10 回押して PLU50～59 の 10 個の PLU を設定します。



外税（税 1）の設定

5 **出金/電子チャージ** キーを押します。



6 外税にする部門、PLU を設定します。



PLU キーを 10 回押して PLU60～69 の 10 個の PLU を設定します。



内税（税 1）の設定

7 **入金** キーを押します。



8 内税にする部門、キー、PLU を設定します。



PLU キーを 49 回押して PLU1～49 の 49 個の PLU を設定します。同様に PLU70 以降も設定します。



9 **小計** キーを押して、設定を終了します。



ポイント 通常の設定では「税 1」のみ使用します。複数税率に対応する場合は、「税 1」と「税 2」の両方を設定してください。

- ・外税（税 2）を設定するには、手順 5 の **出金/電子チャージ** キーの代わりに **券** キーを押します。
- ・内税（税 2）を設定するには、手順 7 の **入金** キーの代わりに **訂正中止** キーを押します。

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは

課税方式（内税／外税／非課税）を設定する

印字例

部門 04	非	@0	1
部門 10	非	@0	
—	非	@0	2
PLU0065	非	0065	
		@0	3
PLU0066	非	@0	
		@0	4

- 1: 部門 4、部門 10
- 2: [] キー
- 3: PLU
- 4: 課税ステータス（非課税のシンボル）

すべての商品を外税扱いにする

すべての部門キー、[%]、[] キー、PLUを一括で「外税」に変更できます。



手順

操作

1 モードスイッチの位置を、「設定」にします。

2 **1 1 3 0 0** [小計] を押します。

1 1 3 0 0 [小計]

3 外税を設定します。

1 [現/預]

4 [小計] キーを押して、設定を終了します。

[小計]

ポイント 手順3で **0** [現/預] キーを押すと、すべての部門キー、[%]、[] キー、PLUを一括で「内税」に変更できます。

注意 税率はすべて「税1」が適用されます。税率については、次ページを参照してください。

すべての商品を非課税扱いにする（非課税レジスター）

すべての部門キー、[%]、[] キー、PLUを個別に「外税」や「内税」に設定していても、「非課税レジスター」を設定するとすべて「非課税」として処理します。



手順

操作

1 モードスイッチの位置を、「設定」にします。

2 **3**、[小計] キーを押して、**9** を4回押します。

3 [小計] **9 9 9 9**

3 [小計] キーを押して、設定を終了します。

[小計]

ポイント ・「非課税レジスター」に設定されているときは、キーに個別設定をしても非課税として処理されます。非課税以外で使用するときは、「非課税レジスター」を解除してください。
・手順2で **3** [小計] **8 8 8 8** [小計] キーを押すと、「非課税レジスター」は解除されて元の設定が有効になります。

消費税率を変更する

ご購入時は、税率：8%、課税方式：内税に設定されています。

将来の複数税率に対応するため、「税1」と「税2」の2種類の税率が設定可能です。通常設定では「税1」のみを使用します。複数税率については、「複数税率への対応」(74ページ)を参照してください。

現在の税率を確認する

「キー機能・レジスター機能項目の設定点検」(110ページ)を参照してください。

すぐに税率を変更する



手順

操作

- 1 モードスイッチの位置を、「設定」にします。
- 2 **11200** 小計 を押します。
- 3 「税1」の税率(A)を入力して、**現/預** キーを押します。
(Aを入力せずに **現/預** キーだけを押しすと、既存の設定のままです。)
- 4 「税2」の税率(B)を入力して、**現/預** キーを押します。
(「税2」を変更しない場合は、そのまま **小計** キーを押してください。)

1 1 2 0 0 小計

A **現/預**

B **現/預**

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは

消費税率を変更する

税率改定の予約機能を設定する

税率改定当日に、自動で新しい税率に変更するよう事前に予約できます。この機能を使うと、設定日の午前0時以降モードスイッチをいったん OFF にすると、設定された税率に変更します。



手順

- 1 モードスイッチの位置を、「設定」にします。
- 2 **111100** 小計 を押します。
- 3 改定年月日を入力して、**現/預** キーを押します。
YY には西暦下2桁、MMには月 (01 ~ 12)、DD には日 (01 ~ 31) の、必ず各2桁・合わせて6桁の数字を入力してください。
(年月日を入力せずに **現/預** キーだけを押しすと、既存の設定のままです。)
- 4 「税1」の税率 (A) を入力して、**現/預** キーを押します。
(Aを入力せずに **現/預** キーだけを押しすと、既存の設定のままです。)
- 5 「税2」の税率 (B) を入力して、**現/預** キーを押します。
(「税2」を変更しない場合は、そのまま **小計** キーを押してください。)

操作

1 1 1 1 0 0 小計

YYMMDD **現/預**

A **現/預**

B **現/預**

税率改定の予約機能を無効にする

税率改定の予約機能を解除するときの設定です。改定年月日に0を入力すると解除されます。



手順

- 1 モードスイッチの位置を、「設定」にします。
- 2 **111100** 小計 を押します。
- 3 改定年月日をクリア (**0**) して、**現/預** キーを押します。

操作

1 1 1 1 0 0 小計

0 **現/預**

複数税率への対応

「一般の消費税率」と「軽減税率 (食料品の税率を小さくするなど)」2種類の税率が併用されることを、「複数税率」と呼びます。本機では複数税率に対応するため、「税1」と「税2」の2種類の税率を設定できます。(通常の設定では「税1」のみ使用します。)

「税1」の外税ははじめに **出金/軽減** キー、内税は **入金** キーを押したあと、該当する部門、キー、PLUを設定します。
「税2」の外税ははじめに **券** キー、内税は **訂正中止** キーを押したあと、該当する部門、キー、PLUを設定します。

設定の詳細は、「課税方式の設定」(71 ページ) を参照してください。

消費税率を変更する

税額の1円未満の端数処理を設定する

消費税額の1円未満の端数処理を、「四捨五入」「切捨て」「切上げ」の何れかに設定します。



手順と操作

1 モードスイッチの位置を「設定」にして、下記を設定します。



A 税1 / 内税の端数処理

円未満四捨五入	0
円未満切り捨て	1
円未満切り上げ	2

B 税1 / 外税の端数処理

円未満四捨五入	0
円未満切り捨て	1
円未満切り上げ	2

C 税2 / 内税の端数処理

円未満四捨五入	0
円未満切り捨て	1
円未満切り上げ	2

D 税2 / 外税の端数処理

円未満四捨五入	0
円未満切り捨て	1
円未満切り上げ	2

が、ご購入時の設定です。

将来の複数税率に対応するため、「税1」と「税2」の2種類の税率が設定可能です。通常設定では「税1」のみを使用します。複数税率については、「複数税率への対応」(74ページ)を参照してください。

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは

消費税の設定

課税対象額・税率・税シンボルの印字／非印字を設定する

レシートに印字する課税対象額、税率、税シンボルの印字／非印字を設定します。



手順

1 モードスイッチの位置を「設定」にして、下記を設定します。

	A	B	C	D		
3 小計 3 2 6 小計	0	4	1	0	現/預	小計
A 非課税合計の印字	↑	↑	↑	↑	D 税2のシンボル／非課税シンボルの印字	
印字する	0				0	税2の「外」シンボルを 印字する
印字しない	1				4	非課税の「非」シンボルを 印字しない
B 課税対象合計／税率の印字					1	印字する
課税対象合計を		税率を			5	印字しない
印字する		印字する	4		1	印字する
		印字しない	0		5	印字しない
印字しない		印字する	5		1	印字する
		印字しない	1		5	印字しない
C 税1のシンボル／税2のシンボルの印字						
税1の「内」シンボルを	税1の「外」シンボルを	税2の「内」シンボルを				
印字しない	印字する	印字する	1			
		印字しない	5			
	印字しない	印字する	3			
		印字しない	7			
印字する	印字する	印字する	0			
		印字しない	4			
	印字しない	印字する	2			
		印字しない	6			

が、ご購入時の設定です。

将来の複数税率に対応するため、「税1」と「税2」の2種類の税率が設定可能です。通常設定では「税1」のみを使用します。複数税率については、「複数税率への対応」(74ページ)を参照してください。

	部門 03	¥2,600	
	部門 04	¥3,000	
	小計	¥14,520	D 非課税シンボルの印字
	5%		
	%	-726	
課税対象合計の印字 B	内税対象計	¥10,944	
	内税	8.0% ¥811	B 税率の印字
非課税対象合計の印字 A	非課税合計	¥2,850	
	合計	¥13,794	
	お預り	¥15,000	
	お釣	¥1,206	

レート／まるめの設定

割引き率・値引き金額をそれぞれのキーに設定する

操作例

〔%〕、〔-〕キーに、下記の割引き率と値引き金をそれぞれ設定します。

設定キー	設定内容
〔%〕キー	割引き率 5 %
〔-〕キー	値引き金額 ¥500

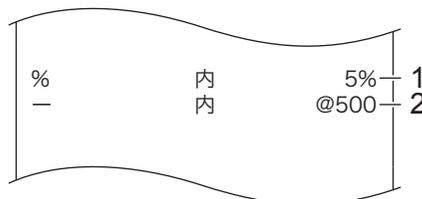


手順	操作	印字例
----	----	-----

1 モードスイッチの位置を、「設定」にします。

2 〔%〕キー、〔-〕キーを設定します。 **5** 〔%〕
500 〔-〕

3 〔小計〕キーを押して、設定を終了します。 〔小計〕



1: 割引き率
2: 値引き金額

ポイント 割引き率や値引き金額を設定した操作例は、「商品ごとに割引をする」(38 ページ)、〔-〕キーで値引きをする」(39 ページ)を参照してください。

10 円丸め・5 円丸めを設定する

合計金額の 10 円や 5 円未満を切り捨てて、お客様に請求しません。

操作例

10 円丸めを設定します。

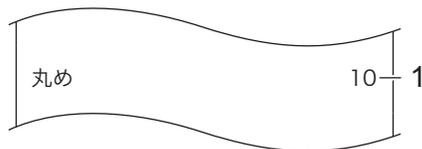


手順	操作	印字例
----	----	-----

1 モードスイッチの位置を、「設定」にします。

2 10 円丸めを設定します。 **10**

3 〔小計〕キーを押して、設定を終了します。 〔小計〕



1: 丸め金額

ポイント ・手順 2 で **5** と キーを押すと、5 円丸めに設定します。
・手順 2 で **0** と キーを押すと、丸めをしません。
・ご購入時の設定は、丸めをしない (0) です。

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは

商品名やメッセージの設定

本機は、数字や記号だけでなく、漢字やカナを含む文字をきれいな活字（JIS 第一・第二水準の文字）で印字・表示できます。

あらかじめ部門キーや PLU に個々の商品名を設定して、レシートの印字や本体表示窓の内容をわかりやすくしたり、お店からお客様へ向けたメッセージをレシートに印字できます。必要に応じて設定してください。

設定できる項目と入力方法

文字を設定（変更）ができる項目は、以下のとおりです。

文字を設定できる項目	文字入力方法		設定した文字が使われる対象				別途設定
	①リストから選択する	②1文字ずつ入力する	レシート	領収書	本体表示窓	点検／精算レポート	
部門・PLU の名称	「商品名リスト」から選択（79 ページ）	入力可（86 ページ）	○	-	○	○	-
レシート関連							
ロゴ・メッセージ	「メッセージリスト」から選択（82 ページ）	入力可（89 ページ）	○	-	-	○	必要 ※1
コマースナル・メッセージ			○	-	-	-	必要 ※1
ボトム・メッセージ			○	-	-	-	必要 ※1
予約券タイトル 予約券メッセージ 1 / 2			○	-	-	-	-
クーポン券メッセージ			○	-	-	-	必要 ※2
担当者名	-	入力可（91 ページ）	○	-	○	○	必要 ※3
キー名称	-	入力可（92 ページ）	○	-	-	○	-
用語の表記	-	入力可（95 ページ）	○	-	-	○	-

文字入力の方法

文字の入力には2つの方法があります。

- ① レジに組み込まれている「商品名リスト」「メッセージリスト」から、使用する文字を選択してコードを指定します。
- ② 1文字ずつ入力して、かな・カナ・漢字・英字・記号に変換します。（携帯電話の文字入力に似た操作です。）

※ ①で選択した文字列を、②の方法で一部を書き換えることもできます。

別途設定

「別途設定」が必要な項目は、文字設定後に下記を設定してください。

※1 設定した文字を、印字する設定をしてください。（105 ページ）

※2 クーポン券のポイント率を設定をしてください。（107 ページ）

※3 担当者機能を、有効にする設定をしてください。（102 ページ）

商品名やメッセージの設定

「商品名リスト」から商品名を選択して部門キーに設定する

「商品名リスト」は次ページを参照してください。

操作例

部門 01  に「初診料」、部門 06   に「指導料」を設定します。



手順

操作

1 モードスイッチの位置を「設定」にして、下記を設定します。

2 、 キーを押します。

3 「初診料」のコード「001」を部門 1 に設定します。

4 「指導料」のコード「003」を部門 6 に設定します。
(部門シフトはコードの前に入力します。)

5  キーを押して、設定を終了します。



商品名を商品名リストから選択して PLU を設定する

操作例

PLU 番号 71 に「検査料」、PLU 番号 72 に「その他」、PLU 番号 90 に「リハビリ」を設定します。



手順

操作

1 モードスイッチの位置を「設定」にして、下記を設定します。

2 、 キーを押します。

3 PLU71 を指定します。

4 、コード、 の順に入力します。
(「検査料」のコードは「008」)

5 続いて次の PLU を設定します。



6 、コード、 の順に入力します。
(「その他」のコードは「010」)

7 PLU90 を指定します。

8 、コード、 の順に入力します。
(「リハビリ」のコードは「012」)

9  キーを押して、設定を終了します。



ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは

商品名やメッセージの設定

商品名リスト

業種	医院／歯科医院
商品名	コード
初診料	001
再診・往診等	002
指導料	003
投薬料	004
注射料	005
処置料	006
手術・麻酔料	007
検査料	008
画像診断料	009
その他	010
かかりつけ	011
リハビリ	012
加算	013
在宅医療	014
食事療法	015
精神科専門	016
特定入院	017
入院基本料	018
保険給付外	019
保険給付内	020
放射線治療	021
薬剤負担金	022
輸血	023
業種	薬局／薬店
商品名	コード
アレルギー薬	024
かぜ薬	025
ケア用品	026
コンタクトケア用品	027
サプリメント	028
せき止め	029
ドリンク剤	030
歯ブラシ	031
ヘアケア用品	032
ベビー用品	033
胃腸薬	034
医薬品	035
医療用品	036
栄養剤	037
衛生用品	038
化粧品	039
介護用品	040
解熱鎮痛剤	041
外傷薬	042
外用薬	043
漢方薬	044
関節・筋肉痛	045
健康器具	046
健康食品	047
殺虫剤	048
湿布薬	049
小児用薬	050
酔い止め	051
整腸剤	052
生薬	053
虫さされ	054
内服薬	055

皮膚治療薬	056
鼻炎薬	057
婦人薬	058
防虫剤	059
目薬	060
薬剤	061
業種	喫茶／軽食
商品名	コード
アイスクリーム	062
アルコール	063
一品料理	064
ウィスキー	065
お酒	066
お食事	067
おつまみ	068
お通し	069
お飲み物	070
お持ち帰り	071
カクテル	072
喫茶	073
ケーキ	074
コーヒー	075
サワー	076
ジュース	077
セット	078
セットメニュー	079
ソフトクリーム	080
ソフトドリンク	081
テイクアウト	082
定食	083
ディナー	084
デザート	085
トースト	086
トッピング	087
ドリンク	088
生ビール	089
日本酒	090
ノンアルコール	091
発泡酒	092
ビール	093
フード	094
ブランデー	095
モーニング	096
洋食セット	097
ランチ	098
ワイン	099
和食セット	100
業種	食料品
商品名	コード
アイス	101
インスタント食品	102
飲料	103
お米	104
お惣菜	105
おにぎり	106
加工食品	107
菓子	108
菓子パン	109
果物	110

香辛料	111
サンドイッチ	112
嗜好品	113
ジュース類	114
食パン	115
食料品	116
寿司	117
スナック菓子	118
生鮮	119
精肉	120
鮮魚	121
その他	122
中華	123
調味料	124
調理パン	125
乳製品	126
パン	127
ファーストフード	128
ベーカリー	129
弁当類	130
麺類	131
野菜	132
洋菓子	133
冷凍食品	134
レトルト食品	135
和菓子	136
業種	服飾
商品名	コード
アクセサリー	137
衣料品	138
衣類	139
傘	140
靴	141
子供服	142
紳士服	143
装飾品	144
履物	145
バッグ	146
婦人服	147
ベビー服	148
帽子	149
業種	雑貨
商品名	コード
アクセサリー	150
小物	151
雑貨	152
生花	153
箱代	154
輸入雑貨	155
業種	家電
商品名	コード
オプション	156
家電製品	157
携帯電話	158
サブライ	159
情報機器	160
消耗品	161
設定料	162
テープ	163

商品名やメッセージの設定

電球・蛍光灯	164
電池	165
電池交換	166
配線	167
別売品	168
メディア	169
業種	書籍／文具／AV
商品名	コード
CD	170
DVD	171
アルバム	172
ゲーム	173
コミック	174
雑誌	175
参考書	176
事務用品	177
趣味・娯楽	178
書籍	179
新書	180
新聞	181
専門誌	182
図書カード	183
ビデオ	184
文具	185
文芸	186
文庫	187
業種	その他／物品販売
商品名	コード
DIY用品	188
アウトドア用品	189
園芸	190
園芸用品	191
カー用品	192
家具	193
楽器	194
家庭用品	195
金物	196
玩具	197
キッチン用品	198
ギフト券	199
キャラクター商品	200
工具	201
コンタクト	202
梱包用品	203
作業用品	204
写真	205
種苗	206
寝具	207
スポーツ用品	208
タバコ	209
釣り用品	210
デコレーション	211
時計	212
塗料	213
日用品	214
農業用品	215
農薬	216
バラエティ	217
肥料	218
物品販売	219
部品	220

ペット	221
ペット用品	222
防災用品	223
メガネ	224
木材	225
輸入家具	226
ラッピング代	227
旅行用品	228
レンタル用品	229
業種	理容／美容
商品名	コード
カット	230
カラー	231
着付	232
シャンプー	233
スキンケア	234
セット	235
トリートメント	236
トリミング	237
パーマ	238
フェイス	239
ブロー	240
ヘアカラー	241
ベビー	242
ボディ	243
メイク	244
業種	その他
商品名	コード
DPE	245
一式	246
一般	247
印刷	248
延長	249
大人	250
お直し	251
カード	252
技術料	253
キャンセル料	254
クーポン	255
クリーニング	256
現像料	257
限定品	258
工事	259
工賃	260
サービス料	261
材料費	262
修理	263
受講料	264
小人	265
商品券	266
処分料	267
進物	268
セール	269
設置料	270
送料	271
中古品	272
中人	273
注文品	274
調整料	275
デジカメプリント	276
手数料	277

手付金	278
電話代	279
登録料	280
特注品	281
塗装	282
特価品	283
取付料	284
入園料	285
入場料	286
引取料	287
フィルム	288
プリペイドカード	289
容器代	290
リサイクル費用	291
レンタル料	292
割増	293
焼き増し	294
前金	295
土産品	296
利用料	297
その他	298
業種	初期設定*
商品名	コード
PLU	299
部門	300

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは

商品名やメッセージの設定

その他の種別コード一覧表

メッセージの内容と印字場所	種別コード	ご購入時の設定
予約券タイトル	1732	***ご予約券***
予約券メッセージ1 1行目	1832	様
予約券メッセージ1 2行目	1932	下記のとおり、
予約券メッセージ1 3行目	2032	ご予約を承りました。
予約券メッセージ1 4行目	2132	
予約券メッセージ2 1行目	2232	
予約券メッセージ2 2行目	2332	
予約券メッセージ2 3行目	2432	
予約券メッセージ2 4行目	2532	

クーポン券メッセージ 1行目	2632	◇印刷面を内側に折って◇
クーポン券メッセージ 2行目	2732	◇保管してください ◇
クーポン券メッセージ 3行目	2832	
クーポン券メッセージ 4行目	2932	
クーポン券メッセージ 5行目	3032	
クーポン券メッセージ 6行目	3132	

メッセージリスト

メッセージの内容	コード
またのお越しを	001
またのご来店を	002
またのご利用を	003
お待ちしております	004
お買い上げいただき	005
ご来店いただき	006
毎度ご来店いただき	007
ありがとうございました	008
毎度ありがとうございます	009
有難うございます	010
お買い上げの商品価格には	011
消費税等を含みます	012
レシートは税込み価格で	013
表示しております	014
レシートの再発行はできません	015
レシートの再発行は	016
致しかねます	017
レシートは大切に保管ください	018
印刷面を内側に折って	019
レシートは大切に	020
保管して下さい	021
開封後の返品・交換は	022
お受けできません	023
返品はレシートを添えて	024
お持ちください	025
返品・交換はできません	026
受付時間のご案内	027
営業時間のご案内	028
診療時間のご案内	029
今月は休まず営業します	030

メッセージの内容	コード
年中無休	031
ポイントは次回のお買い物に	032
ご使用ください	033
キャンペーン実施中!	034
クリアランスセール実施中!	035
決算セール実施中!	036
ご紹介キャンペーン実施中!	037
サービスデー実施中!	038
バーゲンセール実施中!	039
カード会員募集中!	040
新規会員募集中!	041
メール会員募集中!	042
お早めにお召し上がり下さい	043
各種宴会ご予約承ります	044
完全予約制	045
着付けご予約承ります	046
記念写真ご予約受付中	047
ケーキ予約受付中	048
ご予約承ります	049
配達承ります	050
お問い合わせはサービスカウンターまで	051
定期点検を忘れずに	052
お大事にどうぞ	053
どうぞお大事に	054
月初めは保険証を	055
ご呈示下さい	056
お薬は用法用量を	057
守ってご使用ください	058
携帯電話からアクセスできます	059
(空白)	060

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは

商品名やメッセージの設定

1 文字ずつ入力して漢字変換する

ここでは、1文字ずつ入力し、かな・カナ・漢字・英字・記号に変換して設定する方法を説明します。

文字入力の方法

携帯電話の文字入力に似た、「かなめくり方式」で入力します。入力した文字の種類（ひらがな・カタカナ・英文字・数字）などを<切替>キーで切り替え、50音などに基づいた文字を置数キーで入力します。

ひらがなで入力した文字は、続けて<↑>キー、<変換>キーを押して、単漢字または単語ごとのかな漢字変換ができます。（内蔵のかな漢字変換辞書の登録語数に制限があるため、ご希望の漢字変換ができない場合があります。その場合は、変換したい漢字の読み（音読み／訓読み）を変えて入力し、変換してください。）

文字設定時のキーボード

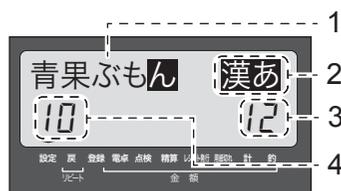
文字設定時のキーボードは、以下の配列です。



キーの機能は、各キーの側面手前側に刻印されています。各キーの機能については、次ページを参照してください。

文字設定時の本体表示窓

文字設定時の本体表示窓は、以下の内容です。



- 1: 入力中または操作中の文字（反転表示）
- 2: 文字入力モードを表示：漢あ かかか ABab 1234 など
- 3: 設定可能な文字の総数（半角文字換算）を表示
- 4: 既に入力されている文字数（半角文字換算）を表示
「青果ぶもん」は全角で5文字ですが、半角文字換算では10文字です。

商品名やメッセージの設定

商品名や分類名を部門キーに設定する

操作例

部門 01  に「雑貨」、部門 02  に「食品 A」、部門 06   に「ETC」を設定します。



手順

操作

- 1 モードスイッチの位置を、「設定」にします。
- 2 、 キーを押します。
- 3 部門 01 を指定し、設定されている商品名を消します。
- 4 部門 01 に「雑貨」を登録します。
 - < さ > x1 回 「さ」
 - < ° ° > x1 回 「ざ」
 - < た > x6 回 「っ」
 - < か > x1 回 「か」
 - < ↓変換 > (「雑貨」が出るまで繰り返します)
 - < 変換確定 > (文字列を確定します)
(これで「雑貨」が部門 01 に設定されます)
- 5 引き続き部門 02 を指定し ※1、設定されている商品名を消します。
- 6 部門 02 に「食品 A」を登録します。
 - < さ > x2 回 「し」
 - < や > x6 回 「よ」
 - < か > x3 回 「く」
 - < は > x2 回 「ひ」
 - < わ > x3 回 「ん」
 - < ↓変換 > (「食品」が出るまで繰り返します)
 - < 変換確定 > (文字列を確定します)
 - < 切替 > x2 回 (半角英字にします)
 - < 倍文字 > x1 回 (全角英字にします)
 - < か > x1 回 「A」
(これで「食品 A」が部門 02 に設定されます)
- 7 部門 06 を指定し ※2、設定されている商品名を消します。



商品名やメッセージの設定

手順

操作

8 部門 06 に「ETC」を登録します（全角英字のまま使います）。

< さ > ×2 回 「E」

< や > ×1 回 「T」

< か > ×3 回 「C」

（これで「ETC」が部門 06 に設定されます）

9 ×2 回

2

8 ×3 回

現/預

小計

9 小計 キーを押して、設定を終了します。



・部門キーへ設定できる名称の文字数は、半角 12 文字または全角 6 文字です。

※1 連続した部門の設定をする場合は、現/預 キーを押すと次の部門に移動します。小計 キーを押すと設定を終了します。

※2 連続していない部門の設定をする場合は、設定する部門キーを押して指定します。小計 キーを押すと設定を終了します。

入力途中で文字を訂正する

操作例

部門 03 x 8 に「乾物」を設定途中でまちがった文字を訂正します。



手順

操作

1 モードスイッチの位置を、「設定」にします。

2 **2**、小計 キーを押します。

3 部門 03 を指定し、設定されている商品名を消します。

4 部門 03 に「乾物」を登録します。

< か > ×1 回 「か」

< わ > ×3 回 「ん」

< ま > ×5 回 「も」

< な > ×5 回 「の」

< 1 文字クリア > ×2 回（直前の「の」と「も」を消します）

< は > ×3 回 「ふ」

< ` ° > ×1 回 「ぶ」

< た > ×3 回 「つ」

< ↓変換 > （「乾物」が出るまで繰り返します）

< 変換確定 > （文字列を確定します）

（これで「乾物」が部門 03 に設定されます）

5 小計 キーを押して、設定を終了します。

2 小計

+ 6 1 C/AC C

8

00 ×3 回

1 ×5 回

5 ×5 回

x 8 3 ×2 回

6 ×3 回

•

4 ×3 回

信

—

現/預

小計

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは

商品名やメッセージの設定

商品名や分類名を PLU に設定する

操作例

PLU 番号 71 に半角で「カー Y シャツ」、PLU 番号 72 に「ジーンズ」、PLU 番号 90 に「サービス品」と設定します。



手順

操作

1 モードスイッチの位置を、「設定」にします。

2 **2**、**小計** キーを押します。

3 PLU71 を指定し、設定されている商品名を消します。

4 PLU71 に「カラー Y シャツ」(半角) を登録します。

<切替> x1 回 (半角カタカナにします)

<か> x1 回 「カ」

<ら> x1 回 「ラ」

<記号> x3 回 「-」

<切替> x1 回 (半角英字にします)

<ら> x3 回 「Y」

<切替> x3 回 (半角カタカナにします)

<さ> x2 回 「シ」

<や> x4 回 「ヤ」

<た> x3 回 「ツ」

(これで「カー Y シャツ」が PLU71 に設定されます)

5 PLU72 を指定し ※1、設定されている商品名を消します。

6 PLU72 に「ジーンズ」(全角) を登録します。

<倍文字> x1 回 (全角カタカナにします)

<さ> x2 回 「シ」

< ` ° > x1 回 「ジ」

<記号> x3 回 「-」

<わ> x3 回 「ン」

<さ> x3 回 「ス」

< ` ° > x1 回 「ズ」

(これで「ジーンズ」が PLU72 に設定されます)

7 PLU90 を指定し ※2、設定されている商品名を消します。



商品名やメッセージの設定

手順

操作

8 PLU90に「サービス品」(全角)を登録します。

<さ> ×1回「サ」

<記号> ×3回「一」

<は> ×2回「ヒ」

<ゝ・°> ×1回「ピ」

<さ> ×3回「ス」

<切替> ×3回(全角ひらがなにします)

<は> ×2回「ひ」

<わ> ×3回「ん」

<↓変換> (「品」が出るまで繰り返します)

<変換確定> (文字列を確定します)

(これで「サービス品」がPLU90に設定されます)

9

0 ×3回

6 ×2回

・

9 ×3回

$\frac{10}{5}$ ×3回

6 ×2回

00 ×3回

信

—

現/預

小計

9 小計 キーを押して、設定を終了します。



・ PLUへ設定できる名称の文字数は、半角12文字または全角6文字です。

※1 連続したPLUの設定をする場合は、現/預キーを押すと次のPLUに移動します。小計キーを押すと設定を終了します。

※2 連続していないPLUの設定をする場合は、PLU番号に続けてPLUキーを押して指定します。小計キーを押すと設定を終了します。

レシートメッセージを設定する

操作例

ロゴメッセージに、下記を設定します。

毎度ありがとうございます
カシオ商店



手順

操作

1 モードスイッチの位置を、「設定」にします。

2 **2**、小計キーを押します。

3 ロゴメッセージ1行目を指定し、設定されている文字を消します。
「種別コード」は、82ページを参照してください。

2 小計

1 3 2 小計 C/AC C

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは

商品名やメッセージの設定

手順

操作

4 1行目にロゴメッセージを入力します。

<ま>	×1回「ま」	
<あ>	×2回「い」	 ×2回
<た>	×5回「と」	 ×5回
<` ° >	×1回「ど」	
<↓変換>	(「毎度」が出るまで繰り返します)	
<変換確定>	(文字列を確定します)	
<あ>	×1回「あ」	
<ら>	×2回「り」	 ×2回
<か>	×1回「か」	
<` ° >	×1回「が」	
<た>	×5回「と」	 ×5回
<あ>	×3回「う」	 ×3回
<か>	×5回「こ」	 ×5回
<` ° >	×1回「ご」	
<さ>	×1回「さ」	
<` ° >	×1回「ざ」	
<あ>	×2回「い」	 ×2回
<ま>	×1回「ま」	
<さ>	×3回「す」	 ×3回
	(これで1行目が確定されます)	

5 2行目を指定し ※1、設定されている商品名を消します。

6 2行目のメッセージを入力します。<倍文字>×1回 (全角カタカナにします)

<切替>	×1回 (半角カタカナにします)	
<倍文字>	×2回 (全角横倍カタカナにします)	 ×2回
<→>	×2回 (文字を行の中心へ寄せるため、入力開始位置を半角2文字分右へ移動します)	 ×2回

商品名やメッセージの設定

手順	操作
<か> ×1回「カ」	8
<さ> ×2回「シ」	9 ×2回
<あ> ×5回「オ」	7 ×5回
<切替> ×3回（全角ひらがなにします）	10 / 5 ×3回
<倍文字> ×1回（全角横倍ひらがなにします）	出金
<さ> ×2回「し」	9 ×2回
<や> ×6回「よ」	2 ×6回
<あ> ×3回「う」	7 ×3回
<た> ×4回「て」	4 ×4回
<わ> ×3回「ん」	00 ×3回
<↓変換> （「商店」が出るまで繰り返します）	信
<変換確定> （文字列を確定します）	—
	現/預
	小計

7 **小計** キーを押して、設定を終了します。

8 「御計算書」を印字する設定から、「設定した文字を印字する」設定に変更します。

3 **小計** **2** **1** **2** **2** **小計** **1** **0** **0** **0** **0** **0** **0** **0** **0** **0** **0** 現/預 **小計**

上記設定は、ロゴメッセージを設定した文字で印字する設定です。コマースメッセージ、ポトムメッセージを印字するときは、「レシートメッセージの内容を設定する」（105ページ）を参照して設定してください。

9 設定を終了します。

- ポイント** ※1 連続したメッセージ行の設定をする場合は、**現/預** キーを押すと次のメッセージ行に移動します。**小計** キーを押すと設定を終了します。
- ・設定したメッセージを、印字する設定をしてください。（105ページ）

レジ担当者の名前を設定する

操作例

担当者番号 01 の担当者名を「鈴木」に設定します。

手順

- 1 モードスイッチの位置を、「設定」にします。
- 2 **2**、**小計** キーを押します。
- 3 担当者番号 01 を指定し、設定されている文字を消します。

操作

2 **小計**
0 **1** 担当者/部門ソフト C/AC **C**



ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは

商品名やメッセージの設定

手順

4 担当部門番号 01 に「鈴木」を登録します。

< さ > ×3 回 「す」

< → > (同じ行なのでカーソルを右に動かします)

< さ > ×3 回 「す」

< ` ° > ×1 回 「ず」

< か > ×2 回 「き」

< ↓変換 > (「鈴木」が出るまで繰り返します)

< 変換確定 > (文字列を確定します)

(これで『鈴木』が担当者番号 01 に設定されます)

9 小計 キーを押して、設定を終了します。



ポイント 担当者名に設定できる名称の文字数は、半角 12 文字または全角 6 文字です。

操作

9 ×3 回

%

9 ×3 回

•

8 ×2 回

信

—

現/預

小計

取引キーの印字文字を設定する

操作例

信 キーの印字を「掛売り」に設定します。

手順

1 モードスイッチの位置を、「設定」にします。

2 2、小計 キーを押します。

3 信 キーを指定し、設定されている文字を消します。

4 信 キーに「掛売り」を登録します。

< か > ×1 回 「か」

< → > (同じ行なのでカーソルを右に動かします)

< か > ×4 回 「け」

< あ > ×3 回 「う」

< ら > ×2 回 「り」

< ↓変換 > (「掛売り」が出るまで繰り返します)

< 変換確定 > (文字列を確定します)

(これで「掛売り」が信用売りキーに設定されます)

5 小計 キーを押して、設定を終了します。



ポイント 取引キーに設定できる名称の文字数は、半角 8 文字または全角 4 文字です。



操作

2 小計

信 C/AC C

8

%

8 ×4 回

7 ×3 回

3 ×2 回

信

—

現/預

小計

商品名やメッセージの設定

レシートの時刻印字・背景印字を設定する

レシートに、時刻と背景“Thank you”を印字します。

手順

1 モードスイッチの位置を、「設定」にして、下記を設定します。



A レシートに時刻を

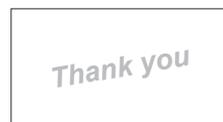
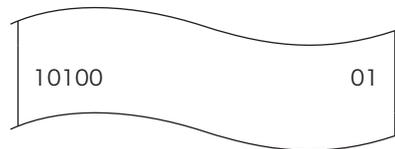
印字する	0
印字しない	1

B レシートに背景を

印字しない	0
印字する	1

が、ご購入時の設定です。

印字例



背景印字例

設定



ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは

商品名やメッセージの設定

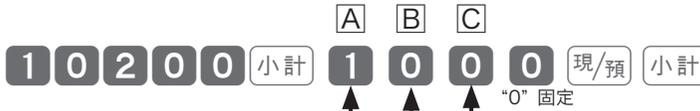
領収書の印字内容を設定する

領収書に、タイトルや地模様を背景として印字します。



手順

1 モードスイッチの位置を、「設定」にして、下記を設定します。



A 但し書きの内容

印字しない	0
お品代	1
お食事代	2
ご飲食代	3
手数料	4
印紙代	5
証紙代	6
お薬代	7
治療費	8
書籍代	9

B タイトルの印字を

領収書とする	0	0	印刷しない
領収証とする	1	1	印刷する

C 領収書に背景を

が、ご購入時の設定です。

領収書印字例

2014年07月31日

一連 No000027
領収 No000006

領 収 書

様

¥5,000-

(但し として
正に領収いたしました)

カシオ商店 渋谷区本町 1-6-2
電話 1234-5678
印刷面を内側に折って保管願います

その他の項目については「内容変更できる主な印字項目」(100ページ)を参照してください。



領収書に、店名ロゴ・住所などを印字するには「電子店名スタンプ」のご購入が必要です。同梱の「電子店名スタンプ注文書」をご覧ください。本機には、領収書の店名ロゴ部分に店名や住所を文字入力する設定はありません。

商品名やメッセージの設定

文字設定できるその他の項目

本機では、品名、メッセージ、部門／取引キー名称、担当者名のほか、

- ・ 固定合計器レポート上の項目（総売、純売など）
- ・ 日計明細や時間帯などのレポートタイトル
- ・ 特殊キャラクタ（¥マーク、小計／預かり印字など）

の印字・表示の変更できます。設定手順は、前述のメッセージの設定方法（82 ページ参照）と同じです。「種別コード」を下記の表から選択して設定してください。

※ 項目の設定をまちがえると、レシートやレポートの意味が変わったり、意味を持たなくなる可能性があります。十分に注意して変更してください。

固定合計器、レポートタイトル、特殊キャラクタの設定内容と「種別コード」は以下の通りです。

固定合計器「種別コード」一覧表

固定合計器の項目	コード	ご購入時の設定	固定合計器の項目	コード	ご購入時の設定
総売上合計	101	総売	消費税額（内税2）	1601	内税 ※
純売上合計	201	純売	消費税対象額（外税2）	1701	外税対象 ※
現金在高	301	現金在高	消費税額（外税2）	1801	消費税等 ※
（未使用）	401		消費税合計額	1901	消費税合計
商品券在高	501	券在高	非課税対象額	2001	非課税合計
クレジット在高	601	信在高	万券枚数	2101	万円
（未使用）	701		丸め合計	2201	サービス
（未使用）	801		取引中止合計	2301	取引中止
（未使用）	901		戻モード合計	2401	戻モード
（未使用）	1001		（未使用）	2501	
消費税対象額（内税1）	1101	内税対象計	電卓モード<=>回数	2601	電卓
消費税額（内税1）	1201	内税	部門リンクなしのPLU合計	2701	ノンリンク
消費税対象額（外税1）	1301	外税対象	印紙貼付の領収書枚数	2801	領収書 印紙
消費税額（外税1）	1401	消費税等	印紙貼付なし領収書枚数	2901	領収書
消費税対象額（内税2）	1501	内税対象計 ※			

レポートタイトル「種別コード」一覧表

レポートタイトル	コード	ご購入時の設定	レポートタイトル	コード	ご購入時の設定
日計明細集計	124	日計明細	月間集計	724	月間日別
PLU集計	224	PLU	期間集計1	824	期間集計1
時間帯集計	324	時間帯	期間集計2	924	期間集計2
グループ集計	424	グループ	個別点検（アイテム）	1024	
（未使用）	524	担当者	（未使用）	1124	
在売点検	624	在売点検	電子ジャーナル	1224	電子ジャーナル

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは

商品名やメッセージの設定

特殊キャラクタ「種別コード」一覧表

特殊キャラクタ	ご購入時の設定				コード		
金額 (2) 単価 (2) 件数 (2) レポート個数 (2) 各シンボル	¥	@	件	点	123		
買上点数 (2) 未使用 (2) 万円枚数 (2) 未使用 (2)	点	名	枚		223		
乗算個数 (2) 未使用 (6)	点	/			323		
税1内税/外税/税2内税/外税 (各2)	内	外	※	※	423		
オール課税ステータス (2) 非課税ステータス (2)	*	非			523		
(未使用)					623		
モード表示/印字、登録、戻 (各4)			戻		723		
モード表示/印字、未使用 (4)、設定 (4)			P	G	M		
モード表示/印字、点検、精算 (各4)	点	検	精	算	923		
モード表示/印字、電卓 (4)、未使用 (4)	電	卓			1023		
(未使用)					1123		
(未使用)					1223		
預かり時小計印字 (8)	合		計		1323		
預かり時釣り銭印字 (8)	お		釣		1423		
現金預かり印字 (8)	お	預	り		1523		
後レシートでの合計金額印字 (8)	合	計			1623		
小計割引 (割増) や、丸め前の小計印字 (8)	小	計			1723		
12時制での時刻印字 (各3)	A	M	P	M	1823		
消費税合計 (8)	消	費	税	計	1923		
PCへのデータ送信メッセージ (8)	*	*	送	信	* *		
PCからのデータ受信メッセージ (8)	*	*	受	信	* *		
AUTO PGM 通信メッセージ (8)	A	U	T	O	P	G	M
送受信正常終了メッセージ (8)	正	常	終	了	2323		
送受信異常終了メッセージ (8)	異	常	終	了	2423		
強制終了メッセージ (8)	*	*	終	了	* *		
レポート合計印字 (8)	合	計			2623		
(未使用)					2723		
(未使用)					2823		
(未使用)					2923		
純売税込み用 (8)		税	込		3023		
純売税抜き用 (8)		税	抜		3123		
点検通信 (8)	点	検			3223		
精算通信 (8)	精	算			3323		
予約券発行時表示メッセージ (8)	ご	予	約	券	3423		
クーポン券ポイント印字 (8)	ポ	イ	ン	ト	3523		

各キーの設定

各キーには、いろいろな機能を設定できます。



手順と操作

1 モードスイッチの位置を「設定」にして、下記を設定します。

3 小計

A

00

B

0

C

1

D

00

現/預 小計

券

信

設定するキーを押します

A 小計/預かり金の金額制限

制限しない	00
制限金額を入力 例：200,000円 「2」と0が「5」と入力します	例： 25

B 置数強制

置数の強制を	置数に入力を	一部入金を	
強制しない	許可	許可 ※2	0
		禁止	1
	禁止	許可 ※2	2
強制する ※1	許可	許可 ※2	3
		禁止	4
	許可	禁止	5

C 消費税の明細を

印字する	1
印字しない	0

D 釣り銭の金額制限

制限しない	00
制限金額を入力 例：5,000円 「5」と0が「3」と入力します	例： 53

が、ご購入時の設定です。

※1 誤操作防止を目的とするものです。レジ打ちの際、金額を入力（置数）する前にキーを押すとレジは操作を受け付けません。必ず置数してからキーを押してください。

※2 一部入金を「許可」は、小計した金額よりも少ない金額の置数を許可します。

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは

各キーの設定

入金 出金/電子ジャーナル キー



手順と操作

1 モードスイッチの位置を「設定」にして、下記を設定します。



"0000" 固定

■入金/出金の金額制限

制限しない	00
例：40,000 円の場合 「4」と、0が4個と入力します	44

入金

小計

出金/
電子ジャーナル

いずれかのキーを
押してください

が、ご購入時の設定です。

万円 キー



手順と操作

1 モードスイッチの位置を「設定」にして、下記を設定します。



"000" 固定

■キー用途

「万円」として使用	0
「千円」として使用	1

が、ご購入時の設定です。

#/替 キー



手順と操作

1 モードスイッチの位置を「設定」にして、下記を設定します。



"00000" 固定

■取引中ではないときに番号印字をすると

印字前の状態と変わらない	0
強制的に取引中の状態に移行する ^{※1}	1

が、ご購入時の設定です。

※1 通常の取引状態となり、**現/預** キーなどを使った「締め」の操作が必要です。

各キーの設定

キー

設定

手順と操作

1 モードスイッチの位置を「設定」にして、下記を設定します。

A 値引き操作で小計が負になることを

禁止	0
許可	1

B 入力最大桁数

桁数制限をしない	0 または 7
登録可能な桁数を選択	1 ~ 6
置数入力を禁止する	8 または 9

C 課税方式の設定

0	税 1 内税
1	税 1 外税
2	税 2 内税
3	税 2 外税
5	内税、外税、非課税 (混在して使用しているときに選択)
6	非課税

が、ご購入時の設定です。

% キー

設定

手順と操作

1 モードスイッチの位置を「設定」にして、下記を設定します。

A %計算による端数処理

円未満四捨五入	0
円未満切り捨て	1
円未満切り上げ	2

B キー用途/置数でのレート入力

キーの用途 (動作)	置数でのレート入力	
割引き	可能	0
	不可	2
割増し	可能	1
	不可	3

C 課税方式の設定

0	税 1 内税
1	税 1 外税
2	税 2 内税
3	税 2 外税
5	内税、外税、非課税 (混在して使用しているときに選択)
6	非課税

が、ご購入時の設定です。

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは

その他の設定

内容変更できる主な印字項目

レシート印字例

御計算書

2014-07-31 09:25

担当 -01 0001-000008

部門 02	¥5,780
部門 01	¥360
部門 01	¥360
部門 01	¥360
10点 @128	
部門 04	¥1,280
PLU0027	¥880
-	-100
部門 03	¥2,600
部門 04	非 ¥3,000
小計	¥14,520
5%	
%	-726
内税対象計	¥10,944
内税 8.0%	¥811
非課税合計	¥2,850
合計	¥13,794
お預り	¥15,000
お釣	¥1,206

17点

- 1 店名ロゴ部分 (ご購入時: 御計算書を印字する)
 - ・ご購入時には「御計算書」が印字されます。
 - ・店名、住所などを印字するには2通りの方法があります。
 - ①「電子店名スタンプ」のご注文・作成
詳細は、同梱の「電子店名スタンプ注文書」をご覧ください。
 - ②任意に設定した文字を印字 (6行分)
「レシートメッセージ内容を設定する」(105 ページ)
「レシートメッセージを設定する」(89 ページ)
- 2 レジ番号 (ご購入時: 印字しない)
「マシン番号を設定する」(106 ページ)
- 3 一連番号 (ご購入時: 印字する・精算で0001に戻る)
「強制機能や演算方式を設定する」(102 ページ)
- 4 担当者 (ご購入時: 使用しない、印字しない)
「担当者機能を使う」(49 ページ)
「強制機能や演算方式を設定する」(102 ページ)
「担当者番号を設定する」(107 ページ)
「レジ担当者の名前を設定する」(91 ページ)
- 5 部門単価 (ご購入時: なし)
「部門キーに商品単価を設定する」(63 ページ)
「部門キーの機能を設定する」(64 ページ)
- 6 部門名 (ご購入時: 部門01～部門10)
・部門名を設定するには2通りの方法があります。
 - ①「商品名リストから商品名を選択して部門キーに設定する」(79 ページ)
 - ②「商品名や分類名を部門キーに設定する」(86 ページ)
- 7 税シンボル (ご購入時: 内税 - 印字しない・外税 - 外・非課税 - 非)
「課税対象額・税率・税シンボルの印字/非印字を設定する」(76 ページ)
- 8 課税対象合計 (ご購入時: 印字する) 税率 (ご購入時: 印字する)
非課税対象合計 (ご購入時: 印字する)
「課税対象額・税率・税シンボルの印字/非印字を設定する」(76 ページ)
- 9 買い上げ点数 (ご購入時: 印字しない)
「レシート/ジャーナルの印字項目を設定する」(101 ページ)



電子店名スタンプ

電子店名スタンプをご注文いただくと、レシートと領収書に別々の店名ロゴと住所が印字できます。詳細は、同梱の「電子店名スタンプ注文書」をご覧ください。(左のイラストは印字イメージです)

領収書印字例

2014年07月31日

一連 No000025

領収 No000004

領 収 書

様

¥60,000

税抜金額 ¥55,556
消費税等 ¥4,444

(但し) として 正に領収いたしました)

収入印紙

カシオ商店 渋谷区本町 1-6-2
電話 1234-5678

印刷面を内側に折って保管願います

- 1 領収書のタイトル (ご購入時: 領収書)
「領収書の印字内容を設定する」(94 ページ)
- 2 但し書き (ご購入時: 印字なし)
「領収書の印字内容を設定する」(94 ページ)
- 3 印紙貼付け枠 (ご購入時: 印字する - 税抜金額50,000円以上)
「領収書の内容を設定する」(104 ページ)
- 4 レシート用の一連番号 (ご購入時: 印字する)
「領収書の内容を設定する」(104 ページ)
- 5 領収書用の一連番号 (ご購入時: 印字する・精算で0001に戻る)
「領収書の内容を設定する」(104 ページ)
- 6 税金項目 (ご購入時: 印字する)
金額入力で発行したときは印字されません (46 ページ)
「領収書の内容を設定する」(104 ページ)

その他の設定

レシート/ジャーナルの印字項目を設定する

レシートとジャーナルの切り替え、印字項目を設定します。

操作例

時間の表示を 12 時間制に設定します。
(ジャーナルスキップ「しない」、**小計** キーで印字「しない」)



手順と操作

1 モードスイッチの位置を「設定」にして、下記を設定します。

		A	B	C	D	E	F	G	H		
3	小計	5	2	2	小計	0	0	0	0	現/預	小計

A 預かり時に合計行の印字

印字する	0
印字しない	1

B 時刻/日付/一連番号の印字

レシート・ジャーナルに一連番号を	ジャーナルに日付を	レシート・ジャーナルに時刻を	
印字する	印字しない	印字する	0
	印字する	印字しない	1
印字しない	印字しない	印字する	2
	印字する	印字しない	3
印字する	印字しない	印字する	4
	印字する	印字しない	5
印字しない	印字する	印字する	6
	印字する	印字しない	7

C プリンタの用途/後レシートの発行方法/後レシートの印字

プリンタの用途を	後レシートの発行を	後レシートの印字	
レシート発行用で使用	レシート印刷/予約券で発行する	明細を印字	0
		合計だけを印字	4
	自動で発行する	明細を印字	2
		合計だけを印字	6
ジャーナル印字用で使用	レシート印刷/予約券で発行する	明細を印字	1
		合計だけを印字	5
	自動で発行する	明細を印字	3
		合計だけを印字	7

D 買い上げ点数の印字

印字しない	0
印字する	4

E ジャーナルスキップ/小計での印字/時刻の表示

時刻の表示	小計での印字を	ジャーナルスキップを		
24 時間制	印字しない	しない	0	0
		する	1	1
		しない	2	2
	印字する	する	3	3
		しない	4	4
		する	5	5
12 時間制	印字しない	しない	4	4
		する	5	5
		しない	6	6
	印字する	する	7	7
		しない	6	6
		する	7	7

H レシートの文字

0	普通文字
2	縦倍文字

G 税金の前の区切り/税金の合計額の印字

	税金の合計額	税金の前の区切りに
0	印字しない	破線を印字しない
1	印字する	破線を印字する
2	印字する	破線を印字しない
3	印字する	破線を印字する

F 金額桁区切り、小数点の記号/ジャーナルの文字

ジャーナルの印字	小数点の印字	金額桁を
普通文字	ピリオドで印字	カンマで印字
		ピリオドで印字
	カンマで印字	カンマで印字
		ピリオドで印字
圧縮文字	ピリオドで印字	カンマで印字
		ピリオドで印字
	カンマで印字	カンマで印字
		ピリオドで印字

が、ご購入時の設定です。

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは

その他の設定

強制機能や演算方式を設定する

強制機能や演算方式を設定します。

操作例

時刻表示を「時分と秒」に設定します。
(戻モードの件数「加算する」)



手順と操作

1 モードスイッチの位置を「設定」にして、下記を設定します。

	3	小計	6	2	2	小計	0	0	0	0	0	2	0	0	現/預	小計
--	---	----	---	---	---	----	---	---	---	---	---	---	---	---	-----	----

A 締め操作時の小計入力、点検／精算時の残高入力

点検／精算時の残高入力を	締め操作時の <small>小計</small> 入力を	
強制しない	強制しない	0
	強制する	2
強制する	強制しない	4
	強制する	6

B 乗算の入力順

個数 × 単価	0
単価 × 数量	2

C レシート発行時

登録確認音	担当者のサインオフ	レシート発行中のキーバツファクリア	
鳴らす	手動	クリアしない	0
		クリアする	1
	レシート発行ごと	クリアしない	2
		クリアする	3
鳴らさない	手動	クリアしない	4
		クリアする	5
	レシート発行ごと	クリアしない	6
		クリアする	7

D 時刻表示／戻モードの件数

戻モードの件数を	時刻表示	
加算する	時分を表示	0
	時分秒を表示	2
減算する（レジマイナスモード）	時分を表示	4
	時分秒を表示	6

E 日計明細精算後の一連番号／取引中止キー

取引中止キー	日計明細の精算後に一連番号を	
操作できる	0001 に戻す	0
	連番を継続する	1
操作できない	0001 に戻す	2
	連番を継続する	3

F 00 キー／担当者機能

	担当者機能	00 キー
0	使用しない	<00> として使用する
1		<000> として使用する
4	使用する	<00> として使用する
5		<000> として使用する

が、ご購入時の設定です。

その他の設定

点検／精算レポートの内容を設定する

点検または精算時に印字するレポートの、個々の印字項目を設定します。

操作例

売上構成比を「印字する」に設定します。
(累計 (GT) は「印字しない」)



手順と操作

1 モードスイッチの位置を「設定」にして、下記を設定します。



A 日計明細の精算レポート実行時の動作

日計明細精算レポートに 一連番号の始まりの番号を	電子ジャーナルのクリア	
印字しない	クリアする	0
	クリアしない ※1	1
印字する	クリアする	4
	クリアしない ※1	5

B 各レポートの売上が0の項目の印字

時間帯レポートで 売上が0の項目	PLUレポートで 売上が0の項目	明細レポートで売上が 0の部門の取引項目	
印字しない	印字しない	印字しない	0
		印字する	1
	印字する	印字しない	2
		印字する	3
印字する	印字しない	印字しない	4
		印字する	5
	印字する	印字しない	6
		印字する	7

C 明細レポートへ売上構成比／累計 (GT) の印字

累計 (GT)		売上構成比	
印字しない	印字しない		2
	印字する		3
印字する	印字しない		0
	印字する		1

D 明細レポートへ戻合計の印字

印字する	0
印字しない	1

※1 電子ジャーナルの空き容量が少なくなると、表示窓にメッセージが表示されます。



「レポートとキー操作」(51 ページ) を参照して、電子ジャーナルを消去してください。

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは

その他の設定

電卓モードの機能を設定する

電卓モードの機能を設定します。

操作例

〔現/預〕キーの回数を「印字しない」に設定します。（〔現/預〕キーで「開けない」、〔#/替〕キーで「開ける」）

手順と操作

1 モードスイッチの位置を「設定」にして、下記を設定します。



〔A〕が、ご購入時の設定です。

3 小計 1 0 2 2 小計 6 0 0 0 0 0 現/預 小計

〔A〕 ドロア開閉操作 / 〔現/預〕キーを押した回数を明細レポートに印字

↑ "0000" 固定

〔現/預〕キーの押下回数を明細レポートに	〔#/替〕キーのドロア開閉	〔現/預〕キーのドロア開閉	
印字する	開ける	開けない	2
		開ける	3
	開けない	開けない	0
		開ける	1
印字しない	開ける	開けない	6
		開ける	7
	開けない	開けない	4
		開ける	5

領収書の内容を設定する

領収書に印字する内容を設定します。

操作例

但し書きを「ご飲食代」に設定します。

手順と操作

1 モードスイッチの位置を「設定」にして、下記を設定します。



〔D〕が、ご購入時の設定です。

3 小計 2 7 2 2 小計 3 0 0 0 5 0 0 現/預 小計

〔A〕 但し書きの印字内容

お品代=1 お食事代=2 ご飲食代=3 手数料=4 印紙代=5
証紙代=6 お薬代=7 治療費=8 書籍代=9 印字なし=0

〔B〕 日計明細精算後に領収書用一連番号を

0001 に戻す	1
連番を継続する	0

〔C〕 領収書への印字 タイトル/レシートの一連番号 / 税金項目

領収書のタイトル	レシートの一連番号	税金項目	
領収書	印字する	印字する	0
		印字しない	1
	印字しない	印字する	2
		印字しない	3
領収証	印字する	印字する	4
		印字しない	5
	印字しない	印字する	6
		印字しない	7

〔D〕 収入印紙貼付欄の印字

0500 印紙貼付金額の 1/100 の値 : 金額は税抜金額
例 : 50,000 円の場合は 0500
印紙貼付枠の印字が不要なときは「0000」を入力します。

その他の設定

レシートメッセージの内容を設定する

レシートに印字するメッセージの内容を設定します。

操作例

「御計算書」を印字せず、「設定した文字を印字する」に設定します。コマースシャルメッセージ、ボトムメッセージを「印字しない」に設定します。



手順と操作

1 モードスイッチの位置を「設定」にして、下記を設定します。



A 店名ロゴ部分、コマースシャルメッセージ、ボトムメッセージの印字設定

店名ロゴ部分	ボトムメッセージ部分 ※1	コマースシャルメッセージ部分 ※1	
「御計算書」を印字する	印字しない	印字しない	0
	設定した文字を印字する	設定した文字を印字する	2
設定した文字を印字する ※1	印字しない	印字しない	4
	設定した文字を印字する	設定した文字を印字する	6
設定した文字を印字する ※1	印字しない	印字しない	1
	設定した文字を印字する	設定した文字を印字する	3
設定した文字を印字する ※1	印字しない	印字しない	5
	設定した文字を印字する	設定した文字を印字する	7

“0000000” 固定

※1 文字の設定については「商品名やメッセージの設定」(78 ページ～)を参照してください。

電子店名スタンプを取り付けると、電子店名スタンプの内容が印字されます。電子店名スタンプの取付けは、「電子店名スタンプを取り付ける」(115 ページ)を参照してください。

サーマルポップと背景印字を設定する

レシートや領収書に印字する、サーマルポップと背景を設定します。

操作例

レシートに背景を「印字する」に設定します。



手順と操作

1 モードスイッチの位置を「設定」にして、下記を設定します。



A 電子店名スタンプ内のサーマルポップの印字 ※1

印字する	0
印字しない	1

B レシートの背景印字

印字しない	0
印字する	1

C 領収書の背景印字

印字しない	0
印字する	1

※1 電子店名スタンプを使用していないと、サーマルポップは印字されません。

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは

その他の設定

本体表示窓と客用表示窓の機能を設定する

本体表示窓のバックライトと、客用表示窓の消灯機能を設定します。

操作例

本体表示窓のバックライトを「点灯しない」に設定します。



手順と操作

1 モードスイッチの位置を「設定」にして、下記を設定します。



A 客用表示窓の設定

表示する	0
表示しない	1

B 本体表示窓のバックライト設定

点灯する	0
点灯しない	1

C バックライトオフタイマーの設定

オフまでの時間をセット 単位：分 **2 0** 設定範囲：00～59

0 0 にすると、バックライトはオフになりません。

マシン番号を設定する

お店に2台以上のレジスターがある、店舗の区別を付ける場合など、マシン番号を設定します。

操作例

レジ番号を「123」に設定します。



手順と操作

1 モードスイッチの位置を「設定」にして、下記を設定します。



レジ番号を4桁で入力します **0 ~ 9 9 9 9**

ポイント ご購入時の設定は、「0000」です。(レジ番号は印字されません。)

その他の設定

クーポン券のポイント率を設定する

クーポン券を使用するお店では、ポイント率を設定します。

操作例

クーポン券発行のためのポイント率を、「2.00%」に設定します。



手順と操作

1 モードスイッチの位置を「設定」にして、下記を設定します。

3 小計	3 8 2 2 小計	0 2	0 0	現/預	小計
クーポン券の整数部のポイント率 (00 ~ 99)		0 0 ~ 9 9	0 0 ~ 9 9		
クーポン券の小数部のポイント率 (00 ~ 99)		0 0 ~ 9 9			

ポイント ご購入時の設定は、「00 00」です。

担当者番号にパスワードを設定する

サインオンするときの入力を、担当者番号 (01 ~ 10) から4桁の数字 (パスワード) に変更できます。サインオンするときパスワードを入力すると、対応する担当者番号でサインオンします。

操作例

担当者番号-01 に、パスワード「1234」を設定します。設定後は、サインオンするときの操作が、**01** 担当者/ポイント から **1234** 担当者/パスワード へ変わります。



手順と操作

1 モードスイッチの位置を「設定」にして、下記を設定します。

3 小計	0 1	0 7 小計	1 2 3 4	現/預	小計
担当者番号を入力します (01 ~ 10)	0 1 ~ 1 0	0 7 小計	0 0 0 1 ~ 9 9 9 9		
0 7 小計 を入力します	0 7 小計				
パスワードを入力します (0001 ~ 9999)					

- ポイント**
- ・レシートなどへの印字は担当者番号が印字されます (担当-01 など)。
 - ・同じパスワードを設定すると、小さい担当者番号が選択されます。重複するパスワードは登録しないでください。
 - ・設定内容の確認は、「キー機能・レジスター機能項目の設定点検」(110 ページ) を参照してください。

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは

レジの設定内容を確認する

設定内容を確認する

設定内容は、設定された4つの内容を下記の操作で確認します。

内容	操作
部門の単価、%レート、簡易設定項目の確認	設定モード→ 1 小計 → 小計
PLUの商品名、単価項目の確認	設定モード→ 6 小計 → 小計
部門の商品分類名、取引キー名称、メッセージ項目の確認	設定モード→ 2 小計 → 小計
キーの機能、レジスターの機能項目の確認	設定モード→ 3 小計 → 小計

部門の単価・%レート・簡易設定項目の設定点検



手順と操作

- 1 モードスイッチの位置を、「設定」にします。
- 2 **1** と **小計** キーをを2回押します。
1 小計 小計

印字例

PGM1.....			1
部門 01	非	@100	2
部門 02	内	@220	
部門 03	内	@0	
部門 09	非	@0	
部門 10	内	@0	
—	*	@50	3
% 内		5%	4
10100		00	5
10200		000	6
10400		00	7
丸め		00	8

- 1: 設定1点検のタイトル
- 2: 部門商品名/税シンボル/単価
- 3: 値引キー/値引単価
- 4: % キー/パーセントレート
- 5: 簡易設定 10100 (93 ページ参照)
- 6: 簡易設定 10200 (94 ページ参照)
- 7: 簡易設定 10400 (62 ページ参照)
- 8: まるめ (77 ページ参照)

PLUの単価・設定項目の設定点検



手順と操作

- 1 モードスイッチの位置を、「設定」にします。
- 2 **6** と **小計** キーをを2回押します。
6 小計 小計

印字例

PGM6.....			1
PLU0001	非	0001	2
0000000000		@100	
PLU0002	内	0002	3
0000000000		@200	
PLU0003	内	0003	
0000000000		@300	
PLU0600	内	0000	
0000000000		@0	

- 1: 設定6点検のタイトル
- 2: PLU 商品/税シンボル/メモリ番号
- 3: 設定3の設定内容(67ページ参照)/単価

レジの設定内容を確認する

商品名・メッセージ項目の設定点検



手順と操作

- 1 モードスイッチの位置を、「設定」にします。
- 2 **2** と **小計** キーをを 2 回押します。



印字例

PGM2.....		1
総売	01	2
純売	02	
現金在庫	03	
領収書 印紙	04	3
領収書	29	
現金	01	
小計	02	4
	03	
	04	
訂正	29	5
	01	
	02	
部門 01	01	6
部門 02	02	
部門 03	03	
部門 09	04	7
部門 10	10	
担当 -01	01	
担当 -02	02	8
担当 -03	03	
担当 -09	04	
担当 -10	10	9
GT	01	
¥ @ 件点	01	
点名枚	02	1
点 /	03	
電子ジャーナル	04	
ご予約券	35	2
ポイント	01	
日計明細	02	
PLU	02	3
時間差	03	
	04	
電子ジャーナル	12	4
	01	
	02	
	31	

- 1: 設定 2 点検のタイトル
- 2: 固定合計器項目名 / メモリ番号 (95 ページ参照)
- 3: キー名称 / メモリ番号
- 4: 部門商品名称 / メモリ番号
- 5: 担当者名称 / メモリ番号
- 6: GT (累計) 名称
- 7: 特殊キャラクター / メモリ番号 (96 ページ参照)
- 8: レポートタイトル / メモリ番号 (95 ページ参照)
- 9: レシートメッセージ / メモリ番号 (82 ページ参照)

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは

レジの設定内容を確認する

キー機能・レジスター機能項目の設定点検



手順

1 モードスイッチの位置を、「設定」にします。

2 **3** と **小計** キーをを 2 回 押します。

3 **小計** **小計**

印字例

PGM3.....		1
0122	00000010	2
0222	00002070	
0522	00000000	
3422	00000000	
3822	00000000	3
0126	5% 内	
	5% 外	
	0% 内	
0226	0000	4
0326	00000410	5
0127	0% 外	6
	0% 外	
	0% 外	
0427	000000	7
担当 -01	01	8
	0001	
担当 -02	02	
	0002	9
担当 -10	10	
	0010	
部門 01	01	10
0100000000	@100	
部門 02	02	
0200000000	@200	
部門 03	03	11
0300000000	@0	
部門 10	10	10
1000000000	@0	
現金	00000000	10
小計	00000000	
	00000000	11
訂正	00000000	
	00000000	11
8888 税	

- 1: 設定 3 点検のタイトル
- 2: 全体設定項目名/設定内容 (101 ページ参照)
- 3: 現行税テーブル/レート/外税・内税
- 4: 税金端数処理 (75 ページ参照)
- 5: 税金印字制御 (76 ページ参照)
- 6: 税改定後税率/レート/外税・内税
- 7: 税改定予定日
- 8: 担当者名/メモリ番号/担当者番号
- 9: 部門商品名/メモリ番号/部門キー設定内容/単価 (63 ページ参照)
- 10: 取引キーキャラクター/取引キー設定内容 (97 ページ参照)
- 11: 課税/非課税レジスター切替 (非課税時は 9999 非と印字)

故障かなと思ったら

こんなときは

本体表示窓に、エラーの原因や解決方法を示したガイダンス（案内表示）が表示します。表示に従ってエラーを解除してください。【操作ガイド】 キーを押すと、いろいろな機能や使用方法を説明したレシートを発行します。

こんなときは	処置	参照ページ
ドロアーが開かない	硬貨や紙幣が詰まっていないか確認してください。 下記ドロアーが開かなくなったとき」を確認してください。	111
表示がつかない	電源プラグがコンセントに確実に差し込まれているか、コンセントまで電気が来ているか確認してください。	---
レシート発行／停止のシンボルが点滅した	ロールペーパーを補給してください。紙押さえが確実に閉められているか確認してください。	112
レシート、領収書、またはジャーナルが発行されない	ロールペーパーに残りがあるか確認してください。 レシート印字の場合、レシート発行停止になっていないか確認してください。	112、114 42
ジャーナルが巻き取られない	紙詰まりを起こしていないか確認してください ロールペーパーが、ジャーナル巻き取りホルダーにきちんとセットされているか確認してください。	114 113
印字をしない	紙詰まりを起こしていないか確認してください。ロールペーパーを裏表逆に 取り付けしていないか確認してください。	112、113、 114
印字がうすい 印字ムラがある	カシオ推奨の感熱紙のロールペーパーをお使いください。（普通紙は使用できません）	裏表紙
レポート・レシート印字が早くなったり遅くなったりする	故障ではありません。印刷する行の印字濃度（文字の濃さ）によって、プリンターが印字速度を変えています。	---
「紙押えを押し込んで下さい」と表示される E10	紙押えを、確実にロックされるまで押し込んでください。	112、113

正しく動作しないとき

レジ操作中に、操作ミスを検出してエラー音が鳴ることがあります。通常はエラーの自動解除機能により、そのまま操作を続けることができます。

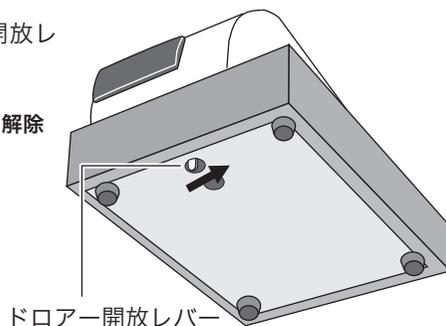
操作ミスのエラーは、【強制解除】 キーを続けて2回押して強制的に解除できます。その際は下記にご注意ください。

注意 「登録」の操作中に強制解除をすると、現金売上として処理されます。売上から取り消す場合は、「返品処理」をしてください。

ドロアーが開かなくなったとき

停電や故障などでドロアーが開かなくなったときは、ドロアー開放レバー（ドロアー底面の金具）を矢印の方向に動かすと開きます。

ポイント ドロアーロックキーでロックしていると開きません。ロックを解除してください。



ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは

ロールペーパーのセットと交換

ロールペーパーをセットする（レシート）

 **ポイント** 印字用紙を「レシート」として使うときは、付属品の「ジャーナル巻き取りホルダー」は使用しません。

手順

1 **OPEN**（プリンターオープンキー）を押し、紙押さえを開けます。



2 ロールペーパーの先端が下から出るように持って、手前側のロールペーパー入れにセットします。



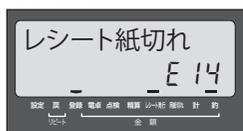
3 ロールペーパーの先端を 5 cm ほど引っ張り出します。



4 ロールペーパーを紙押さえで挟んでロックします。
（紙押さえの両端がしっかりとハマるように、カチッとなるまで押し込んでください。）

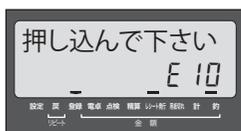


本体表示窓



ロールペーパーが正しくセットされていません。

本体表示窓



紙押えが閉じていません。

注意

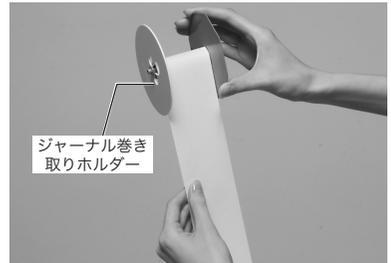
- ・必ずロールペーパーを取り付けてご使用ください。ロールペーパーを取り付けないと、レジスターは動作しません。
- ・ロールペーパーの規格は、幅 58mm× 外径 80mm の感熱記録紙です。必ず当社指定のものロールペーパーをご使用ください。指定品以外の用紙を使用すると故障の原因になります。
- ・ロールペーパーに赤い線が出たら、残りは約 1 m です。早めに新しいロールペーパーに交換してください。

ロールペーパーのセットと交換

ロールペーパーをセットする（ジャーナル）

手順

- 1 「ロールペーパーをセットする（レシート）」の、手順1～4と同じ操作をします。
- 2 ジャーナルカバーの後方部を持ち上げて、ジャーナルカバーを取り外します。
- 3 付属のジャーナル巻き取りホルダーの溝に、新しいロールペーパーの先端を差し込み、折り返して2～3回巻き付けます。
- 4 ジャーナル巻き取りホルダーをジャーナルホルダー入れにセットして、用紙のたるみがなくなるまで **紙送り** キーを押します。
- 5 ジャーナルカバーを取り付けます。



ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは

ジャーナル用紙のご注意

- ジャーナルを保存される場合は、高保存タイプのロールペーパーの使用をお勧めします。
- 感熱記録紙（サーマル用紙）は、強い光に当てると印字が見えにくくなります。保管・保存には注意してください。

ロールペーパーのセットと交換

ロールペーパーを交換する（ジャーナル）

ロールペーパーに赤い線が出たら、残りは約1mです。新しいロールペーパーに交換してください。

手順

- 1 ジャーナルカバーの後方部を持ち上げて、ジャーナルカバーを取り外します。



- 2 紙送り キーを押して、ロールペーパーを 20cm 位程度空送りし、印字部分にかからない位置でペーパーを切り取ります。



- 3 ジャーナル巻き取りホルダーを取り出し、印字済み用紙を外します。



左の側板をずらして外し、軸押さえを外します。

- 4 ペーパー入れに残った、ロールペーパーの芯を取り除きます。



- 5 「ロールペーパーをセットする（レシート）」の手順 2～4、「ロールペーパーをセットする（ジャーナル）」の手順 3～5 と同じ操作で、新しいをロールペーパーをセットします。

電子店名スタンプの取り付け・キーに商品名を記入する

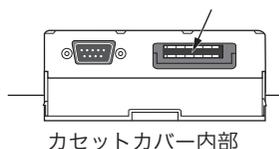
電子店名スタンプを取り付ける

手順

- 1 モードスイッチの位置を「OFF」にして、本体表示窓と客用表示窓が消灯したことを確認します。本体右側面のカセットカバーを開けます。



- 2 「電子店名スタンプ RAC-10」の記載面を上にして、下図の矢印のコネクタに奥までしっかりと差し込み、カセットカバーを閉めます。



注意 電子店名スタンプの端子部に、手や金属で触れないでください。



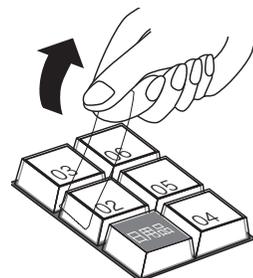
- ・電子店名スタンプを取り付けた後にロゴやサーマルポップが印字しない場合は、電子店名スタンプが確実に差し込まれているかご確認ください。また、にロゴやサーマルポップを印字する設定（105 ページ参照）になっているかご確認ください。
- ・電子店名スタンプの取り付け前に使用していたロゴ、コマーシャルメッセージの内容は、取り付け後は使用できません。

部門キーのキャップの中に商品名を書いた紙を入れる

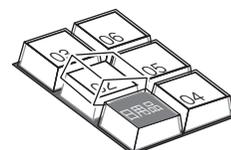
10mm 幅のテープを用意してください。

手順

- 1 テープを 5cm 程度の長さに切り、キーキャップを外すキーの肩部分に貼ります。テープの端を指で押さえながら上方向に回すようにして引き上げ、キーキャップの片側をはずします。



- 2 キー本体からキーキャップを外し、中のキープレートを取り出します。新しいキープレートキーキャップの中に入れ、紙の方向に注意しながらキー本体にかぶせて押し込みます。



ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

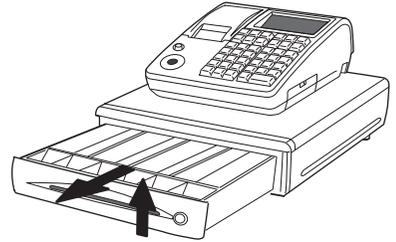
こんなときは

レジスターとドロアーを分離して設置する

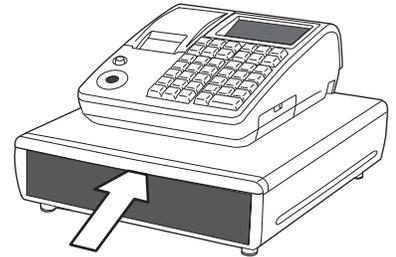
お店のレイアウトに合わせ、ドロアーとレジスターを離れた設置ができます。付属のドロアー延長ケーブル、レジスター固定ゴム足、ドロアー上面穴塞ぎ用キャップ、プラスドライバーを用意してください。

手順

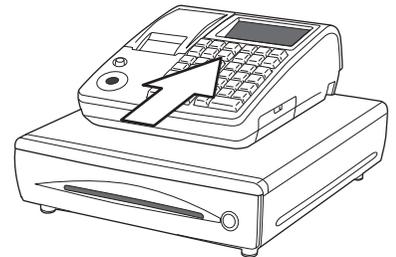
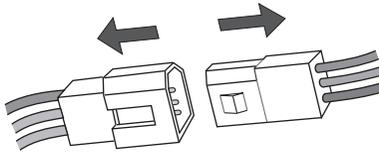
- 1** ドロアーの引き出し手前部分を、先端を持ち上げるようにして取り外します。



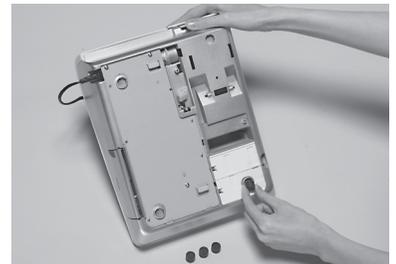
- 2** ドロアー内側上面の蝶ねじを、左に回して取り外します。



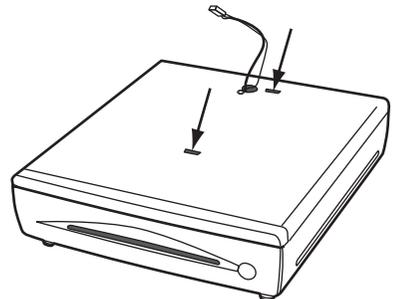
- 3** 本体を矢印の方向にずらして持ち上げ、本体とドロアーを接続しているケーブルのコネクタを外します。



- 4** レジスター底面の穴にレジスター固定ゴム足をはめ、本体とドロアーを所定の位置に置きます。



- 5** 本体とドロアーのコネクタに、ドロアー延長ケーブルを接続します。ドロアー上面のレジスター固定穴に、ドロアー上面穴塞ぎ用キャップをはめます。



- ・余ったドロアー延長ケーブルは、ドロアー内部に入れないでください。
- ・手順2で外した蝶ねじは、レジスターとドロアーの接続に必要です。必ず保管してください。

電池のセットと交換

電池をセットする

電池は停電時にレジスター内部メモリーを保護します。単3型アルカリ乾電池を3本用意してください。



手順

1 本体左側面の電池ケースを開けます。



2 単3型アルカリ乾電池3本を、＋が右図と同じになるよう正しくセットします。



3 電池ケースを差し込み確実にロックします。



電池を交換する

本体表示窓の上側に“電池切れです”が表示された場合は、電池が寿命です。モードスイッチの位置を「OFF」にして、電源プラグは抜かずに交換してください。交換の手順は、「電池をセットする」と同じです。



- ・交換中に電源プラグをコンセントから抜かないでください。
- ・電池は必ずすべて同じ種類の新しい電池をご使用ください。

電池についてのご注意

- 電池を誤使用すると、発熱・破裂・発火・液もれなどの危険があります。
- 長期間使用しないときは、必ず電池を取り出してください。液漏れの原因となります。
- 使用済みの電池を廃棄するときは、必ず地域の条例や自治体の指示に従ってください。

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは

仕様

型式	TE-340 / NL-300 (10 部門) ストロークキー方式 2 キーロールオーバー
表示部	本体表示窓：キャラクター部 16 文字・数値部 10 桁 液晶表示 (バックライト付き) 客用表示窓：数値部 8 桁 LED 表示 (背面固定式)
印字部	サーマルプリンター方式 印字速度 約 14 行/秒 印字桁数 各 24 桁 (半角文字の場合) 記録紙幅 57 ~ 58mm、外径 80mm 以下の感熱記録紙 (消耗品欄参照) 店名ロゴ印字 縦 21mm× 横 48mm の範囲でデザイン可 (レシートに自動印字) 用紙カット レシートで使用の場合、ギザ歯で手動カット 用紙巻取 ジャーナルで使用の場合、自動巻き取り 領収書発行 必要に応じて領収書の発行が可能
最大演算桁数	置数・預かり金 (10 桁：0 ~ 9,999,999,999) 登録 (7 桁：- 9,999,999 ~ 9,999,999) 合計 (10 桁：- 999,999,999 ~ 9,999,999,999) リピート (6 桁：- 999,999 ~ 999,999) ノアド (14 桁：0 ~ 999999999999999) %レート (整数 2 桁+小数 2 桁：0.01 ~ 99.99%) 税率 (整数 2 桁+小数 4 桁：0.0001 ~ 99.9999%) 乗算数量 (整数 4 桁+小数 2 桁：0.01 ~ 9999.99)
電卓機能	加減乗除計算 最大計算桁数は置数 10 桁 答え 10 桁 (負数のときは 9 桁)
ドロアー	紙幣 3 種・硬貨 6 種 ドロアーロックキー付 コイントレーは取り外し可
時計・日付機能	月差 ±30 秒 (通電状態 25°Cにおいて) 2099 年までフルオートカレンダー
メモリ保護	単 3 型アルカリ乾電池 × 3 本使用 記憶保持約 3 年 3 年ごとに交換のこと
電源・消費電力	AC100V±10V 50/60Hz 10W
周囲温度・湿度	0°C ~ 40°C 10% ~ 90%
外形寸法	幅 330mm× 奥行 360mm× 高さ 198mm (ドロアー含む) 幅 219mm× 奥行 293mm× 高さ 104mm (本体のみ)
重量	約 4.7Kg (ドロアー含む)
オプション	電子店名スタンプ：RAC-10 (店名ロゴ・領収書ロゴ・サーマルポップ用) 防水カバー：WT-88
消耗品	記録紙 TRP-5880-TW (紙幅 58mm、外径 80mm の普通タイプ感熱記録紙) (ロールペーパー) TRP-5880H-TW (紙幅 58mm、外径 80mm の高保存タイプ感熱記録紙)

用語集 (索引)

本書で使用している用語について、五十音順に記載しています。操作や設定方法の参照ページも記載しておりますのでご利用ください。

[あ]

後レシート発行

通常、レシートの発行をしていないお店で、お客様からレシートを要求された場合、後レシートを発行してお渡します。

 12、42 ページを参照してください。

ありだか 在高

ドロアーの中にある現金やクレジット伝票などの合計金額のことです。

 30、50 ページを参照してください。

一部現金売り

取引の支払いを現金やクレジット 1 種類ではなく、一部を現金、一部を商品券などで支払う形式のことをいいます。

 44 ページを参照してください。

一連番号

レシートの番号です。レシートを発行することに 1 ずつプラスされます。

 30、102 ページを参照してください。

一括取消

入力ミスなどでレシートを最初からやり直したいときに一括取消をします。

 28 ページを参照してください。

オプション

ご使用方法によっては使っていただくと便利なものを別売で用意させていただいております。それをオプションと呼んでいます。

 118 ページを参照してください。

[か]

紙押さえ

プリンター部分にある、印字用紙を挟み込むローラとそれを支えている腕のことです。用紙交換後には、これがカチッと閉められているかを確認してください。

 9、112 ページを参照してください。

期間集計

長い期間 (例えば、一週間、旬日、一月など) の売上の合計を知ることができるレポートです。

 50 ~ 52 ページを参照してください。

客用表示窓

お客様に商品の登録金額や合計金額などを示すための表示器です。背面表示としても、持ち上げてお客様の見やすい方向に回して使うこともできます。

 9、11、62、106 ページを参照してください。

キャラクター

部門キーや PLU、取引キーやメッセージなどに設定される文字のことです。

 11、78 ~ 96 ページを参照してください。

券売り

商品券売りに使用します。商品券の額面金額を設定しておくこともできます。

 13、43 ページを参照してください。

[さ]

さかのぼり訂正

商品登録中に、同一レシート中での登録の間違いを訂正することです。

 28 ページを参照してください。

ジャーナル

印字で残される営業記録のことです。本製品では印字用紙はレシート用かジャーナル用か、どちらかにしか使えません。レシート用としてお使いの場合、電子ジャーナルで営業記録を取ることができます。ジャーナルを印字で残す場合、印字後のジャーナルはレジスター本体内に自動的に巻き取られます。レシートも合わせてお読みください。

 25、101、113、114 ページを参照してください。

ジャーナルスキップ

ジャーナル (前出) 用紙の消費を少なくするため部門など商品明細の印字をせず、一連番号 (前出) や取引合計金額などを印字することです。

 101 ページを参照してください。

用語集（索引）

出金

商品の売上に直接関係のないお金をドロアーから出すことです。ドロアー内の現金を回収するときなどにお使いください。

 41 ページを参照してください。

乗算

同じ商品を一度にたくさんお買い上げの場合、買い上げ個数と単価を入力して（掛け算で）合計金額を算出することです。数量 × 単価または単価 × 数量の2種類の入力方法を選べます。

 12、22、33、34、36 ページを参照してください。

シンボル

表示の状態を示すインジケータやレシート上に印字する略号です。「合計」や「お釣」を表示している状態を示したり、内税の「内」、非課税の「非」などのことを示します。

 11、25 ページを参照してください。

信用売り

業務の終わりに売上金額などをレポートとして発行することです。レジスターの中の売上金額などは（翌日の営業のために）ゼロになります。

 13、43 ページを参照してください。

精算

業務の終わりに売上金額などをレポートとして発行することです。レジスターの中の売上金額などは（翌日の営業のために）ゼロになります。点検も合わせてお読みください。

 19、30、50～57 ページを参照してください。

設定

レジスターの機能を選択したり、パーセント率や単価をレジスターに登録することです。単価設定も合わせてお読みください。

 61～110 ページを参照してください。

[た]

単価設定

商品単価をレジスターに登録することです。同じ単価を多く使われるお店では単価設定すると便利です。

 32～36 ページを参照してください。

担当者

レジスターを操作している取扱者のことです。レシート上に担当者の番号あるいは名前を印字したり、担当者別の売上額を集計できます。

 12、25、49、91、102、107 ページを参照してください。

置数

数字打ちです。商品の単価や数量、お客様からの預かり金など数値を入力することです。

 12、21～24、26～29、32～110 ページを参照してください。

訂正

レジスターに入力した事柄（数字や機能指定）が間違っていた場合、それを取り消すことです。取消ができるときとできないときがあります。

 26～28 ページを参照してください。

点検

業務の途中に売上金額などをレポートとして発行することです。レジスターの中の売上金額はそのまま保存されます。精算、レポートも合わせてお読みください。

 50～57 ページを参照してください。

電子店名スタンプ

別売のオプションです。レシートに印字する、オリジナルの店名ロゴスタンプや領収書に印字する、社名ロゴ・会社所在地などを焼き付けた小さなカートリッジです。別添の申込書でお申し込みください。

 2、100、105、115 ページを参照してください。

登録

レジスターにお買い上げ商品の単価や数量、預かり金などを入力して、レシートを発行するまでの一連の操作のことです。

 21～24、26～29、32～49 ページを参照してください。

[な]

日計明細

売上金額などのレポートの一種です。その日の合計（日計）を商品分類や取引形態など（明細）に分けて発行します。

 30、31、50～52 ページを参照してください。

用語集 (索引)

入金

商品の売上に直接関係のないお金をドロアー内に入れることです。釣銭準備などをするときにお使いください。

 41 ページを参照してください。

値引き

赤札などがあった場合に使用します。赤札上の「～円引」の金額が合計金額から引かれます。

 13、39 ページを参照してください。

[は]

背景印字

レシートや領収書に、薄い文字や模様を背景として印字できます。他店との差別化のため、または特売サービス引換券などのためにお使いください。

 93、94 ページを参照してください。

パーセント計算

割引き・割増しなど、百分率を使って値引き・値増しする金額を計算する方法です。割引きも合わせてお読みください。

 13、38、77、99 ページを参照してください。

PLU (ピーエルユー) : Price Look Up の略

プライスルックアップ (単価呼出し) のことです。主にコード指定後の PLU キーによる単価呼出し、またはその登録のことです。PLU に設定されるのは、主に (商品の分類ではなく) 個々の商品 (単品) です。

 12、35～37、54、67～70 ページを参照してください。

非課税方式 (非課税方式レジスター)

消費税を計算しないレジスターです。お客様から消費税をお預かりしない場合にお使いください。

 72 ページを参照してください。

番号印字

商品コード、お客様番号や電話番号など、合計金額には関係しない数値を「おぼえ」のために印字することです。

 13、42 ページを参照してください。

品番 PLU

売上金額などのレポートの一種です。その日の合計 (日計) を商品分類や取引形態など (明細) に分けて発行します。PLU も合わせてお読みください。

 37、69 ページを参照してください。

部門

お店の商品の分類です。例えば、食料品/雑貨品/日用品、鮮魚/精肉/青果、お食事/お飲み物などの分類があります。

 13、21～23、32～35、63～66 ページを参照してください。

返品

お客様がお買い上げの商品をお返しになったとき、返品処理をしてください。

 29 ページを参照してください。

[ま]

丸め (5 円丸め / 10 円丸め)

合計金額の端数 (5 円未満または 10 円未満) が出ないように、それを値引くことです。値引いた金額はお店側の負担になります。

 39、77 ページを参照してください。

万円キー (万券キー)

一万円札の預かり時に使用すると、明細レポート上に一万円札の枚数が印字されます。

 12、40 ページを参照してください。

[ら]

リピート

同じ商品を一度にたくさんお買い上げの場合、その都度商品単価を入力しないで、部門キーを買い上げ個数分押ししたりして、手軽に登録することです。

 11、23、36、37 ページを参照してください。

両替

本来の両替 (大きなお金を細かくする) ばかりでなく、商品取引以外にドロアーを開ける必要ができたときに両替をします。

 13、24 ページを参照してください。

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは

用語集（索引）

領収書

レシートとは別の書式の領収書が発行できます。

 12、45、46、100 ページを参照してください。

レシート

お客様にお渡しする領収書代わりの紙券です。
ジャーナルも合わせてお読みください。

 25、100、101、112 ページを参照してください。

[わ]

割引き

全品一律 10%引きなどのときに使用します。全品
一律でなくても、商品一つだけでも使用できます。
パーセント計算も合わせてお読みください。

 13、38、77、99 ページを参照してください。

保証およびアフターサービス

保証とアフターサービス

本体表示窓に、エラーの原因や解決方法を示したガイダンス（案内表示）が表示します。表示に従ってエラーを解除してください。

保証書はよくお読みください

保証期間は、ご購入日から1年間です。

保証書（別に添付しています）は、必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店からお受け取りください。内容をよくお読みの上、大切に保管してください。

修理を依頼されるときは

111 ページの「故障かなと思ったら」にしたがってお調べください。直らないときは次の処置をしてください。

●保証期間中は……

保証書の規定にしたがって、ご購入の販売店またはカシオサービスセンターが修理させていただきます。保証書をご用意のうえ、下記お客様相談センターへご連絡ください。

●保証期間を過ぎているときは……

ご購入の販売店または下記お客様相談センターへご連絡ください。修理で使用できる製品については、ご希望により有償で修理いたします。

アフターサービスのお問い合わせは

ご購入の販売店またはお客様相談センターにお問い合わせください。カシオ製品のアフターサービス業務は、カシオテクノ株式会社が担当いたします。

消耗品のお申し込み

TE-340/NL300 の 消耗品

ロールペーパー：紙幅 58mm × 外径 80mm（感熱記録紙）

普通タイプ TRP-5880-TW 高保存タイプ TRP-5880H-TW

乾電池：単3型アルカリ乾電池【LR6 (AM-3)】

使用済みの電池を廃棄するときは、必ず地域の条例や自治体の指示に従ってください。

お客様相談窓口

- 製品の機能、操作などに関するご質問に、お電話でお答えいたします。
- 修理の受付、お電話による問診をいたします。また、必要に応じて修理の手配をいたします。

カシオレジスターお客様相談センター



0570-001166

市内通話料金のみでご使用いただけます。

受付時間：月曜日～土曜日 AM9:00～PM5:30（日曜・祝日・年末年始などを除く）

携帯電話・PHS などの場合は 042-503-7215 をご利用ください。

カシオサービスセンター

- | | | | | | | |
|--------------------|---|---------------------------------|---|--------------------------|---|---------------------------------|
| ●北海道
●東北
●関東 | 札幌
仙台
宇都宮
水戸
高崎
埼玉
千葉
東京 | ●関東
●信越
●北陸
●東海
●近畿 | 東京
多摩
横浜
新潟
長野
静岡
名古屋
京都
大阪 | ●近畿
●中国
●四国
●九州 | 神戸
岡山
広島
高松
福岡
熊本
鹿児島 | ●戸山
●岡山
●島松
●岡本
●鹿島 |
|--------------------|---|---------------------------------|---|--------------------------|---|---------------------------------|
- ※ その他、26 箇所の出張所があります

レジスターの回収再資源化について

- カシオ計算機では、ご使用済みとなりましたレジスターの回収・再資源化を有償にて行っております。回収のお申し込み方法など詳しくは下記ホームページをご覧ください。

<http://www.casio.co.jp/csr/env/recycle/pc.html>

パソコン・ツールについて

レジ設定用のパソコン・ツールをご用意しています。

<http://casio.jp/support/ecr/>

から「ソフトウェア・ダウンロード」にお進みください。

店名・住所

販売店（問い合わせ先）を明記しておきましょう



()

担当者

